

# 保健事業のまとめ

－ 平成22年度 －

「健やかなまちづくり」を目指して



佐 倉 市

# 保健事業のまとめ ～平成22年度～ 目次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| <b>I 佐倉市の概要</b>                     |    |
| 1. 佐倉市の概況                           | 5  |
| 2. 健康こども部行政組織                       | 6  |
| 3. 健康増進課事務分掌                        | 7  |
| 4. 保健センター施設概要                       | 8  |
| 5. 歳入歳出決算額の推移                       | 10 |
| 6. 地域健康危機管理体制                       | 11 |
| 7. 健康増進計画「健康さくら21」                  | 13 |
| <b>II 子どもの保健</b>                    |    |
| 1. 妊娠届出・母子健康手帳交付                    | 19 |
| 2. マタニティクラス                         | 20 |
| 3. 母子訪問指導                           | 24 |
| (1) 妊産婦・生後4ヶ月までの全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問） | 24 |
| (2) 乳児・幼児訪問指導                       | 27 |
| 4. 妊婦・乳児一般健康診査                      | 28 |
| 5. 乳児相談                             | 30 |
| 6. もぐもぐ教室                           | 32 |
| 7. 1歳6か月児健康診査                       | 33 |
| 8. 3歳児健康診査                          | 35 |
| 9. 親子教室                             | 37 |
| (1) たんぽぽグループ                        | 37 |
| (2) ひまわりグループ                        | 38 |
| 10. 幼児歯科健診                          | 39 |
| 11. すくすく発達相談                        | 41 |
| 12. ことばと発達の相談室                      | 43 |
| 13. 保育園・幼稚園巡回相談                     | 44 |
| 14. 健康教育・健康相談                       | 45 |
| <b>III 思春期保健</b>                    |    |
| 1. 思春期保健に関する取組み                     | 49 |
| <b>IV 感染症予防</b>                     |    |
| 1. 感染症予防及び防疫                        | 53 |
| 2. 予防接種                             | 57 |
| (1) BCG予防接種                         | 61 |
| (2) ポリオ                             | 63 |
| (3) 麻しん（はしか）・風しん                    | 64 |
| (4) 三種混合・二種混合                       | 67 |
| (5) 日本脳炎                            | 70 |
| (6) インフルエンザ                         | 73 |
| 3. 結核予防                             | 75 |
| (1) 結核検診                            | 75 |
| <b>V おとなの保健</b>                     |    |
| 1. 健康手帳の交付                          | 79 |

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 2. 健康教育                 | 80  |
| (1) 集団健康教育              | 80  |
| (2) 個別健康教育              | 83  |
| 3. 健康相談                 | 84  |
| 4. 健康診査                 | 86  |
| (1) 健康診査                | 86  |
| (2) 成人歯科健康診査            | 88  |
| (3) 骨粗しょう症検診            | 90  |
| (4) 肝炎ウィルス検診            | 92  |
| 5. 各種がん検診等              | 94  |
| (1) 胃がん検診               | 94  |
| (2) 子宮がん検診              | 97  |
| (3) 乳がん検診               | 101 |
| (4) 肺がん検診               | 106 |
| (5) 大腸がん検診              | 108 |
| 6. 訪問指導                 | 110 |
| 7. 特定健診（健康診査）・特定保健指導    | 112 |
| (1) 特定健診（健康診査）          | 112 |
| (2) 特定保健指導              | 115 |
| 8. こころの健康づくり            | 120 |
| <b>VI 市民の健康</b>         |     |
| 1. 歯ッピーかみんぐフェア（むし歯予防大会） | 125 |
| 2. 市民公開講座               | 126 |
| 3. 食生活改善推進員事業           | 128 |
| (1) 食生活改善推進員養成講座        | 128 |
| (2) 食生活改善推進員研修          | 129 |
| (3) 食生活改善推進員地区活動        | 131 |
| 4. その他啓発事業              | 133 |
| <b>VII 地域医療</b>         |     |
| 1. 休日夜間急病等診療所事業         | 137 |
| 2. 小児初期急病診療所事業          | 140 |
| 3. 佐倉市特定疾患見舞金支給事業       | 143 |
| 4. 在宅寝たきり老人等訪問歯科診療事業    | 145 |
| 5. 学生指導                 | 147 |
| <b>VIII 各種委員会名簿</b>     | 151 |
| <b>IX 衛生関係統計</b>        |     |
| 1. 人口及び世帯数              | 159 |
| 2. 人口動態                 | 163 |
| 3. 母子保健                 | 168 |
| 4. 結核                   | 168 |
| 5. 精神保健                 | 169 |
| <b>X 学会等発表原稿</b>        | 173 |

## I 佐倉市の概要

## 1. 佐倉市の概況

佐倉市は、千葉県北部、北総台地の中央部に位置し、都心から 40 キロメートルの距離にあり、成田国際空港へは東へ 15 キロメートル、県庁所在地の千葉市へは南西へ 20 キロメートル、市北部には印旛沼が広がっており、面積は、103.59 平方キロメートルである。

佐倉市の市域は、印旛沼の南に広がる台地、傾斜地からなっており、その間を鹿島川や高崎川、小竹川などが流れ、印旛沼に注いでいる。標高 30 メートル前後の台地は北から南へ向うほど高くなっている。

年間の平均気温は 15℃前後で、比較的温暖な気候に恵まれており、印旛沼周辺、佐倉城址周辺、また東部、南部の農村地帯などには豊かな自然が残っている。

京成電鉄本線、JR総武本線・成田線が市の東西を貫き、都心までおよそ 60 分、成田国際空港と千葉へはそれぞれ 20 分。また市内には新交通システム(モレール)によるユーカリが丘線が運行し、バス路線とともに各駅と住宅地を結ぶ市民の足となっている。

一方、道路は市の南部に東関東自動車道(高速道路)と、国道 51 号が走り、それぞれ東京と成田を結ぶほか、国道 296 号が市を横断する主要な生活道路となっている。



### 佐倉市のまちづくり ～「歴史・自然・文化のまち」～

佐倉市では、第 3 次佐倉市総合計画における基本構想の将来都市像に「歴史・自然・文化のまち」をテーマとし、

「豊かな自然を引き継ぐ、環境と調和したまち」

「個性ある生活圏が連携した、生き生きと暮らせるまち」

「市民がつくる、活力にみちたまち」

を実現するために取り組みを進めている。

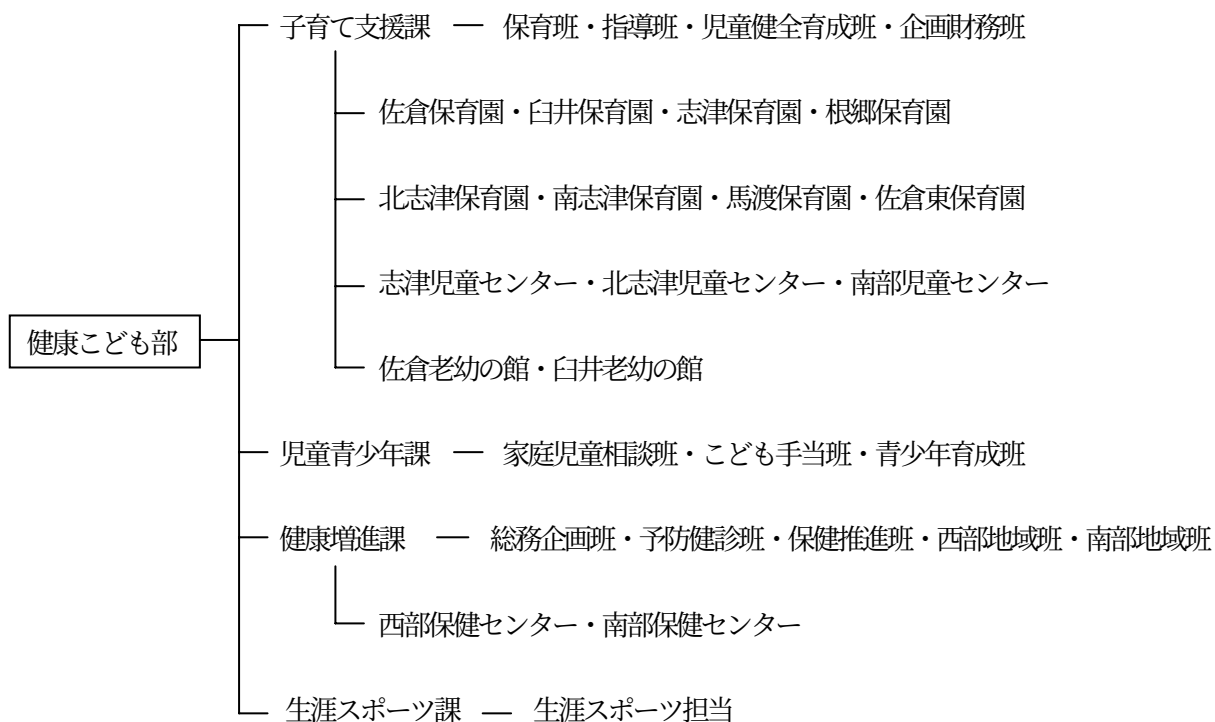
また、平成 16 年 4 月には、国の「健康日本 21」「健やか親子 21」を踏まえ、当市として「生活習慣病予防(一次予防)を重視した健康づくり」と「健やかな親子づくり」を体系的、継続的に推進していくことを目標として計画された健康増進推進計画「健康さくら 21」を公表し、

### 「市民が主役～みんながつくる健やかまちづくり～」

を基本理念として、ヘルスプロモーション概念を基調とした「健やかなまちづくり」に向けた取り組みを始めているところである。

## ２．健康こども部行政組織

(平成22年4月1日現在)



〔健康増進課の職種別職員配置状況〕

(単位：人)

|           | 保健師 | 栄養士 | 歯科衛生士 | 言語聴覚士 | 事務職 | 合 計 |
|-----------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 健 康 増 進 課 | 20  | 4   | 3     | 2     | 10  | 39  |
| 西部保健センター  | —   | —   | —     | —     | 1   | 1   |
| 南部保健センター  | —   | —   | —     | —     | —   | 0   |
| 合 計       | 20  | 4   | 3     | 2     | 11  | 40  |

＊上記配置人数の他、他課との兼務職員として、南部保健センター 事務職1の配置あり。

### 3. 健康増進課事務分掌

〔 佐倉市行政組織規則に定められる事務分掌 〕

#### 健康増進課

- 1 健康づくりの推進に関すること。
- 2 健康診査及び各種検診に関すること。
- 3 保健指導に関すること。
- 4 予防接種に関すること。
- 5 感染症等の予防に関すること。
- 6 特定疾患見舞金支給に関すること。
- 7 在宅寝たきり老人等の訪問歯科診療に関すること。
- 8 佐倉市保健センターに関すること。
- 9 佐倉市休日夜間急病等診療所に関すること。
- 10 佐倉市小児初期急病診療所に関すること。

#### 西部保健センター

- 1 佐倉市西部保健センターの管理運営に関すること。

#### 南部保健センター

- 1 佐倉市南部保健センターの管理運営に関すること。

#### ＊佐倉市保健センターの設置及び管理に関する条例に定める保健センターの共通業務

- ・健康教育、健康相談その他保健指導に関すること。
- ・各種検診及び予防接種に関すること。
- ・機能訓練事業に関すること。
- ・その他保健センターの設置の目的を達成するために市長が必要と認める業務

## 4. 保健センター施設概要

### 健康管理センター

所在地 〒285-0825 佐倉市江原台2丁目27番地 TEL043-485-6711 FAX043-485-6714

#### 1. 施設

- ・敷地面積 2,739 m<sup>2</sup>
- ・建物面積(延床) 2,486.21 m<sup>2</sup>
  - 1階 1,057.33 m<sup>2</sup> 休日夜間急病診療所・小児初期急病診療所・隔離室・点滴室・栄養指導室・保健指導室・歯科指導室・消毒室・事務室
  - 2階 1,065.14 m<sup>2</sup> 予防接種室・言語指導室・小会議室・中会議室
  - 3階 363.74 m<sup>2</sup> 大会議室・小会議室2

#### 2. 施設整備の履歴

##### 【当初建築】

- ・工事期間 着工：昭和52年3月1日 完成：昭和52年11月30日
- ・総事業費 347,509千円(敷地購入費 121,925千円、委託費 8,310千円、工事費 217,274千円)

##### 【昭和56年度一部増築】

- ・工事期間 着工：昭和56年12月28日 完成：昭和57年3月20日
- ・総事業費 12,950千円(工事費 12,950千円)
- ・事務室 51 m<sup>2</sup>

##### 【平成3・4年度増改築】

- ・工事期間 着工：平成3年12月18日 完成：平成5年2月28日
- ・総事業費 801,969千円(設計費 31,777千円、工事費 770,192千円)

##### 【平成14年度改築】

- ・工事期間 着工：平成14年7月2日 完成：平成14年8月30日
- ・総事業費 4,305千円(工事費 4,305千円)
- ・診療室 51 m<sup>2</sup> 点滴室・隔離室 60.7 m<sup>2</sup>

### 西部保健センター

所在地 〒285-0843 佐倉市中志津2丁目32番4号 (西部保健福祉センター1階)  
TEL043-463-4181 FAX043-463-4183

#### 1. 施設

- ・敷地面積 4,250 m<sup>2</sup>
- ・建物面積(延床) 2,490 m<sup>2</sup>
  - 1階 1,192.90 m<sup>2</sup> 運動指導室・保健指導室・調理室・診察室・消毒室・相談室・事務室・会議室
  - 2階 1,106.12 m<sup>2</sup> 西部地域福祉センター
  - 機械室棟 191 m<sup>2</sup>

#### 2. 施設整備の履歴

- ・工事期間 着工：平成9年6月27日 完成：平成10年3月3日
- ・総事業費 1,436,130千円(設計費 46,350千円、工事監理費 21,000千円、工事費 1,368,780千円)



## 南部保健センター

所在地 〒285-0806 佐倉市大篠塚1587番地 (南部保健福祉センター2階)

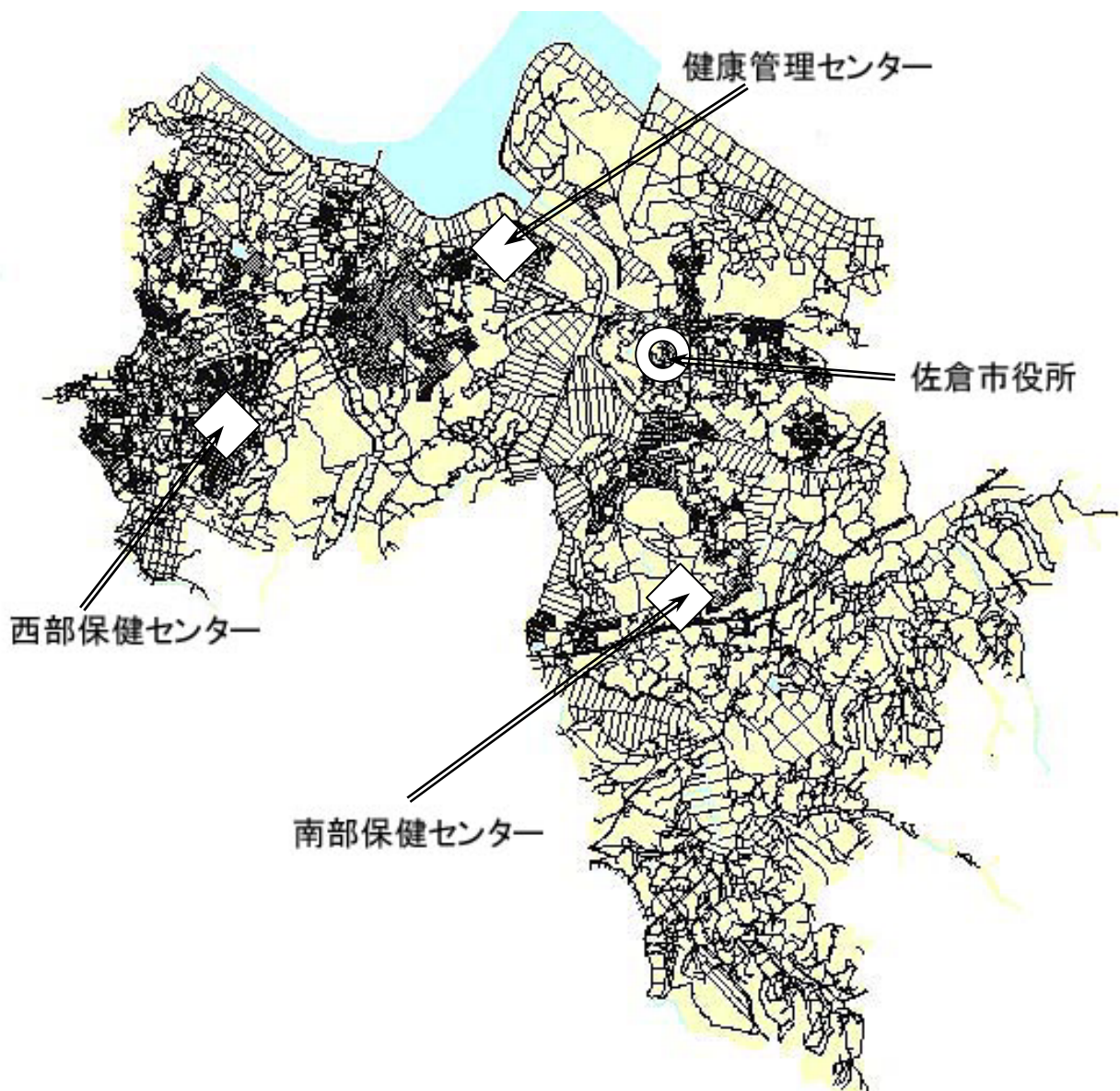
TEL043-483-2812 FAX043-483-2813

### 1.施設

- ・敷地面積 8,372.41 m<sup>2</sup>
- ・建物面積(延床) 3,660.75 m<sup>2</sup>のうち 733.72 m<sup>2</sup>(2階保健センター部分)
  - 1階 1,992.95 m<sup>2</sup> 南部地域福祉センター・さくらんぼ園
  - 2階 1,662.62 m<sup>2</sup> 南部保健センター(保健指導室・調理室・消毒室・相談室・会議室・事務室)  
南部児童センター
  - R階 5.18 m<sup>2</sup> 機械室

### 2.施設整備の履歴

- ・工事期間 着工：平成10年9月1日 完成：平成11年12月21日
- ・総事業費 1,839,428千円(南部保健福祉センター)  
(設計費 72,070千円、工事監理費 23,625千円、敷地購入費 152,775千円、工事費 1,590,958千円)



## 5. 歳入歳出決算額の推移

目別歳出決算額

(単位：千円)

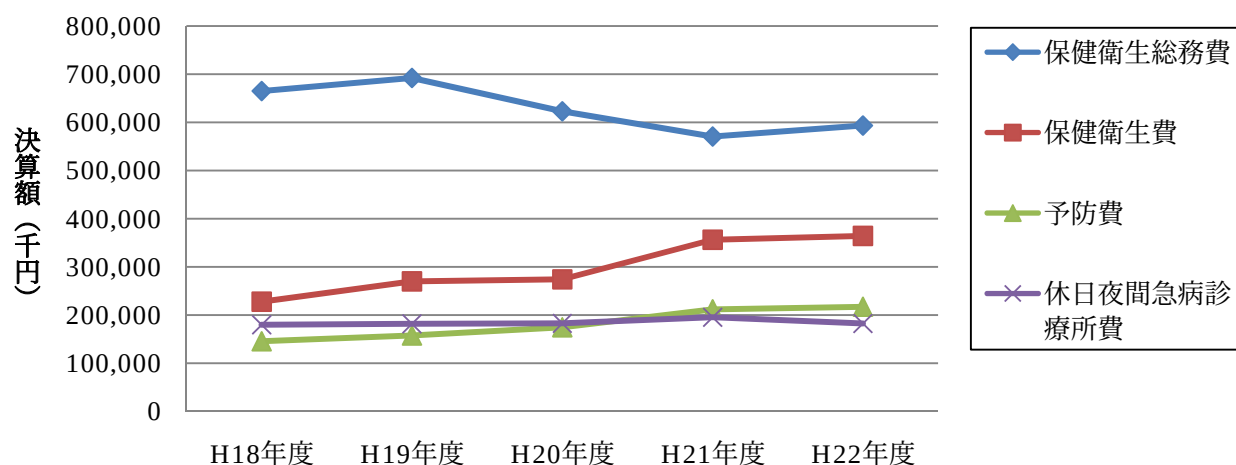
|            | 平成18年度    | 平成19年度    | 平成20年度    | 平成21年度    | 平成22年度    |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 保健衛生総務費    | 665,039   | 692,191   | 622,899   | 570,550   | 593,363   |
| 保健衛生費      | 227,785   | 269,902   | 274,139   | 356,219   | 364,245   |
| 予防費        | 145,535   | 157,626   | 174,504   | 211,885   | 217,255   |
| 休日夜間急病診療所費 | 179,768   | 181,756   | 182,750   | 195,394   | 182,331   |
| 合 計        | 1,218,127 | 1,301,475 | 1,254,292 | 1,334,048 | 1,357,194 |

財源別歳入決算額

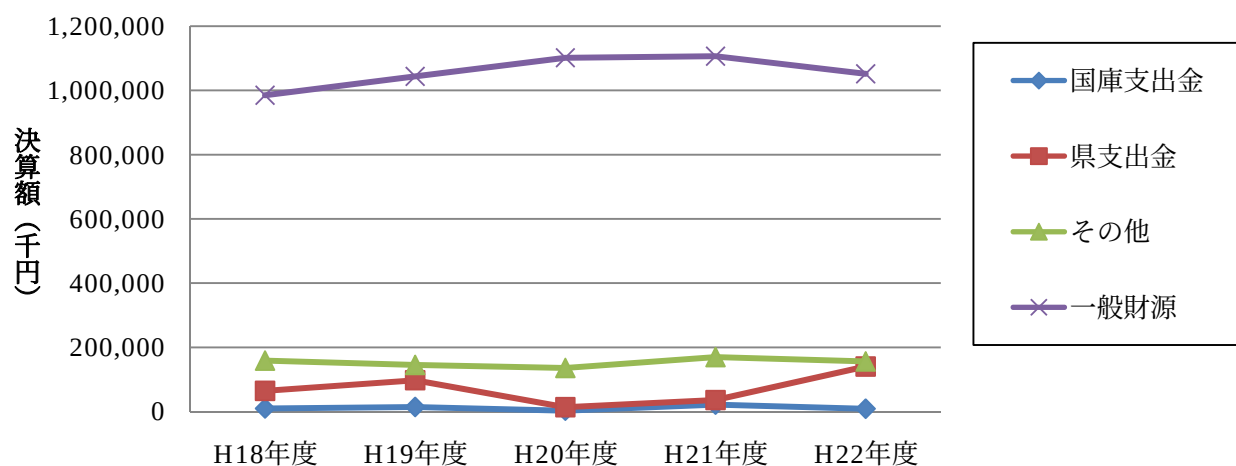
(単位：千円)

|       | 平成18年度  | 平成19年度    | 平成20年度    | 平成21年度    | 平成22年度    |
|-------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 国庫支出金 | 9,716   | 14,401    | 2,773     | 21,725    | 8,980     |
| 県支出金  | 64,908  | 97,825    | 13,896    | 36,088    | 140,531   |
| その他   | 158,752 | 145,586   | 135,939   | 169,768   | 156,097   |
| 一般財源  | 984,751 | 1,043,663 | 1,101,684 | 1,106,467 | 1,051,586 |

保健事業費の推移



財源の推移

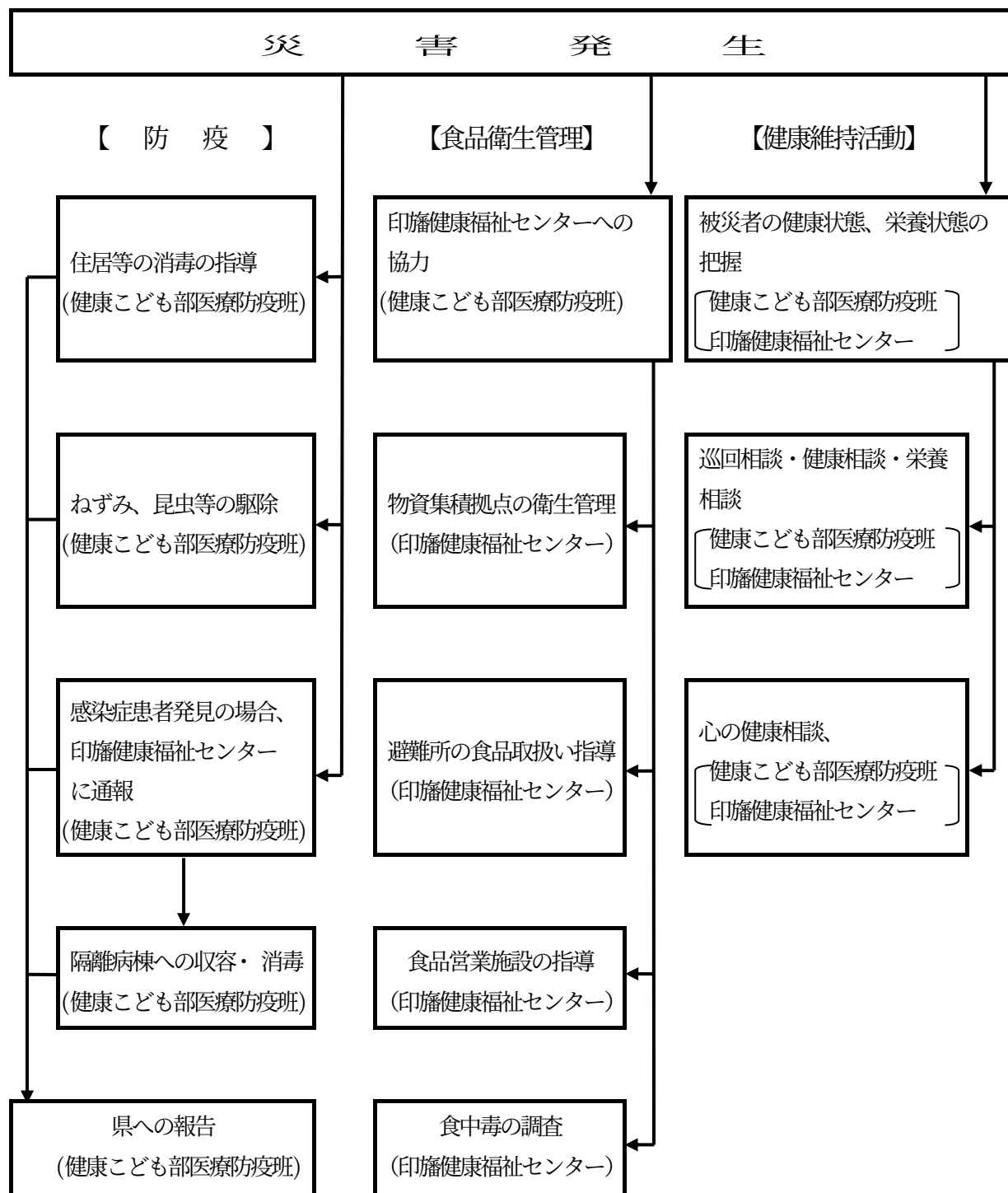


## 6. 地域健康危機管理体制

### 《佐倉市の健康危機管理体制》

地震等の災害が発生した場合、佐倉市地域防災計画に基づき、印旛保健所及び地域医療機関等関係機関と連携を図りながら、市民の健康維持のため、良好な衛生状態の確保に努める。

### 《応急対策の流れ》



## 《災害時応急活動》

災害発生時の対応として、次の事務を所掌する。

健康こども部      責任者：健康こども部長

| 班 名                                                            | 所 掌 事 務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 医 療 防 疫 班<br>(健康増進課)<br>(健康管理センター)<br>(西部保健センター)<br>(南部保健センター) | 1. 被災者の医療、助産、防疫・救護に関する事。           2. 災害時の感染症の予防・防疫に関する事。           3. 被災家屋等の消毒・防疫に関する事。           4. 医療救護班等の派遣依頼・連絡調整に関する事。           5. 医療救護班等の活動の把握、報告、継続の要否に関する事。           6. 救護所の設置及び被災傷病者の把握に関する事。           7. 市内医療機関の被害状況の把握及び報告に関する事。           8. 医療要員・医療用資機材・医療品等の県、近隣市町村、関係機関等への支援要請に関する事。           9. 印旛健康福祉センターとの連絡に関する事。           10. 遺体の検案及び収容の協力に関する事。           11. 健康管理センター及び保健福祉センターの利用者の保護及び避難等に関する事。           12. 健康管理センター及び保健福祉センターの被害状況の把握・報告、警備及び応急対策に関する事。 |

## 7. 健康増進計画「健康さくら21」

### ① 計画策定の背景とその経過

1999年のWHOのデータによると、日本人の平均寿命は男性が77.6歳、女性84.3歳と、ともに世界第1位となっている。しかし、人口の急速な高齢化と共に、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の増加、あるいはこれに伴ない痴呆、寝たきり等の要介護者の増加や医療費の増加が深刻な社会問題となってきている。

平成12年の総死亡原因に占める生活習慣病による死亡率は、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病を合算すると、国が60%、県が62%、佐倉市が63%と、いずれも過半数を大きく上回っているのが現状である。

### ② 従来の日本における健康づくり関連の取り組み

#### 昭和53年 「第1次国民健康づくり対策」

- ・主に健康づくりの3要素として栄養・運動・休養を取り上げて健康増進事業を推進している。この時、保健婦はそれまでの国保保健婦から市町村保健婦へ身分移管が行われ、同時に健康施策の推進を図るため、住民組織団体の連携を目的に「健康づくり推進協議会」の設置が始まった。そして、国民一人ひとりの健康づくりのスローガンを「自分の健康は自分で守る」と掲げ、行政主導で構成された住民組織が、主に行政からの情報伝達と事業への受診勧奨の役割を担うものとされた。

#### 昭和63年 「第2次国民健康づくり対策－アクティブ80ヘルスプラン」

- ・検診からの予防対策が推進され、その結果、年を経るごとに各種の事業には健康に関心のある人や参加できる人が参加実践するようになり、その効果や結果評価も、個人の関心度や参加意識（事業参加・受診率等）を図ることに終始してきた。そして、「アクティブ80ヘルスプラン」と題して、80歳になっても身のまわりのことができ、社会参加も果たせる自立した高齢者を目指すことを目的に、生涯を通じた健康増進事業を提唱されてきた。

#### 平成12年 「第3次国民健康づくり対策 健康日本21-21世紀における国民の健康づくり運動」

- ・早期発見・早期治療と言われる「2次予防」はもとより、病気にならずに健康づくりを増進する「1次予防」に重点をおき、平均寿命の延伸から、寝たきりにならずに人間らしく生きるための健康寿命の延伸へと、量的な問題から質的な問題が重要視されるようになった。

#### 平成14年8月 「健康増進法」

- ・第3次国民健康づくり対策（健康日本21－21世紀における国民の健康づくり運動－）の基本方針等が法制化され、都道府県は元より市町村においても地方計画を策定し、計画的な健康づくり施策を推進するよう明文化されてきた。健康さくら21は、まさにこの健康日本21の地方計画として、計画されたものである。

### ③ 「健康日本21がめざすもの」

- ・すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現。
- ・健康の実現は、個人の健康観により一人ひとりが主体的に取り組む課題。個人の力とあわせ、社会全体が個人の主体的な健康づくりを支援。
- ・個人の健康観に基づき健康の増進に努めることを国民の責務とし、それを社会全体で支援していくもの。ここでいう社会全体とは、国や地方公共団体をはじめ、健康増進事業実施者、医療機関、その他の関係者が想定されている。
- ・健康寿命を伸ばしていくために、まず、健康に関するさまざまな指標において具体的な目標を設定。

- ・行政主導型ではなく、国民が一体となった健康づくり運動を展開していかなければならないとしている。そのために行政として健康に関する意識の啓発と情報提供をし、国民の健康づくりを側面的に支援。
- ・「健康日本21」の運動期間については、平成19年4月に取りまとめられた「健康日本21中間評価報告書」、平成20年4月の医療制度改革に伴い「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針について」の一部改正が行われたことを踏まえ改正され、2010年から2012年に延長された。また、健康指標は、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、糖尿病、循環器病、がん、9つの分野で79項目（75項目→79項目に増加）の目標設定となった。

#### ④ 健康さくら21策定の経過

|           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| 平成14年度    | 市民健康意識調査の実施、健康課題の抽出、健康さくら21策定委員会の設置 |
| 平成15年度    | 計画策定                                |
| 平成16年度    | 計画公表                                |
| 平成18・19年度 | 市民健康意識調査の実施、分析（中間評価）                |
| 平成20年度    | 計画見直し、公表                            |

#### ⑤ 健康さくら21の位置づけと期間

本計画は、国の「健康日本21」・「健やか親子21」の地方計画として位置づけるとともに、「健やか親子21」の趣旨を踏まえ、佐倉市母子保健計画を含むものとなっている。

さらに、本市のまちづくりの基本的な方向性を示す「第3次佐倉市総合計画（平成13～22年度）」に基づき、各分野や他計画との連携のもと、市民の健康づくりを総合的に推進するための行動計画として位置づけられる。計画の期間については、平成16年度を初年度とし、平成22年度を最終目標年度とする計画としていたが、中間評価及び「健康日本21」の計画期間が延長されたことより、平成24年度までの計画とした。

##### 〔基本方針〕

- ・「健康日本21」と「健やか親子21」とを含めた一体的な計画  
⇒健康寿命延伸への取り組みと健やかな親子づくりの取り組み
- ・一次予防の重視
- ・ヘルスプロモーションの実現
- ・健康づくり運動の推進とその評価

##### 〔基本理念〕

市民が主役～みんながつくる健やかまちづくり～

##### 〔基本目標〕

1. 自分に合った健康づくりに取り組もう（一人ひとりの個性と健康観の重視・みんなが主役）
2. 楽しみながら健康づくりに取り組もう（無理をせず自分に合った活動を）
3. 親と子が健やかに暮らせるまちをつくっていこう（地域ぐるみの子育て・子育て）
4. 歴史と自然に親しみながら健康づくりを進めよう（市の資源を生かした取り組み）
5. とともに支え合って健康づくり運動を推進しよう（健康づくりの環境整備・しくみづくり）





## 佐倉市健康増進計画 「健康さくら21」

### 全分野をつなぐ大目標

- ◎ 健やかに充実して暮らせている人を増やす
- ◎ 自分の生活習慣をよいと思える人を増やす
- ◎ 子育てに自信が持てると感じる親を増やす

健康寿命の延伸への取り組み

#### 基本目標1

自分に合った健康づくりに取り組もう

#### 基本目標2

楽しみながら健康づくりに取り組もう

#### 基本目標3

親と子が健やかに暮らせるまちをつくっていこう

#### 基本目標4

歴史と自然に親しみながら健康づくりを進めよう

#### 基本目標5

ともに支え合って健康づくり運動を推進しよう

健やかな親子づくりの取り組み

### 計画の推進方策

- ・計画の進行管理
- ・計画の推進、評価
- ・次期計画の策定に向けての取り組み

## II 子どもの保健



## 1. 妊娠届出・母子健康手帳交付

|                                             |                                     |
|---------------------------------------------|-------------------------------------|
| 根拠法令等                                       | 母子保健法第 15 条、第 16 条                  |
| 健康さくら 21 目標値<br>平成18年度（市の現状）→<br>平成24年度（目標） | ・妊娠 11 週以下での妊娠の届出率の増加 75.5% → 97%以上 |

### 《目 的》

母子保健法第 15 条に基づき提出された妊娠届出により、妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を一貫して記録しておくため母子健康手帳を交付する。（母子保健法第 16 条に基づく）

### 《内 容》

妊娠届出をした者に母子健康手帳及び副読本、及び妊婦・乳児一般健康診査受診票を交付する。

### 《実 績》

#### ①過去 5 年間妊娠週数別届出数（H18～22 年度）

| 年度    | 妊娠届出数 | 初妊婦数           | 妊 娠 週 数          |         |         |        |     |      |
|-------|-------|----------------|------------------|---------|---------|--------|-----|------|
|       |       |                | 0～11 週           | 12～19 週 | 20～27 週 | 28 週以上 | 産 後 | 週数不詳 |
| 18 年度 | 1,310 | 606<br>(46.3%) | 989<br>(75.5%)   | 292     | 22      | 7      | 0   | —    |
| 19 年度 | 1,295 | 564<br>(43.6%) | 942<br>(72.7%)   | 319     | 22      | 11     | 1   | —    |
| 20 年度 | 1,260 | 591<br>(46.9%) | 1,023<br>(81.2%) | 212     | 13      | 8      | 2   | —    |
| 21 年度 | 1,257 | 606<br>(48.2%) | 1,111<br>(88.4%) | 118     | 17      | 8      | 3   | —    |
| 22 年度 | 1,205 | 566<br>(47.0%) | 1,054<br>(87.5%) | 122     | 17      | 6      | 1   | 5    |

#### ②地区別妊娠週数別届出数（H22 年度）

| 地区  | 総数    | 妊 娠 週 数 |         |         |        |     |      |
|-----|-------|---------|---------|---------|--------|-----|------|
|     |       | 0～11 週  | 12～19 週 | 20～27 週 | 28 週以上 | 産 後 | 週数不詳 |
| 佐倉  | 184   | 164     | 17      | 3       | 0      | 0   | 0    |
| 臼井  | 203   | 164     | 29      | 6       | 1      | 0   | 3    |
| 志津  | 569   | 495     | 60      | 7       | 5      | 0   | 2    |
| 根郷  | 176   | 161     | 13      | 1       | 0      | 1   | 0    |
| 和田  | 10    | 10      | 0       | 0       | 0      | 0   | 0    |
| 弥富  | 3     | 3       | 0       | 0       | 0      | 0   | 0    |
| 千代田 | 60    | 57      | 3       | 0       | 0      | 0   | 0    |
| 合計  | 1,205 | 1,054   | 122     | 17      | 6      | 1   | 5    |

#### ③母子健康手帳再交付・受診票交換（交付）数（H22 年度）

| 母子健康手帳 再交付 | 後で多胎と判明 | 転入のため受診票交換 | その他（外国語版母子手帳交付など含む） |
|------------|---------|------------|---------------------|
| 18         | 2       | 260        | 13                  |

### 《考 察》

市内 6 医療機関に妊娠届出書を設置し、妊娠届出時の面接相談ができる保健センターでの届出を勧奨してもらったところ、保健センターへの届出数が約 2 倍に増加した。今後も引き続き早期の妊娠届出や、保健センターでの届出を勧奨し、健やかな妊娠、出産を迎えられるように支援していきたい。

## ２．マタニティクラス

| 根拠法令等                                       | 母子保健法第 9 条                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら 21 目標値<br>平成18年度（市の現状）→<br>平成24年度（目標） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児に参加する父親の増加 81.9% → 87%以上</li> <li>・夫の育児協力を満足している人の増加 78.1% → 増加</li> <li>・市もしくは病院のマタニティクラスを受講した人の増加 76.2%→93%以上</li> <li>・妊娠中の飲酒率の減少 18.6%→ 減少</li> <li>・妊娠中の喫煙率の減少 5.9%→ なくす</li> <li>・妊娠中の母親の前で吸っていた家族の減少 28.3%→ 減少</li> </ul> |

### 《目 的》

妊娠・出産・育児について体験学習を通して正しい知識を学び、健全な母性と児の育成を図る。妊婦同士の交流を図りながら、地域における子育ての仲間づくりを支援する。

また、マタニティクラスに参加する父親に、妊婦の体の変化や育児協力の大切さを伝えることにより、夫婦共同の必要性の認識を促す。

### （１）マタニティクラス

#### 《内 容》

- ①対 象 佐倉市に在住する初妊婦 各コース定員 35 人
- ②周知方法 参加案内文を妊娠届出時に配布・こうほう佐倉・健康カレンダー  
ホームページ掲載
- ③実施回数 1 コース 2 課 年間 6 コース 計 12 回
- ④実施会場 健康管理センター（年間 2 コース）、西部保健センター（年間 2 コース）  
南部保健センター（年間 2 コース）
- ⑤カリキュラム

| 課   | 内 容                                                                                                                     | 担 当 者                     | 時 間            |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|----------------|
| 1 課 | 1 オリエンテーション・自己紹介<br>2 助産師講義「妊娠中の生活」<br>3 栄養士講義・調理実習「妊娠中・授乳期の栄養」<br>4 歯科医師講義「妊娠中のお口の健康」<br>5 個別相談（希望の方・必要な方）             | 保健師・助産師・栄養士<br>歯科医師・歯科衛生士 | 9:15<br>～15:00 |
| 2 課 | 1 オリエンテーション・自己紹介<br>2 助産師講義「お産の後のあなたと赤ちゃんの健康」<br>・「赤ちゃんとの生活」<br>3 妊婦体験・沐浴実習<br>4 保健師講義「佐倉市からのお知らせ」<br>5 個別相談（希望の方・必要な方） | 保健師・助産師                   | 9:15<br>～14:30 |

## 《実 績》

### ①年度別受講状況

| 年度   | 対象者数（人） | 受講者数（人） | 受講率（％） |
|------|---------|---------|--------|
| 18年度 | 592     | 161     | 27.2   |
| 19年度 | 631     | 177     | 28.1   |
| 20年度 | 625     | 171     | 27.4   |
| 21年度 | 639     | 106     | 16.6   |
| 22年度 | 570     | 171     | 30.0   |

### ②地区別受講状況

| 地 区    | 対象者数(人) | 参加人数(人) | 参加率(%) | 夫参加数(人) | 夫参加率(%) |
|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 佐 倉    | 75      | 31      | 41.3   | 27      | 36.0    |
| 白 井    | 97      | 19      | 19.6   | 17      | 17.5    |
| 志 津    | 271     | 81      | 29.9   | 68      | 25.1    |
| 根 郷    | 97      | 31      | 32.0   | 27      | 27.8    |
| 和 田    | 3       | 0       | 0      | 0       | 0       |
| 弥 富    | 3       | 0       | 0      | 0       | 0       |
| 千代田    | 24      | 9       | 37.5   | 8       | 33.3    |
| 合 計（人） | 570     | 171     |        | 147     |         |
| 平均（％）  |         |         | 30.0   |         | 25.8    |

### ③平成 22 年度相談件数

実人数 54人、 延人数 62人

（再掲 保健師・助産師相談 実 48人 延55人 栄養士相談 実 4人 延 7人）※重複あり

| 相談理由    | 身体 | 運動 | 禁煙 | こころ | 休養 | 生活 |
|---------|----|----|----|-----|----|----|
| 相談者数(人) | 52 | 0  | 0  | 0   | 0  | 3  |

#### 【主な相談内容】

妊娠高血圧症候群、食事内容、体重管理、腹緊、逆子、つわり、出産・育児準備に関すること

### ④夫の参加状況（妊婦に対して）

| 年度   | 妊婦参加実人数（人） | 夫参加人数（人） | 参加率（％） |
|------|------------|----------|--------|
| 18年度 | 161        | 145      | 90.1   |
| 19年度 | 177        | 135      | 76.3   |
| 20年度 | 171        | 143      | 83.6   |
| 21年度 | 106        | 81       | 76.4   |
| 22年度 | 171        | 147      | 85.9   |

⑤参加妊婦の喫煙状況 (%) ※小数点第2位四捨五入

| 年度   | 喫煙中 | 禁煙中 | すわない | 無回答 |
|------|-----|-----|------|-----|
| 18年度 | 1.0 | 8.0 | 91.0 | 0.0 |
| 19年度 | 4.5 | 9.0 | 83.6 | 2.9 |
| 20年度 | 2.3 | 4.7 | 92.4 | 0.6 |
| 21年度 | 0   | 6.6 | 92.5 | 0.9 |
| 22年度 | 2.3 | 6.4 | 90.1 | 1.2 |

⑥家族の喫煙状況 (%) ※小数点第2位四捨五入

| 年度   | 喫煙中  | 禁煙中 | すわない | 無回答 |
|------|------|-----|------|-----|
| 21年度 | 31.1 | 2.8 | 65.1 | 0.9 |
| 22年度 | 31.4 | 3.3 | 63.3 | 1.9 |

⑦参加妊婦の飲酒状況 (%) ※小数点第2位四捨五入

| 年度   | 飲酒している | 飲酒していない | 無回答 |
|------|--------|---------|-----|
| 18年度 | 3.0    | 97.0    | 0.0 |
| 19年度 | 1.7    | 94.9    | 3.4 |
| 20年度 | 2.3    | 97.7    | 0   |
| 21年度 | 0      | 99.1    | 0.9 |
| 22年度 | 1.8    | 97.1    | 1.2 |

## 《考 察》

H21年度は、新型インフルエンザの影響で1コース中止したため受講率が低下したが、H22年度は受講率が従来通り3割程度まで戻ってきている。また妻に対する夫の参加率もH21年度に比べ9.5%増加し85.9%であり、育児に参加する目標値に近づいてきている。今後も妊婦とその家族が受講しやすい体制作りと事業の周知を図ることで、事業の目標である「育児に参加する夫の増加」を図っていききたい。

## (2) プレママ体験

### 《内 容》

- ①対 象 佐倉市に在住する妊婦とその家族 各コース定員25人
- ②周知方法 参加案内文を妊娠届出時に配布・こうほう佐倉・健康カレンダー  
ホームページ掲載・対象妊婦に案内文を発送
- ③実施回数 年間2回
- ④実施会場 健康管理センター 1回、西部保健センター 1回
- ⑤カリキュラム

|                                                                                                    |         |                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------|
| 1 オリエンテーション・自己紹介<br>2 助産師講義「赤ちゃんを迎える準備」<br>3 妊婦体験・沐浴実習<br>4 保健師講義「佐倉市からのお知らせ」<br>5 個別相談（希望の方・必要な方） | 保健師・助産師 | 13:30<br>～15:50 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------|

## 《実 績》

### ①受講状況

| 年度                  | 妊婦参加実人数              | 夫参加人数 | 夫以外の家族参加人数 |
|---------------------|----------------------|-------|------------|
| 平成 21 年度<br>(3 回開催) | 28 人<br>(再掲 経産婦 6 人) | 11 人  | 4 人        |
| 平成 22 年度<br>(2 回開催) | 18 人<br>(再掲 経産婦 5 人) | 9 人   | 2 人        |

### ②平成 22 年度相談件数

保健師・助産師相談 実人数 6 人、延人数 7 人

| 相談理由           | 身体  | 運動 | 禁煙 | こころ | 休養 | 生活 |
|----------------|-----|----|----|-----|----|----|
| 相談者数<br>(延べ人数) | 7 人 | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  |

#### 【主な相談内容】

妊娠高血圧症候群、体重管理など

### ③参加妊婦の喫煙状況 (%) ※小数点第 2 位四捨五入

| 年度    | 喫煙中 | 禁煙中  | すわない | 無回答 |
|-------|-----|------|------|-----|
| 21 年度 | 0   | 21.4 | 75.0 | 3.6 |
| 22 年度 | 0   | 10.5 | 89.5 | 0   |

### ④家族の喫煙状況 (%) ※小数点第 2 位四捨五入

| 年度    | 喫煙中  | 禁煙中  | すわない | 無回答 |
|-------|------|------|------|-----|
| 21 年度 | 35.7 | 0    | 60.7 | 3.6 |
| 22 年度 | 0    | 21.0 | 78.9 | 0   |

### ⑤参加妊婦の飲酒状況 (%) ※小数点第 2 位四捨五入

| 年度    | 飲酒している | 飲酒していない | 無回答 |
|-------|--------|---------|-----|
| 21 年度 | 3.6    | 92.9    | 3.6 |
| 22 年度 | 0      | 100.0   | 0   |

## 《考 察》

H21 年度から開始した 2 年目の事業であり、昨年度参加者が少なかったため今年度は時間帯を午後に変更した。また周知方法として、妊娠届け出時だけでなく、対象月の妊婦に個別通知を図り、周知を促した。しかし案内時に、「就労しているため平日開催であると参加できない」との声が多く聞かれ、実際にも 1 回の参加者が 10 人弱とマタニティクラスと比較すると少なかった。また参加者から、夫と参加したいため週末開催希望との声が多く聞かれた。よって、H23 年度からは日程を週末に変更し、「パパママクラス」と名称を変更し、妊婦と夫を対象に開催したい。

### 3. 母子訪問指導

|                                           |                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 根拠法令等                                     | 母子保健法第10条、第11条、第17条、<br>次世代育成支援対策交付金事業（こんにちは赤ちゃん事業）                                                                                                            |
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）→<br>平成24年度（目標） | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに自信が持てない保護者の減少 47.3% → 減少</li> <li>子どもをかわいいと思える保護者の増加 98.3% → 増加</li> <li>育児についての相談相手のいない保護者の減少 3.5% → 減少</li> </ul> |

#### 《目 的》

母子保健法第11条及び17条に基づき、妊婦に対して家庭訪問を行い、妊娠・出産・産褥期における病気を予防する。また、産婦・新生児に必要な家庭訪問を行い児の健康増進を図るとともに、養育者の育児不安の解消に努め、安心して子育てができるように支援する。

また、国の次世代育成支援対策交付金による事業として平成20年度から、市が実施主体として「生後4ヶ月までの全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」を開始し、これまでの母子保健法に基づく新生児訪問とあわせて実施している。

### （1）妊産婦・生後4ヶ月までの全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）

#### 妊産婦訪問

##### 《内 容》

- ①対象
  - ・妊娠届出書や電話等で訪問を希望する者
  - ・妊娠届出書より訪問が必要と認められる者
- ②方法 家庭訪問による相談と支援

##### 《実 績》

##### ①実施状況

| 年度   | 妊娠届出数 | 妊婦訪問<br>人数(回) | 要支援者数<br>(人) | 産婦訪問<br>人数(回) | 要支援者数<br>(人) |
|------|-------|---------------|--------------|---------------|--------------|
| 18年度 | 1,310 | 21(22)        | 13           | 3             | 0            |
| 19年度 | 1,295 | 16(16)        | 3            | 2             | 0            |
| 20年度 | 1,260 | 17(17)        | 4            | 0             | 0            |
| 21年度 | 1,257 | 15(16)        | 7            | 3(5)          | 2            |
| 22年度 | 1,205 | 33(36)        | 15           | 3(4)          | 1            |

##### 《考 察》

妊婦訪問では、妊娠届出に記載する基本情報（過去の妊娠歴、年齢、届け出週数など）等から、問題を抱える妊婦を早期に発見し、妊娠から出産、産後の育児にわたり一貫した支援ができるように妊婦訪問等のPRを行い、早期支援に努める。

### 生後4ヶ月までの全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）

#### 《内 容》

#### 1. 新生児訪問

- ①対象 原則として産後28日以内の産婦及びその新生児
  - ・第1子全員
  - ・第2子以降で希望があった者
  - ・妊娠期から継続して支援している者

- ・医療機関からの訪問依頼があった者
- ・里帰り中で他市町村から依頼があった者

②方法 家庭訪問による相談と支援

③従事者 保健師・助産師

## 2. こんにちは赤ちゃん訪問

①対象 生後4か月までの産婦及びその乳児  
・第2子以降全員で新生児訪問を希望しないもの

②方法 家庭訪問による育児に関する情報提供

③従事者 こんにちは赤ちゃん訪問協力員・看護師・保健師

### 《実 績》

① 実施状況

|         |                                       |                               |
|---------|---------------------------------------|-------------------------------|
| 対象者数 a  | 生後4ヶ月までの全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業) b (b/a) |                               |
| 1,152 人 | 989 人 (86%)                           | うち、新生児訪問指導等と同時に実施(再掲) c (c/a) |
|         |                                       | 704 人 (61%)                   |

②過去5年間の実施状況 ＊対象数：出生数から低出生体重児を除く

| 年度   | 対象者数(人) | 訪問人数(回)     | 要支援者数(人)    |
|------|---------|-------------|-------------|
| 18年度 | 1,057   | 550 (576)   | 123 (22.4%) |
| 19年度 | 1,181   | 623 (657)   | 71 (11.4%)  |
| 20年度 | 1,218   | 948 (949)   | 154 (16.2%) |
| 21年度 | 1,211   | 988 (1,002) | 163 (16.4%) |
| 22年度 | 1,152   | 989 (1,013) | 187 (18.9%) |

※20年度からの訪問人数は、こんにちは赤ちゃん訪問事業と新生児訪問と同時に実施した人数を再掲

### 「こんにちは赤ちゃん訪問協力員研修」

《目 的》現在活動中の協力員に対して、研修を実施することで資質の向上を図る。

《対 象》こんにちは赤ちゃん訪問協力員 46名

《内 容》スケジュール

| 日程                     | 人数  | 内容                                                                                      |
|------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成23年<br>2月23日(水)      | 22人 | 1. 講演会<br>「兄弟関係に関するアドバイスについて」<br>講師：(社)日本助産師会千葉県支部<br>印旛郡市地区助産師会 会長 路野 富子<br>2. グループワーク |
| 平成21年度こんにちは赤ちゃん訪問協力員のみ |     |                                                                                         |
| 平成23年<br>3月4日(金)       | 1人  | 乳児相談事業説明、乳児相談見学、グループワーク                                                                 |
| 平成23年<br>3月8日(火)       | 1人  | 乳児相談事業説明、乳児相談見学、グループワーク                                                                 |
| 平成23年<br>3月15日(火)      | 1人  | 乳児相談事業説明、乳児相談見学、グループワーク                                                                 |

## 《考 察》

生後4か月までの早い時期の乳児の家庭訪問は、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初となり、乳児のいる家庭の孤立を防ぎ子育て支援を行う重要な事業である。

広報やCATV、医療機関へのポスター掲示等により事業のPRを行ったことで、市民への周知が図られ、訪問の受け入れがスムーズになってきている。

また、訪問の結果、継続支援が必要となった者187人の内訳では、「保護者の不安・負担」によるものが最も多く、次いで「発育」、「育児・生活態度」の順に多くなっている。



## （２）乳児・幼児訪問指導

### 《目 的》

支援を必要とする乳児、幼児に家庭訪問を行い、児の健康増進を図るとともに、養育者の育児不安の解消に努め、安心して子育てができるように支援する。

### 《内 容》

- ①対象 乳児、幼児とその保護者
- ②方法 家庭訪問による相談と支援

### 《実 績》

| 年度    | 乳 児   |       | 幼 児   |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 実数（人） | 延数（人） | 実数（人） | 延数（人） |
| 18 年度 | 67    | 109   | 68    | 113   |
| 19 年度 | 44    | 68    | 57    | 102   |
| 20 年度 | 39    | 49    | 44    | 56    |
| 21 年度 | 35    | 58    | 62    | 100   |
| 22 年度 | 32    | 42    | 44    | 69    |

### 《考 察》

乳児期では体重の増加などの身体発育への不安、幼児期になると発達の遅れや児へのかかわり方等への心配などから、育児不安につながり支援を必要とする母子も多い。

家庭訪問により、専門職による相談を受けることができ、健康や育児に必要な情報を得ることで、育児不安の軽減につながるものと思われる。

## 4. 妊婦・乳児一般健康診査

|                                           |                                 |
|-------------------------------------------|---------------------------------|
| 根拠法令等                                     | 母子保健法第13条                       |
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）→<br>平成24年度（目標） | ・かかりつけの小児科医を持つ人の増加 88.1% → 100% |

### 《目 的》

母子保健法第13条に基づき、妊産婦又は乳児に対して健康診査を実施し、異常の有無を早期に発見し適切な指導を行い、妊産婦及び乳児の健康の保持増進を図る。

### 《内 容》

①対象 佐倉市に住所を有する妊婦及び乳児

②健診種類及び検査内容

ア) 妊婦一般健康診査

| 期 間           | 妊娠初期～23週                                                                 | 妊娠24～35週                                                                                | 妊娠36週～出産                                  |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 健診回数          | 4回                                                                       | 6回                                                                                      | 4回                                        |
| 受診間隔          | 4週間に1回                                                                   | 2週間に1回                                                                                  | 1週間に1回                                    |
| 毎回共通の検査項目     | 問診・診察<br>検査・計測（子宮底長、腹囲、血圧、浮腫、体重、尿検査）<br>保健指導（妊娠期間を健やかに過ごすための食事や生活のアドバイス） |                                                                                         |                                           |
| 必要に応じて行う医学的検査 | 血液検査（血型・抗体）<br>（初期に1回）<br>子宮頸部がん検査<br>（初期に1回）<br>超音波検査<br>（期間内に2回）       | 血液検査（血清・血糖・<br>HTLV-1抗体検査）<br>（期間内に1回）<br>B群溶血性レンサ球菌検査<br>（期間内に1回）<br>超音波検査<br>（期間内に1回） | 血液検査（血清）<br>（期間内に1回）<br>超音波検査<br>（期間内に1回） |

イ) 乳児一般健康診査（1回目：3～6か月、2回目：9～11か月）

問診及び診察（発育・発達の検査など）、尿化学検査、血液検査

＊尿化学検査、血液検査については医師が必要ないと認めた場合は省略

③実施方法

医療機関に委託

受診者は妊娠届出時に発行している母子手帳別冊1にある受診票を協力医療機関へ持参。

④周知方法

ア. 妊娠届出書提出時に受診票を閉じこんだ「母子手帳別冊1」配布

イ. 手帳発行時の「佐倉市からのお知らせ」に掲載

ウ. ホームページ、健康カレンダーに掲載

## 《実 績》

### ①妊婦一般健康診査受診状況

発券枚数：各年度妊娠届出数×2（回分）

20年度は妊娠届出数×5（回分）

21年度から妊娠届出数×14（回分）

| 年度   | 対象者数<br>(妊娠届出数) | 発券枚数   | 利用枚数<br>(19年度まで2回分・20年度は5回分<br>21年度からは14回分) | 利用率(%) |
|------|-----------------|--------|---------------------------------------------|--------|
| 18年度 | 1,310           | 2,620  | 2,381                                       | 90.9   |
| 19年度 | 1,295           | 2,590  | 2,468                                       | 95.3   |
| 20年度 | 1,260           | 6,300  | 6,329                                       | 100.5  |
| 21年度 | 1,257           | 17,598 | 14,616（償還分70含む）                             | 83.1   |
| 22年度 | 1,205           | 16,870 | 13,891（償還分96含む）                             | 82.3   |

### ②乳児一般健康診査受診状況

対象数：各年度出生数×2（回分）

| 年度   | 対象者数<br>(出生数) | 発券枚数  | 乳児一般健康診査<br>(2回分)利用枚数 | 利用率(%) |
|------|---------------|-------|-----------------------|--------|
| 18年度 | 1,216         | 2,432 | 2,009                 | 82.6   |
| 19年度 | 1,310         | 2,620 | 2,089                 | 79.7   |
| 20年度 | 1,218         | 2,436 | 2,194                 | 90.1   |
| 21年度 | 1,211         | 2,422 | 2,117                 | 87.4   |
| 22年度 | 1,152         | 2,304 | 2,059                 | 89.4   |

## 《考 察》

妊婦・乳児一般健康診査は、主治医及び里帰り先などで受診することが多いため、市外及び県外での受診者も多い。そのため、千葉県内外を問わず市民の希望する医療機関と随時個別契約し、市民の利便性の向上に努めている。

平成20年度から妊婦一般健康診査の公費助成回数を2回から5回に、平成21年度からは更に14回に増加し、健診にかかる経済的負担の軽減に努めたが、14回すべての助成券を利用する妊婦が少なく、平成22年度の利用率は、前年度に比し減少した。

平成22年10月6日からHTLV-1抗体検査が、公費助成の対象として追加された。年度途中での制度変更であったため、償還払いで助成することとし、対象となる妊婦に個別通知し、94件の助成を行った。平成23年度からは、新たに追加となるクラミジア抗原同定検査と併せ、現物給付を行う。

平成22年度をもって終了する予定であった妊婦健診臨時特別交付金が平成23度末まで延長されたが、平成24年度以降は、妊婦・乳児一般健康診査事業の財源を独自に確保する必要があり、公費助成の在り方（回数、検査内容等）を検討していくことが喫緊の課題となっている。

乳児一般健康診査は、前年度に比し若干の利用率上昇を見たが、依然として、1割強の受診票未利用者があることから、新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問等の母子保健事業を通じ、乳児健診の受診を勧奨し、受診率の向上を図っていく。併せて、健康さくら21の目標である「かかりつけの小児科医を持つ人の増加」の達成に努めていくことが重要である。

## 5. 乳児相談

| 根拠法令等                                     | 母子保健法第9条、10条                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）→<br>平成24年度（目標） | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに自信が持てない保護者の減少 47.3% → 減少</li> <li>子どもをかわいいと思える保護者の増加 98.3% → 増加</li> <li>育児についての相談相手のいない保護者の減少 3.5% → 減少</li> </ul> |

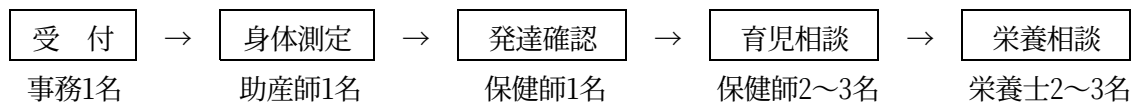
### 《目 的》

母子保健法第9条、10条に基づき、乳児の成長、発達状態の観察とそれらに応じた適切な保健指導を保護者に行うことにより、乳児の発育過程を支援する。

### 《内 容》

- ①対 象 生後4か月の乳児
- ②実施方法 市内3会場にて月1回実施（南部保健センター・西部保健センター・健康管理センター）。健康管理センター・西部保健センターは午前、午後を実施。南部保健センターは午後に実施。

### ③実施内容と流れ



- ④周知方法 生後5か月に達する月に、対象者全員に「4か月乳児相談のお知らせ」を送付。「こうほう佐倉」、健康カレンダー、ホームページにて周知。

### 《実 績》

#### ①来所状況（人）

| 年度   | 対象者数  | 来所者数  | 来所率   |
|------|-------|-------|-------|
| 18年度 | 1,205 | 866   | 71.9% |
| 19年度 | 1,278 | 1,006 | 78.7% |
| 20年度 | 1,247 | 1,042 | 83.6% |
| 21年度 | 1,218 | 726   | 59.6% |
| 22年度 | 1,184 | 957   | 80.8% |

#### ②地区別来所状況（人）

| 地区  | 対象者数  | 来所者数 | 来所率   |
|-----|-------|------|-------|
| 佐倉  | 182   | 149  | 81.9% |
| 白井  | 230   | 180  | 78.3% |
| 志津  | 528   | 424  | 80.3% |
| 根郷  | 172   | 135  | 78.5% |
| 和田  | 8     | 7    | 87.5% |
| 弥富  | 4     | 3    | 75.0% |
| 千代田 | 60    | 59   | 98.3% |
| 市全体 | 1,184 | 957  | 80.8% |

③平成22年度相談結果（人）

| 来所者数 | 支援なし  | 支援あり  | 他機関管理 |
|------|-------|-------|-------|
| 963  | 830   | 125   | 8     |
|      | 86.2% | 13.0% | 0.8%  |

※来所者数には、再来所6名を含む

※他機関管理は、疾患や障害などにより、医療機関などで管理されている方

※乳児相談から療育相談を紹介 9人、すくすく発達相談を紹介 5人

《考 察》

平成20年度より、新生児全員を対象とした訪問指導事業「こんにちは赤ちゃん訪問」が始まった。同事業において乳児相談の紹介を行っており、身近な相談の場として知られたことが、来所率の伸びにつながっていると考えられる。

平成21年度は、新型インフルエンザによる事業中止（11月～2月）に伴い、来所を自粛する傾向がみられ、来所者数が大幅に減少したが、平成22年度は新型インフルエンザの影響は受けず、平成20年度とほぼ同様の、8割の来所率になっている。

「こんにちは赤ちゃん訪問」後、初の相談事業となるためか、熱心に育児相談をされる保護者が多く、待ち時間が長いことが課題となっている。次年度は、待ち時間に佐倉市の子育て情報のDVDを放映するなど、時間を有効に活用していきたい。

要支援者は、13%と昨年に比較し0.2%増加している。支援理由としては、保護者の不安や負担によるものが増えてきていることから、育児の入口となるこの時期に、相談の場を多く提供していくことが必要と考える。乳児相談終了後も、もぐもぐ教室などの保健事業や、地区担当保健師・栄養士などの電話相談および家庭訪問、また親子の交流の場があることを紹介し、継続支援をしていきたい。

## 6. もぐもぐ教室

| 根拠法令等                                     | 母子保健法第9条                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状)<br>→平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりのために栄養や食事について考えていない保護者をなくす<br/>「あまりしていない」「ほとんどしていない」<br/>幼児の保護者 7.7% → なくす 小学生の保護者 4.2% → なくす</li> <li>むし歯のない3歳児の増加 75.3% → 80%以上</li> </ul> |

### 《目的》

乳児の成長に応じた適切な栄養、口腔衛生指導を保護者に行うことにより、乳児の健康の保持増進を図る。

### 《内容》

- ①対象 8か月の乳児
- ②実施回数 健康管理センター・西部保健センター：月1回、南部保健センター：2ヶ月に1回
- ③周知方法 対象児全員に個人通知の他、「こうほう佐倉」、健康カレンダー、ホームページにて周知
- ④実施内容 歯科衛生士・栄養士等による集団指導、希望者には個別相談

### 《実績》

#### ①年度別来所状況

| 年度   | 対象者数(人) | 来所者数(人) | 来所率(%) |
|------|---------|---------|--------|
| 18年度 | 1,305   | 524     | 40.2   |
| 19年度 | 1,257   | 704     | 56.0   |
| 20年度 | 1,311   | 816     | 62.2   |
| 21年度 | 1,229   | 572     | 46.5   |
| 22年度 | 1,219   | 742     | 60.9   |

#### ②センター別来所状況

| 実施会場     | 対象者数(人) | 来所者数(人) | 来所率(%) |
|----------|---------|---------|--------|
| 健康管理センター | 466     | 290     | 62     |
| 西部保健センター | 546     | 318     | 58     |
| 南部保健センター | 207     | 134     | 65     |

#### ③個別相談状況

|         | 相談者数(人) | 主な相談内容                    |
|---------|---------|---------------------------|
| 栄養士相談   | 330     | 授乳量と回数、食事量、食事形態、食事時間と回数 等 |
| 歯科衛生士相談 | 150     | はみがき、歯・歯列、咬合、母乳・ほ乳びん 等    |
| 保健師相談   | 197     | 発達、生活リズム、発育、育児全般の相談       |

### 《考察》

乳児後期は、規則的な生活リズムを整えるとともに、乳汁栄養から幼児食へと移行する過程の離乳に関する大切な時期であり、また歯も生えはじめる頃で歯の手入れが必要になる時期でもある。相談内容も、授乳・離乳食に関すること、歯に関することが多く、この時期に「もぐもぐ教室」の健康教育を通じて正しい知識を伝え、不安の解消をすることが、健康さくら21の目標値である「健康づくりのために栄養や食事について考えていない保護者をなくす」「むし歯のない3歳児の増加」を達成するために必要である。今後も内容の充実を図り、効果的な運営で目標値の達成に努めたい。

## 7. 1歳6か月児健康診査

| 根拠法令等                                      | 母子保健法第12条                                  |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | ・1歳6か月児健診、3歳児健診に満足している保護者の増加<br>62.4% → 増加 |

### 《目 的》

母子保健法第12条に基づき、1歳6か月児期の幼児に対し、健康診査を行い運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等をもった幼児を早期に発見する。又、生活習慣の自立、むし歯の予防、幼児の栄養、その他育児に関する指導を行うことにより、母子の心身の保持増進を図る。

### 《内 容》

- ①対 象 1歳6か月を超え2歳に満たない児
- ②実施場所及び回数 健康管理センター、西部保健センターにおいて毎月1回、  
南部保健センターにおいて2ヶ月に1回実施。(計30回)
- ③周知方法 1歳6か月に達した幼児全員に個人通知及び「こうほう佐倉」、ホームページに日程等掲載
- ④実施内容 全員実施：身体計測・歯科健診・育児相談・医師診察  
必要者のみ実施：栄養相談・歯科相談

### 《実 績》

#### ①-1 受診状況

| 年度   | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率(%) | 要支援者数(人) |
|------|---------|---------|--------|----------|
| 18年度 | 1,251   | 1,130   | 90.3   | 178      |
| 19年度 | 1,302   | 1,162   | 89.2   | 179      |
| 20年度 | 1,320   | 1,203   | 91.1   | 150      |
| 21年度 | 1,325   | 1,216   | 91.8   | 204      |
| 22年度 | 1,339   | 1,216   | 90.8   | 136      |

#### ①-2 平成22年度地区別受診状況

| 地区  | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率(%) | 要支援者数(人) |
|-----|---------|---------|--------|----------|
| 佐倉  | 209     | 195     | 93.3   | 26       |
| 臼井  | 229     | 197     | 86.0   | 29       |
| 志津  | 639     | 590     | 92.3   | 42       |
| 根郷  | 168     | 150     | 89.3   | 25       |
| 和田  | 15      | 14      | 93.3   | 2        |
| 弥富  | 5       | 5       | 100.0  | 1        |
| 千代田 | 74      | 65      | 87.8   | 11       |
| 市全体 | 1,339   | 1,216   | 90.8   | 136      |

#### ①-3 平成22年度要支援理由内訳(人)：支援理由の一番目にあげられるものを計上

| 支援理由           | 要支援者数 | 支援理由      | 要支援者数 |
|----------------|-------|-----------|-------|
| ことば            | 76    | 保護者の体調・疾患 | 4     |
| 保護者の不安・負担      | 25    | 理解面       | 2     |
| 発達             | 5     | 虐待ケース     | 4     |
| 育児・生活態度        | 9     | 聞こえ       | 2     |
| 発育             | 4     | 疾患障害      | 1     |
| 保護者の精神疾患(疑い含む) | 1     | その他       | 1     |
| 栄養             | 2     | 合計        | 136   |

②歯科健康診査結果

上段（人） 下段（％）

| 受診者数  | 相談者数 | 結果判定※ |      |     |     |     |     |     | 不正咬合 | 軟組織異常 | その他異常 |
|-------|------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|-------|
|       |      | 01型   | 02型  | 03型 | A型  | B型  | C1型 | C2型 |      |       |       |
| 1,215 | 517  | 495   | 662  | 32  | 19  | 7   | 0   | 0   | 54   | 2     | 92    |
| 90.7  | 42.6 | 40.7  | 54.5 | 2.6 | 1.6 | 0.6 | 0   | 0   | 4.4  | 0.2   | 7.6   |

・むし歯罹患率 2.1％ ・1人平均むし歯本数 0.07本

③医師診察結果（人）

| 対象者数  |           |          |               |        |      |     |        |
|-------|-----------|----------|---------------|--------|------|-----|--------|
| 1,339 | (a) 受診者数  |          |               |        |      |     |        |
|       | (b) 1,216 | 医師診察受診者数 |               | 医師診察結果 |      |     |        |
|       |           | (c) 717  | (c)/(a) 53.5% | 異常なし   | 経過観察 | 要治療 | 精密健康診査 |
|       |           |          |               | 599    | 89   | 19  | 10     |

備考：4月から9月まで医師診察を希望制で実施した300人を含む。

10月から市内18協力医療機関で全員診察を実施した。

④精密健康診査結果（人）

| 精密健康診査対象数 | 受診数 | 受診結果内訳 |      |     |
|-----------|-----|--------|------|-----|
|           |     | 異常なし   | 経過観察 | 要治療 |
| 6         | 5   | 3      | 2    | 0   |

備考：精密健康診査対象となった10人の内、受診券を発行した者6人の受診結果

⑤未受診者勧奨結果（人）

| 受診者数 | 把握済数 | 未把握数 |
|------|------|------|
| 3    | 90   | 33   |

備考：把握済数は、未受診勧奨アンケート提出により把握した数  
未把握数は、転出者を含む。

※歯科健康診査 結果判定の分類

- 1型 むし歯がなく、口腔環境が良好なもの
- 2型 むし歯はないが、将来むし歯罹患の不安のあるもの
- 3型 要観察歯（むし歯とは判定しないが、注意が必要な歯）があるもの
- A型 上の前歯のみ、または奥歯のみにむし歯のあるもの（比較的軽症）
- B型 奥歯および上の前歯にむし歯のあるもの（放置すれば重症になる恐れ）
- C1型 下の前歯のみにむし歯のあるもの（比較的予後は良好）
- C2型 下の前歯を含む他の部位にむし歯のあるもの（重症）

《考 察》

今年度受診者数は、1,216人、受診率は、昨年度から1.8％減少の90.8％であった。

10月から医師診察を医療機関での実施に当たり、集団方式と個別方式の併用となったため、集団健診未来所の未受診者に対して、集団受診勧奨通知をする際、アンケートを同封し、今後の健診受診予定や児の発育発達面、育児状況を把握することとした。

その結果、今年度未受診者であった123人の内、73.1％に当たる90人を把握することができ、引き続き、受診勧奨アンケートにより集団受診勧奨と併せて未受診者の全数把握ができるよう努めていきたい。

また、10月から始まった医療機関での医師診察については、満2歳まで受診機会があり、集団受診後、医師診察の受診忘れや、必要性を感じない等の理由により、医師診察に繋がらなかったかたも少なくない状況であった。集団健診受診勧奨と併せて、医師診察未受診者への勧奨も積極的に取り組んでいきたい。



## 8. 3 歳児健康診査

| 根拠法令等                                           | 母子保健法第 12 条                                     |
|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 健康さくら 21 目標値<br>平成 18 年度（市の現状）→<br>平成 24 年度（目標） | ・ 1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診に満足している保護者の増加<br>62.4% → 増加 |

### 《目 的》

母子保健法第 12 条に基づき、幼児期のうち身体発育および精神発達の面から最も重要である 3 歳児期に総合的な健康診査を実施し、またその結果に基づき適切な指導を行うことにより、母子の心身の健康の保持増進を図る。

### 《内 容》

- ①対 象                      3 歳 6 か月を超え 4 歳に満たない児
- ②実施場所及び回数      健康管理センター、西部保健センターにおいて毎月 1 回、年 12 回実施。  
南部保健センターにおいて 2 ヶ月に 1 回、年 6 回実施。
- ③周知方法                  3 歳 6 か月に達した幼児全員に健康調査票、歯科健診票等を送付。  
「こうほう佐倉」・ホームページにて周知。
- ④実施内容                  全員実施：尿検査・身体計測・歯科健診・育児相談  
必要者のみ実施：医師診察・言語相談・栄養相談・歯科相談・  
聴力二次健診・眼科二次健診

### 《実 績》

#### 1. 一次健診の状況

##### ①－1 受診状況

| 年度    | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率(%) | 要支援者数(人) |
|-------|---------|---------|--------|----------|
| 18 年度 | 1, 411  | 1, 153  | 81.7   | 121      |
| 19 年度 | 1, 473  | 1, 205  | 81.8   | 101      |
| 20 年度 | 1, 294  | 1, 091  | 84.3   | 94       |
| 21 年度 | 1, 338  | 1, 061  | 79.3   | 104      |
| 22 年度 | 1, 428  | 1, 149  | 80.5   | 116      |

##### ①－2 地区別受診状況

| 地区  | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率(%) | 要支援者数(人) |
|-----|---------|---------|--------|----------|
| 佐倉  | 218     | 176     | 80.7   | 17       |
| 白井  | 255     | 193     | 75.7   | 28       |
| 志津  | 646     | 515     | 79.7   | 49       |
| 根郷  | 207     | 178     | 86.0   | 14       |
| 和田  | 14      | 13      | 92.9   | 0        |
| 弥富  | 5       | 5       | 100.0  | 3        |
| 千代田 | 83      | 69      | 83.1   | 5        |
| 市全体 | 1, 428  | 1, 149  | 80.5   | 116      |

##### ①－3 要支援理由内訳(人)：支援理由の一番目にあげられるものを計上

| 支援理由      | 要支援者数(人) | 支援理由      | 要支援者数(人) |
|-----------|----------|-----------|----------|
| ことば       | 66       | 保護者の体調・疾患 | 2        |
| 保護者の不安・負担 | 21       | 栄養        | 1        |
| 発達        | 10       | 理解面       | 1        |
| 育児・生活態度   | 6        | 対人面       | 1        |
| 保護者の精神疾患  | 4        | その他       | 2        |
| 疾患・障害     | 2        | 合計        | 116      |

②尿検査結果

| 検査数    | 有所見数 | 有所見率<br>(%) | 有所見内訳（延数） |     |     |     |
|--------|------|-------------|-----------|-----|-----|-----|
|        |      |             | 糖         | 蛋白  | 潜血  | 小計  |
| 1, 108 | 246  | 22.2        | 2         | 137 | 107 | 246 |

③歯科健康診査結果 上段（人） 下段（%）

| 受診者数  | 相談者数 | 結果判定 ※ |      |     |      |     |     |     | 不正咬合 | 軟組織異常 | その他異常 |
|-------|------|--------|------|-----|------|-----|-----|-----|------|-------|-------|
|       |      | O1型    | O2型  | O3型 | A型   | B型  | C1型 | C2型 |      |       |       |
| 1,145 | 81   | 684    | 175  | 82  | 140  | 53  | 3   | 8   | 114  | 3     | 13    |
| 80.2  | 7.1  | 59.7   | 15.3 | 7.2 | 12.2 | 4.6 | 0.3 | 0.7 | 10.0 | 0.3   | 1.1   |

・むし歯罹患率 17.8% ・1人平均むし歯数 0.64本

※判定結果の分類は、1歳6か月児健康診査の「歯科健康診査結果」参照

④医師診察結果（人）

| 医師診察数  | 医師診察結果 |      |     |     |         |
|--------|--------|------|-----|-----|---------|
|        | 異常なし   | 経過観察 | 要治療 | その他 | 要精密健康診査 |
| 1, 149 | 774    | 107  | 6   | 3   | 259     |

⑤精密健康診査受診結果（人）

| 精密健康診査対象者 | 精密健康診査結果 |      |      |     | 未受診者数 |
|-----------|----------|------|------|-----|-------|
|           | 異常なし     | 経過観察 | 診断確定 | その他 |       |
| 259       | 113      | 37   | 4    | 0   | 105   |

（備考）診断確定の内訳 弱視2名、不同視1名、眼鏡処方1名

⑥未受診者勧奨結果（人）

| 受診者数 | 把握済数 | 未把握数 |
|------|------|------|
| 79   | 223  | 56   |

（備考）把握済数は、未受診勧奨アンケート提出により把握した数  
未把握数は、転出者を含む。

<考察>

今年度受診者数は、1, 149人、受診率は、昨年度から1.2%増加の80.5%であった。  
また未受診者へは、受診勧奨通知をする際、今後の健診受診予定や児の発育発達面、育児状況を把握するためのアンケートを同封し把握に努めることとした。その結果、今年度未受診者であった279人の内、79.9%に当たる223人把握することができ、引き続き、受診勧奨アンケートにより未受診者について全数把握できるよう努めていきたい。

## 9. 親子教室

### (1) たんぽぽグループ

| 根拠法令等                                      | 佐倉市独自                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに自信が持てない保護者の減少 47.3% → 減少</li> <li>・子どもをかわいいと思える保護者の増加 98.3% → 増加</li> <li>・育児についての相談相手のいない保護者の減少 3.5% → 減少</li> </ul> |

#### 《目的》

発達上何らかの問題や不安を抱えている児とその保護者に対し、集団かつ個別に対応することで児の発達を支援し、保護者の不安を軽減する。

#### 《内容》

- ①対象 母子保健事業において支援の必要があるとされた児とその保護者  
保護者と児のかかわりに支援が必要とされた場合  
2歳以上で他機関にて継続的に集団指導を受けていない児
- ②方法 毎月1回 健康管理センターにて実施
- ③実施内容 午前 9:00～10:30 自由遊び、一斉活動(体操,親子遊び,手遊び,絵本,おやつ)  
午前 10:30～11:00 個別面接  
午前 11:00～12:00 事後検討会
- ④参加期間 最長で1年までとし、年度途中でも随時申し込み可能
- ⑤担当職種 言語聴覚士、保健師、保育士(臼井保育園)

#### 《実績》

##### ① 5年間の参加状況

| 年度   | 実数(組) | 延数(組) |
|------|-------|-------|
| 18年度 | 17    | 70    |
| 19年度 | 20    | 99    |
| 20年度 | 19    | 96    |
| 21年度 | 14    | 43    |
| 22年度 | 20    | 107   |

##### ② 22年度地区別参加状況

| 地区  | 実数(組) |
|-----|-------|
| 佐倉  | 3     |
| 臼井  | 4     |
| 志津  | 7     |
| 根郷  | 5     |
| 和田  | 0     |
| 弥富  | 1     |
| 千代田 | 0     |
| 合計  | 20    |

#### 《考察》

平成21年度は、新型インフルエンザの流行により11月から2月まで実施を控えていたために、新規申し込みも中止していた影響で、実数および延数が減少した。22年度は実数、延数とも例年同様の参加者数となっている。

今後も、親子教室の中でいろいろな親子遊びを経験していただくことで、子どもが人や物への興味を広げ、ことばを覚えていく機会としたい。また、親も、親子教室で学んだ子どもとのかかわりかたを、家でも実践していけるように支援していきたい。

## (2) ひまわりグループ

| 根拠法令等                                      | 佐倉市独自                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに自信が持てない保護者の減少 47.3% → 減少</li> <li>・子どもをかわいいと思える保護者の増加 98.3% → 増加</li> <li>・育児についての相談相手のいない保護者の減少 3.5% → 減少</li> </ul> |

### 《目 的》

すでに集団生活をしており、発達上何らかの問題を抱える児に対し、社会生活をよりスムーズに送るためのスキルを身につけ、現在所属する集団生活や、就学後の学校生活への不適応や問題行動をできる限り予防する。

### 《内 容》

- ① 対 象 母子保健事業において支援の必要があるとされた児  
保育園、幼稚園などの集団生活に所属している児  
年長児で他機関にて継続的に専門的な集団指導を受けていない児
- ② 方 法 毎月1回 健康管理センターにて実施  
1グループ定員5人とし、最大で2グループを編成
- ③ 実施内容 ①午後 2:30～3:40 ②午後 4:00～5:00  
集団活動、保護者との連絡調整
- ④ 参加期間 就学前の1年間（ただし、定員に空きがある場合は年度途中からの参加も可能）
- ⑤ 担当職種 言語聴覚士

### 《実 績》

#### ① 3年間の実績

| 年度   | 実数(組) | 延数(組) |
|------|-------|-------|
| 20年度 | 8     | 77    |
| 21年度 | 5     | 41    |
| 22年度 | 7     | 63    |

(※) 20年度から新たに実施している  
グループであるため、19年度  
以前の実績はなし

#### ② 22年度地区別参加状況

| 地区  | 実数(組) |
|-----|-------|
| 佐倉  | 0     |
| 白井  | 1     |
| 志津  | 3     |
| 根郷  | 1     |
| 和田  | 0     |
| 弥富  | 2     |
| 千代田 | 0     |
| 合計  | 7     |

### 《考 察》

平成20年度から、年長児を対象に新たなグループ指導として実施した。平成21年度は対象者が少なく、また、新型インフルエンザの流行のため、一時中止していたことも影響し、延数が減少した。平成22年度は2グループで実施し、実数、延数が増加した。

前年度課題となっていた連絡帳による他機関との連携はまだ十分ではないことから、次年度も引き続き連携方法について検討していきたい。

## 10. 幼児歯科健診

| 根拠法令等                                      | 佐倉市独自                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・むし歯のない3歳児の増加 75.3% → 80%以上</li> <li>・フッ素入り歯磨き剤を使う人の増加 3歳児 66.5% → 90%以上</li> <li>・おやつを1日3回以上食べている幼児の減少 3歳児 10.8% → 減少</li> </ul> |

### 《目 的》

乳歯のむし歯は進行性が早く広範囲になりやすい傾向にあり、定期的な健診とともに予防が大切である。歯科健診と併せて、予防処置と保護者に対してむし歯予防教育を実施することにより、幼児の健全な口腔の育成を促す。また、1歳6か月児健診の事後相談として、ことば・育児相談を実施し、保護者の不安の軽減や幼児の発育・発達の把握に努めることにより、幼児の健康の保持増進を図る。

### 《内 容》

- ①対 象 2歳・2歳6か月・3歳
- ②実施回数 年60回 月5回（言語聴覚士によることばの相談は各会場月1回）  
健康管理センター、西部保健センター：月2回、南部保健センター：月1回
- ③周知方法 各該当月全員に幼児歯科健診のお知らせを送付  
「こうほう佐倉」、健康カレンダー、ホームページにて周知
- ④実施内容 健康教育 → 歯垢の染め出し（希望者）・ブラッシング → 歯科健診  
→ フッ素塗布（希望者） → ことばの相談（希望者）

### 《実 績》

#### ①年度別受診状況

| 年度   | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率(%) |
|------|---------|---------|--------|
| 18年度 | 4,199   | 2,648   | 63.1   |
| 19年度 | 3,917   | 2,699   | 68.9   |
| 20年度 | 3,919   | 2,704   | 69.0   |
| 21年度 | 4,097   | 2,768   | 67.6   |
| 22年度 | 4,100   | 2,811   | 68.6   |

#### ②会場別受診状況

| 実施会場     | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率(%) |
|----------|---------|---------|--------|
| 健康管理センター | 1,570   | 1,050   | 66.9   |
| 西部保健センター | 1,835   | 1,224   | 66.7   |
| 南部保健センター | 695     | 537     | 77.3   |

#### ③地区別受診状況

| 地区  | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率(%) |
|-----|---------|---------|--------|
| 佐倉  | 623     | 467     | 75.0   |
| 臼井  | 717     | 468     | 65.3   |
| 志津  | 1,835   | 1,210   | 65.9   |
| 根郷  | 653     | 474     | 72.6   |
| 和田  | 30      | 22      | 73.3   |
| 弥富  | 12      | 12      | 100.0  |
| 千代田 | 230     | 158     | 68.7   |

#### ④年齢別結果

|          | 対象者数<br>(人) | 受診者数<br>(人) | 受診率<br>(%) | 結果判定 ※ |       |       |     |     |       |       | フッ素塗布者<br>(フッ素塗布率) |
|----------|-------------|-------------|------------|--------|-------|-------|-----|-----|-------|-------|--------------------|
|          |             |             |            | O 1 型  | O 2 型 | O 3 型 | A 型 | B 型 | C 1 型 | C 2 型 |                    |
| 2 歳      | 1,294       | 977         | 75.5       | 5      | 933   | 14    | 17  | 5   | 2     | 1     | 910(93.1)          |
| 2 歳 6 か月 | 1,365       | 924         | 67.7       | 6      | 839   | 25    | 42  | 9   | 1     | 2     | 871(94.3)          |
| 3 歳      | 1,441       | 910         | 63.2       | 14     | 771   | 37    | 71  | 16  | 0     | 1     | 867(95.3)          |

※判定結果の分類は、1 歳 6 か月児健康診査の「歯科健康診査結果」参照

#### ⑤ことばの相談来所状況

| 対象       | 来所者数 (人) | 要支援者(人) | (*)電話相談実施数(人) |
|----------|----------|---------|---------------|
| 2 歳      | 75       | 22      | 1             |
| 2 歳 6 か月 | 61       | 12      | 1             |
| 3 歳      | 39       | 15      | 3             |

※ 電話相談実施数：幼児歯科健診時にことばの相談を希望したが、対象者の都合などにより歯科健診時には相談を実施できなかった者で、後日電話にて相談を実施した数

#### 《考 察》

むし歯のない3 歳児の割合は82.2%(3 歳 6 か月児健診結果)で、昨年度より1.9 ポイント増加した。おやつを1 日3 回以上食べている幼児は12.1%で、昨年度より1.8 ポイント増加した。

フッ素塗布率は昨年度より2.4 ポイント減少しているが、歯科医院でフッ素塗布をしている児が増加していること、児が嫌がっている場合には、フッ化物配合歯磨剤の使用を勧めていることが原因ではないかと考えられる。今後、さらにフッ化物配合歯磨剤の効果的な使い方についての啓発普及を図りたい。

## 11. すくすく発達相談

| 根拠法令等                                      | 佐倉市独自                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに自信が持てない保護者の減少 47.3% → 減少</li> <li>・子どもをかわいいと思える保護者の増加 98.3% → 増加</li> <li>・育児についての相談相手のいない保護者の減少 3.5% → 減少</li> </ul> |

### 《目 的》

乳幼児の成長及び発達に応じた適切な指導を保護者に行い、疾病等の異常を早期に発見することに努め、乳幼児の心身の発育及び発達を支援することである。

### 《内 容》

母子保健事業において、専門医による発達相談・指導が必要、または保護者から希望があった乳幼児をすくすく発達相談の対象とする。相談は、月1回(年12回)の頻度で行われ予約制である。相談会場は健康管理センターで行う。相談の体制及び内容は、保健師による問診・計測と、医師による診察・相談が行われる(ただし理学療法士・言語聴覚士による指導は、必要と判断される場合に行われる)。

### 《実 績》

#### ①来所状況(人)

| 年度   | 実数 | 延数 |
|------|----|----|
| 18年度 | 13 | 19 |
| 19年度 | 17 | 29 |
| 20年度 | 13 | 23 |
| 21年度 | 19 | 20 |
| 22年度 | 36 | 55 |

#### ②月別来所状況(人)

| 月  | 延数 |
|----|----|
| 4  | 4  |
| 5  | 5  |
| 6  | 5  |
| 7  | 6  |
| 8  | 5  |
| 9  | 8  |
| 10 | 4  |
| 11 | 5  |
| 12 | 4  |
| 1  | 3  |
| 2  | 3  |
| 3  | 3  |
| 合計 | 55 |

③地区別来所状況(人)

| 地区  | 実数 |
|-----|----|
| 佐倉  | 5  |
| 臼井  | 7  |
| 志津  | 12 |
| 根郷  | 7  |
| 和田  | 0  |
| 弥富  | 0  |
| 千代田 | 5  |
| 市全体 | 36 |

④年齢別来所状況(人)

| 年齢      | 実数 |
|---------|----|
| 0～5ヶ月   | 1  |
| 6ヶ月～1歳  | 9  |
| 1～2歳未満  | 8  |
| 2歳～3歳未満 | 6  |
| 3歳～4歳未満 | 6  |
| 4歳～5歳未満 | 1  |
| 5歳以上    | 5  |
| 計       | 36 |

⑤相談経路(人)

| 相談経路元事業  | 実数 |
|----------|----|
| 保健師紹介    | 3  |
| 電話相談     | 8  |
| ことばの相談室  | 10 |
| 乳児相談     | 3  |
| もぐもぐ教室   | 5  |
| 1歳6か月児健診 | 2  |
| 3歳児健診    | 1  |
| 他機関からの紹介 | 2  |
| 継続       | 2  |
| 計        | 36 |

⑥相談内容及び結果(人)

| 初回相談<br>内容 | 相談者数<br>(延) | 結 果 |    |        |      |
|------------|-------------|-----|----|--------|------|
|            |             | 継続  | 終了 | 医療機関紹介 | 療育紹介 |
| 運動発達       | 34          | 21  | 10 | 1      | 2    |
| 言語発達       | 15          | 5   | 6  | 2      | 2    |
| 身体発育       | 4           | 0   | 2  | 2      | 0    |
| 疾 患        | 0           | 0   | 0  | 0      | 0    |
| その他        | 2           | 1   | 1  | 0      | 0    |
| 計          | 55          | 27  | 19 | 5      | 4    |

## 《考 察》

利用者数は、前年の2.75倍に増加している。相談経路では、前年まではみられなかった、もぐもぐ教室（8カ月児対象）からの相談が5件で全体の14%となっている。もぐもぐ教室からの相談内容としては、「寝返りしない」「お座りしない」などの内容となっている。今後も必要な人が早期に相談を受けられるよう、すくすく発達相談事業の周知を図っていきたい。



## 12. ことばと発達の相談室

| 根拠法令等                                      | 佐倉市独自                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに自信が持てない保護者の減少 47.3% → 減少</li> <li>・子どもをかわいいと思える保護者の増加 98.3% → 増加</li> <li>・育児についての相談相手のいない保護者の減少 3.5% → 減少</li> </ul> |

### 《目 的》

乳幼児とその保護者に対し、「ことば」「きこえ」「発達」及び「気になる行動」等について個別に相談、又は検査を実施し、問題点を総合的に把握し、必要な指導を行い、言語面（コミュニケーション能力）の改善や不安の軽減を図ることを目的とする。

### 《内 容》

- ①対 象 言葉や聞こえ、行動面に関する何らかの問題・育児不安を抱えている就学前児およびその保護者
- ②方 法 月曜から金曜日までのほぼ毎日実施（予約制）  
健康管理センターにて面接指導を実施
- ③実施内容 発達検査、言語検査、聴力検査等を実施し、その結果により助言および個別言語指導を行う。また、医学的検査、療育的支援などを必要とする場合は他機関へ紹介する。  
面接時間は1人につき30分から1時間程度。
- ④周知方法 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、幼児歯科健診等や健康カレンダー、「こうほう佐倉」、ホームページ等
- ⑤担当職種 言語聴覚士（必要時、地区担当保健師、理学療法士、栄養士等）

### 《実 績》

① 年度別来所者数（人）

| 年度   | 実数  | 延数    | 新規申込者数 | 終了者数 |
|------|-----|-------|--------|------|
| 18年度 | 170 | 1,024 | 79     | 50   |
| 19年度 | 200 | 1,351 | 95     | 54   |
| 20年度 | 256 | 1,539 | 131    | 73   |
| 21年度 | 280 | 1,683 | 126    | 82   |
| 22年度 | 283 | 1,360 | 133    | 64   |

② 22年度地区別来所者数（人）

| 地区  | 実数  |
|-----|-----|
| 佐倉  | 31  |
| 臼井  | 54  |
| 志津  | 119 |
| 根郷  | 50  |
| 和田  | 4   |
| 弥富  | 4   |
| 千代田 | 21  |
| 合計  | 283 |

### 《考 察》

新規申込者が増加する一方で、終了者が減少しており、来所者数は年々増加傾向にある。増加理由としては、相談内容が、言葉だけではなく、集団生活を送る上での問題等、学校生活にも影響する問題を抱えているためと考えられる。そのため、対象児が毎日通園する幼稚園、保育園、学校などで児への理解、適切な援助につなげられるように、関係機関との連携が必要と考え、サポートファイルを活用して、一貫した指導につなげることが今後の目標である。

地区別の来所者数は、過去数年同様の結果となっている。

### 13. 保育園・幼稚園巡回相談

| 根拠法令等                                      | 佐倉市独自                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに自信が持てない保護者の減少 47.3% → 減少</li> <li>子どもをかわいいと思える保護者の増加 98.3% → 増加</li> <li>育児についての相談相手のいない保護者の減少 3.5% → 減少</li> </ul> |

#### 《目 的》

保育園・幼稚園に在園し、「ことば」「きこえ」「発達」及び「気になる行動」等に心配のある児について、保育園・幼稚園と連携を図ることにより、集団生活の中で児の成長、発達を支援し、問題の改善を図ることを目的とする。

#### 《内 容》

- ① 対 象 佐倉市内の巡回希望の保育園・幼稚園
- ② 方 法 年1回 各園に訪問(平成18年度より当事業開始)
- ③ 実施内容 保育場面を観察し、支援方法を担当職員と検討する。
- ④ 周知方法 母子事業において必要時、保護者へ口頭にて園との連絡の必要性を伝える。また園側の対応として事前に園内に巡回相談の実施について掲示をして周知する。
- ⑤ 担当職種 言語聴覚士、(必要時、地区担当保健師、子育て支援課職員 等)

#### 《実 績》

##### ① 年度別相談件数(人)

| 年度   | 実数 |
|------|----|
| 18年度 | 22 |
| 19年度 | 61 |
| 20年度 | 42 |
| 21年度 | 35 |
| 22年度 | 52 |

##### ② 年度別巡回園数(園)

| 年度   | 保育園 | 幼稚園 |
|------|-----|-----|
| 18年度 | 6   | 0   |
| 19年度 | 10  | 3   |
| 20年度 | 7   | 1   |
| 21年度 | 5   | 0   |
| 22年度 | 9   | 0   |

#### 《考 察》

平成22年度は、今まで連携がとれていない保育園と連携をとることができた。今後は、この連携の中で、発達支援の視点や、支援方法を共有していきたい。

保育園や幼稚園は、配慮された園生活を提供することで、二次的、三次的な問題が生ずることを予防できる場であると考え。今後も積極的に保育園・幼稚園との連携を図っていききたいが、継続支援が必要な場合が多いことから、より多くの園と連携を図るために、支援方法の検討が必要である。

## 14. 健康教育・健康相談

| 根拠法令等                                     | 母子保健法第9条、第10条                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）<br>→平成24年度（目標） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに自信が持てない保護者の減少 47.3% → 減少</li> <li>・育児についての相談相手のいない保護者の減少 3.5% → 減少</li> <li>・近所に育児について話し合える友人のいる保護者の増加 74.6% → 増加</li> </ul> |

### 《目 的》

保健センターでの母子の集いや各地区での集まり等で母子を対象に、育児や健康管理について正しい知識の普及を図り、子育て支援の一環とする。

### （1）妊娠期・乳児期育児支援事業

#### 《内 容》

- ①対 象 1歳未満の乳児とその親・妊婦
- ②実施内容 母子交流の場として各保健センターの一室を開放  
育児相談や健康教育を同時に実施する会場もある

#### 《実 績》

##### ①実施会場別来所状況（年度推移）（人）

| 実施会場                      | 平成20年度 |       | 平成21年度 |     | 平成22年度 |     |
|---------------------------|--------|-------|--------|-----|--------|-----|
|                           | 実      | 延     | 実      | 延   | 実      | 延   |
| 健康管理センター<br>「いちごルーム」      | 129    | 395   | 25     | 25  | 172    | 259 |
| 西部保健センター<br>「子育てについて話そう会」 | 90     | 197   | 80     | 153 | 84     | 174 |
| 南部児童センター<br>「ゆりかごタイム」     | 179    | 398   | 95     | 237 | 114    | 352 |
| 南部保健センター<br>「カンガルーの会」     | 26     | 37    | 30     | 56  | 48     | 131 |
| 合 計                       | 424    | 1,027 | 230    | 471 | 418    | 916 |

### （2）地区の集まりにおける健康教育

#### 《内 容》

##### ①実施場所

佐倉地区：佐倉老幼の館

臼井地区：臼井老幼の館、健康管理センター

志津地区：志津・北志津児童センター、西部保健センター、井野町会館、南志津保育園（園庭）

千代田地区：老人憩いの家千代田荘

#### 《実 績》

##### ①健康教育実績（人）

| 地区  | 実数  | 延数  |
|-----|-----|-----|
| 佐倉  | 88  | 88  |
| 臼井  | 47  | 47  |
| 志津  | 175 | 175 |
| 千代田 | 32  | 32  |
| 市全体 | 342 | 342 |

### （３）健康相談

乳児相談やもぐもぐ教室等の定例事業以外でも、必要に応じ面接相談を実施している。

#### 《実 績》

相談件数（延）

- ・乳児：502人
- ・幼児：129人
- ・その他（小学生・保護者）：22人

### （４）保育園・幼稚園における歯科健康教育

#### 《内 容》

- ①対 象 保育園・幼稚園児
- ②方 法 歯科健康教育の希望があった保育園16園、幼稚園8園において実施
- ③内 容 人形劇「歯医者さんに行こう！」・歯垢の染め出し・歯みがき

#### 《実 績》

①年度別実施状況 (人)

| 年度   | 保育園 | 幼稚園 | 合計    |
|------|-----|-----|-------|
| 18年度 | 702 | 708 | 1,410 |
| 19年度 | 698 | 557 | 1,255 |
| 20年度 | 724 | 799 | 1,523 |
| 21年度 | 629 | 652 | 1,281 |
| 22年度 | 915 | 821 | 1,736 |

＊平成18年度より希望がある私立幼稚園においても歯科健康教育を開始した。

#### 《考 察》

妊娠期・乳児期の母子を対象に、健康管理センター、西部・南部保健センターでは仲間づくりや健康管理についての普及啓発を目的として、月に1回程度集いを開催してきた。

しかし、近年市内には、児童センターや園庭開放など、他の遊び場を併用している人も多く、保健分野で掲げていた「仲間づくりの場を提供する」という目的はほぼ達成できていると思われる。

今後、保健分野が取り組んでいくべき対象者は、育児不安の強い母子や孤立しがちな母子等、子育てに困難感を感じている人たちを対象としていくべきかと考える。

次年度は、対象者の見直しを行い、母子の集いのあり方を検討していきたい。

### **III 思春期保健**

## 1. 思春期保健に関する取組み

| 根拠法令等                                     | 佐倉市独自                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）<br>→平成24年度（目標） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンナー・薬物使用を勧められたとき、断る自信のある中高校生の増加<br/>80.7% → 増加</li> <li>・シンナー・薬物使用の有害性について、知っている中・高校生<br/>89.5～ 98.2% → 100%</li> <li>・避妊法を正確に知っている高校生の増加<br/>男子 72.8% → 100% 女子 81.3% → 100%</li> <li>・性感染症を正確に知っている高校生の増加<br/>16.3～ 93.0% → 100%</li> <li>・性についてオープンに話せる家庭の増加 37.1% → 増加</li> <li>・子どもから性に関する悩みや相談を受けたときにきちんと応えられる保護者の増加<br/>幼児保護者38.6% → 増加 小学生保護者44.6% → 増加</li> </ul> |

### 《目 的》

思春期は大人と子どもの両方の面をもつ時期であり、思春期における問題は、本人の現在の問題にとどまらず生涯にわたる健康問題や、次世代への悪影響も及ぼしかねないものである。

正しい性に関する知識の普及とエイズ予防等の性感染症予防に努めると共に、10代の望まない妊娠の回避や人工妊娠中絶率の上昇を防ぐことにより青少年の健全育成を図るため、家庭、学校、地域等の連携による教育、啓発普及、相談等を通じて問題の理解と情報の提供をする。

### 《内 容》

思春期保健は、他機関と連携し、包括的事業として取り組んでいる。小中学校における思春期教育への協力、広報や地区回覧において啓発等を実施している。

### 《実 績》

#### （１）小中学校・高校・大学における思春期教育への協力

- ①対象 小中学生・高校生・大学生
- ②内容 学校での思春期教育の教材として、市マタニティクラスなどで利用している「沐浴人形」や「妊婦体験ジャケット」などの貸し出しを実施
- ③実績
  - 市内小学校：千代田小学校2回、白銀小学校1回 計3回
  - 市内中学校：佐倉中学校7回・西志津中学校5回・井野中学校6回 計18回
  - 市内高等学校：佐倉東高校1回
  - 敬愛短期大学：1回
  - 千葉県助産師会印旛支部：3回（佐倉東小学校・弥富小学校の教育に活用）

#### （２）広報掲載

「こうほう佐倉」に自己肯定感の大切さについて「お子さんに『ありがとう』を伝えてますか？」の記事を掲載した。保護者の世代に、子どもの「自己肯定感の大切さ」を周知する事ができた。

### （３）地区回覧の活用

薬物乱用防止のリーフレットを地区回覧し、啓発を図った。

### 《考 察》

思春期の啓発は、思春期の時期だけのものでなく、幼児期からの育児全般にかかわることでもあり、母子事業全体の中で思春期を見据えた支援をする必要がある。

また、学校保健との連携は思春期保健に取り組む上で、重要である。次年度は、養護教諭との連携を図るために、研修会への参加や具体的な学校での取り組みについての把握に努めていきたいと思う。

## **IV 感染症予防**



# 1. 感染症予防及び防疫

## 根拠法令等

## 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）

### 《目 的》

近年、新たな感染症の出現や既存感染症の再興などが見られ、予防対策の充実が求められている。感染力の高い新型感染症については、市民の健康を脅かす1つの要因となっており、市民を感染症から守り、健康的に暮らせるよう、未然防止に努めるとともに、発生に対しては迅速で的確な対策を講じることが必要となる。そのためには、各年代にあった定期的・計画的な予防接種を行い効果的な予防接種事業の推進に努めるなど、感染症の発生予防やまん延防止を進めながら、公衆衛生の向上を図るための予防接種の重要性や知識、予防対策を広く市民に広報・啓発を行い、感染症流行時に迅速に対応できる体制づくりを進めることを目的とする。

### ①感染症予防の普及啓発概要

#### 個別通知

##### ○定例 25 回

- ・「出生者・7歳半までの転入者・日本脳炎2期対象者・2種混合2期対象者」への予診票、案内文の送付（毎月）
- ・3歳児幼児歯科健診のお知らせ封筒に日本脳炎の案内文を同封（毎月）
- ・高齢者インフルエンザの予診票、案内文の送付（9月末）

##### ○未接種勧奨 30 回

- ・5か月齢のBCG未接種者へ勧奨はがき送付（毎月）
- ・日本脳炎の勧奨はがき送付（4月）
- ・2種混合未接種者へ勧奨はがき送付（8月）
- ・MR3・4期末接種者へ勧奨はがき送付（7月）、4期末接種者へ勧奨はがき送付（11月）、2・3期末接種者へ勧奨はがき送付（1月）、未接種者全員に電話（3月）
- ・1歳6か月健診や3歳児健診の保健師相談で未接種者へ勧奨（毎月）

#### 広報紙・ホームページ

- ・こうほう佐倉：4回（MR、日本脳炎についてお知らせ）
- ・ホームページ：全体リニューアル1回、記事5回（MR、百日咳、日本脳炎についてお知らせ）

#### その他

- ・中学校の養護教諭説明会でのMR3期接種勧奨のリーフレットの配布
- ・就学時健診における予防接種説明  
平成22年10月13日から11月18日の間のうち、15日間、23小学校、1421名に対し実施。
- ・感染症発生状況の確認：平成23年3月11日の東日本大震災により市内避難所が開設されたため、3月11日から3月12日にかけて、感染症予防のため消毒用アルコールの設置、感染症の発生状況の確認を行った。（避難所：12か所）

### ②その他

#### （1）感染症を取り巻く状況の変化について

伝染病予防法施行以来100年が経過し、国民生活や公衆衛生水準の向上、国民の健康、衛生意

識の向上、医療進歩と医療技術の向上により、幾多の感染症が不治の疾病ではなくなった。一方、国際交流の活発化により人と物の移動が病原体の国外からの進入を容易にし、感染症対策が国内対策だけでは不十分となった。また「人権の尊重」が社会的要請となり、感染症対策における患者の人権の尊重が大きな課題となってきた。このような状況を受けて従来の伝染病予防法が見直され、平成 11 年 4 月 1 日「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」が施行された。

## （２）「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の要点

### ア 「伝染病予防法」「性病予防法」「後天性免疫不全症候群の予防に関する法律」の廃止

感染症の患者などの人権を尊重し、患者に対する良質で適切な医療の提供と感染症に対する迅速かつ適切な対応をとるため、従来の伝染病予防法等を廃止し新たに感染症法が公布された。この法律は感染症全てを包括し得るもので、個別の感染症毎に対策の理念が異なるものではない。

### イ 感染症の類型化

感染症は危険性が千差万別であり、危険性の程度によって対策が技術的に異なることはやむを得ないことであることを考慮し、危険性の程度により感染症を分類した。平成 15 年 11 月には感染症法改正により感染症類型が変わり、一類～四類だったものが一類～五類までの 5 分類になった。

※平成 20 年 5 月 12 日に感染症法の改正があり、感染症の類型に「新型インフルエンザ等感染症」を追加、指定感染症の「H5N1 型鳥インフルエンザ」が二類感染症に指定され、四類感染症である「鳥インフルエンザ」から「H5N1 型鳥インフルエンザ」が除かれ、五類感染症である「インフルエンザ」から「鳥インフルエンザ」と「新型インフルエンザ等感染症」が除かれた。

### ウ 医療体制の整備

新法では、感染症の類型に応じた対応ができる医療機関の整備が規定されている。

### エ 入院手続き

新法では患者の人権尊重の精神を反映し、入院についての手続きが細かく規定されている。

#### <1 類感染症と 2 類感染症>

- ①患者の意思に基づいて入院を促す入院勧告
- ②都道府県知事の命令による 72 時間を限度とする入院命令
- ③保健所に設置される「感染症の診断に関する協議会」の意見を聴いた上での最大限 10 日毎の入院継続
- ④入院について患者の意思の尊重と入院の必要性の客観的判断
- ⑤入院が 30 日を超える患者の行政不服審査請求とその 5 日以内の裁決

## 1-1 新型インフルエンザ（A／H1N1）対策

### 《内 容》

新型インフルエンザ(A/H1N1)は、21世紀に入ってから初めてのインフルエンザ・パンデミック（世界的大流行）である。平成21年度から引き続き、新型インフルエンザ対策として、市民や医療機関等への情報の提供や、新型インフルエンザワクチン接種費助成等の感染症発生予防対策を行った。

#### ① 広報

広報さくら掲載3回、ホームページ掲載3回 合計6回

#### ② 学校等の閉鎖措置

市立の幼稚園・小中学校における学級閉鎖44件、学年閉鎖8件、学校閉鎖1件

#### ③ ワクチン接種

市内医療機関における接種実績

（新型インフルエンザ受託医療機関から提出された「接種者報告書」まとめ）

平成22年10月以降の市内医療機関の新型インフルエンザワクチンの総接種数は62,253回である。

（接種の内訳）

| 接種者         | 接種期間 | 10月    | 11月    | 12月    | 1～3月  |
|-------------|------|--------|--------|--------|-------|
| 妊婦          |      | 52     | 95     | 41     | 27    |
| 15歳未満の者     |      | 4,322  | 7,963  | 4,559  | 645   |
| 15歳～65歳未満の者 |      | 5,510  | 11,205 | 4,556  | 906   |
| 65歳以上の者     |      | 7,250  | 11,543 | 3,184  | 395   |
| 小計          |      | 17,134 | 30,806 | 12,340 | 1,973 |
| 合計          |      | 62,253 |        |        |       |

#### ④ 新型インフルエンザワクチン接種費の助成

平成21年10月19日に施行、平成22年4月1日に改正された「佐倉市新型インフルエンザワクチン接種費負担金相当額の給付に関する要綱」及び平成22年10月1日に施行された「佐倉市新型インフルエンザワクチン接種費の助成等に関する要綱」に基づき、新型インフルエンザワクチン接種時に生活保護世帯又は市民税非課税世帯に属する者へワクチン接種費用の全額助成を実施した。

助成対象者は1回接種が950人、2回接種が189人の合計1,139人であり、助成費用の合計金額は4,109,890円であった。

## 《考 察》

平成 22 年度は、平成 21 年度から引き続き、市民や医療機関等への情報の提供や、生活保護世帯、市民税非課税世帯への新型インフルエンザワクチン接種費助成等の新型インフルエンザ対策を実施した。

10 月には、通常の季節性インフルエンザ(A/H3N2 と B 型)と、新型インフルエンザ(A/H1N1)の 3 つに効果がある 3 価ワクチンの接種を開始した。10 月以降は、接種希望者が、新型インフルエンザのみに効果がある国産のワクチン(1 価)、海外からの輸入ワクチン(1 価)又は 3 価ワクチンのどれかを選択できる方法で予防接種を実施した。当市では 10 月以降、3 価ワクチン以外のワクチンは接種されていない。

新型インフルエンザ(A/H1N1)は平成 23 年 3 月 31 日をもって、季節性インフルエンザワクチンに組み込まれたため、平成 23 年度は通常の季節性インフルエンザとして接種を実施していく予定である。

現在、国では、新型インフルエンザ(A/H1N1)と同程度の弱毒性の新型インフルエンザに対応する健康被害救済等の規定を設けるため、「予防接種法及び新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済等に関する特別措置法」の一部改正に着手している。今後、当市においても、改正の内容を踏まえ、地域の実情に応じた行動計画等の見直しを行う必要がある。

## 2. 予防接種

| 根拠法令等                                      | 予防接種法第3条                                                                                                            |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | BCGを1歳までに受ける人の増加 *100.9%→100%<br>*厚生労働省が用いている算出方法により接種率は100%を超えることがある。                                              |
|                                            | 麻しん予防接種を受ける人の増加<br>1期 93.7%→100%                      2期 84.1%→100%<br>3期 未実施→100%                      4期 未実施→100% |

### 《目 的》

予防接種は、感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とする。

#### ・定期予防接種

一類疾病：その発生及びまん延を予防することを目的として予防接種を行う疾病。

ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎

二類疾病：個人の発病又はその重症化を防止し、併せてこれによりそのまん延の予防を目的として予防接種を行う疾病。

インフルエンザ

#### ・予防接種健康被害救済制度

予防接種健康被害救済制度は、予防接種が感染症に対する社会防衛上の重要な予防的措置であるが、関係者がいかに注意を払っても極めて希ではあるが不可避免的に健康被害が起こり得るという医学上の特殊性があることに鑑み、これにより健康被害を受けた者に対する特別な配慮が必要であることから設けられた。

#### ① 健康被害救済制度の内容

ア. 医療費及び医療手当（通常起こり得る程度の軽度の副反応については該当しない。入院を要するような症状であれば該当すると考えられる。）

イ. 障害児養育年金、必要な場合は介護手当

ウ. 障害年金、必要な場合は介護手当

エ. 死亡一時金

オ. 葬祭料

※ 認定は厚生労働大臣がその諮問機関である疾病障害認定審査会の意見を聴いて行う。

#### ② 健康被害発生時の対応

予防接種後、局所の異常や体調の変化があった場合に医師の診察を受けた場合には、患者（保護者）からだけでなく、診断した医師からも市町村へ報告する。市町村からは地域医師会と保健所（知事）へ報告する。

予防接種後副反応報告基準は、「予防接種ガイドライン」に示されており、「予防接種後副反応報告書」「インフルエンザ予防接種後副反応報告書」により報告することとなっている。

## 《各予防接種の状況と課題》

### ① BCG

結核高度まん延状態であった時代から結核が激減し、ツベルクリン反応検査による結核感染者の発見率が低下したことを背景に、2003年4月から小学校1年生・中学校1年生に対するツベルクリン反応検査及びBCG接種は廃止され、定期のBCG接種は4歳未満の1回となった。

その後、重症結核予防のため乳児期早期に接種するよう方針転換され、2004年6月23日に結核予防法の一部改正等がなされBCG予防接種は、生後6月未満に行われることになり、接種方法もツベルクリン反応検査をせずにBCG直接接種に変更された。

さらに2007年4月には結核予防法が廃止され、BCGの定期予防接種は予防接種法の下で行われることとなった。

結核は結核菌の飛沫感染によって感染し、わが国では今でも毎年2万人を超える人が発病しており、WHO分類の結核中まん延国である。

### ② ポリオ

日本では、戦後まもなくからポリオの流行があったが、1960年(昭和35年)に患者が急増したことを受けて1961年に経口生ポリオワクチンが導入され、患者数は急速に激減し、1970年代から一桁となった。日本では、1994年(平成6年)以降ポリオの野生株ウイルスは根絶されているが、世界でポリオが根絶されるまでは、予防接種の継続は不可欠である。

日本と同じように野生のポリオウイルスによるポリオの発症がない世界の国々では、経口生ワクチンによるポリオの発症を防ぐために、1990年代後半から経口生ワクチンを不活化ワクチンに切り替えてきた。日本でも不活化ワクチン導入の方向性が議論されているが、具体的な接種方法等については現在検討されているところであり、導入時期については確定していないため、医療機関によっては独自に輸入し、接種を行っているところもある。2010年12月15日に「ポリオの会」が署名を集め「不活化ポリオワクチン要望書」を岡本充功厚労政務官に提出している。メディアでも多く取り上げられるようになっており、今後、国・県からの情報提供に注目していく必要がある。

### ③ 麻しん・風しん

麻しんは感染力が極めて強く、罹患すると、時に脳炎、肺炎、中耳炎等を合併し命を脅かすことがある。

麻しんは、ワクチン接種により93～97%予防でき、その有効性は高いとされているが、被接種の数は1回の接種では免疫を獲得できない場合がある。また、1回の接種で免疫を獲得した者でも、予防接種の効果は接種後の時間経過とともに低下するために、自然感染とは異なり接種数年後に免疫は低下するといわれている。幼児の間で高い接種率が達成されても、免疫のない者又は免疫の低下した者の数が年々蓄積され、数年おきに定期的な流行がおこることが確認されている。

風しんは乳幼児が罹患しても通常は軽症であるが、妊娠初期の女性が感染すると胎盤を通じて胎児に感染し、胎児に先天性の障害が生じる(先天性風しん症候群)。この先天性風しん症候群の発生を予防することが重要である。先天性風しん症候群は感染症法に基づく届出疾患となっており、平成16年に10件の報告があったが、実際には報告例を上回るのではないかと推定される。

このため、接種率の向上及び抗体価の維持のため、平成 18 年 4 月から麻しん風しん混合（MR）ワクチンによる 2 回接種が導入され、接種を受ける方の利便性や経済的、肉体的負担の軽減及び病気に対する抵抗力（免疫）を長期間持続させることを目的に、麻しん風しん混合（MR）ワクチンの 2 回接種が基本となった。WHO による麻しん排除（elimination）計画に合わせ、我が国も「麻しんに関する特定感染症予防指針」（平成 19 年厚生労働省告示第 442 号）を出した。

また、これまでに 1 回しか接種を受けていない年長層にも 2 回目接種を行うために、平成 20 年 4 月から中学 1 年生と高校 3 年生相当年齢の者に第 3 期、第 4 期の定期接種を 5 年行うこととした。

#### ④ 三種混合・二種混合

##### ジフテリア

ジフテリア予防接種は、三種混合ワクチンとして 1981 年(昭和 56 年)に導入され、その後日本のジフテリア患者の発生及び死亡者数は急速に減少し、現在では年間 1~2 人程度である。これには生活環境の改善や抗生物質の影響もあるが、予防接種の効果が第一にあげられる。

しかし、ジフテリアは感染しても 10%程度の人に症状が出るだけで、残りの人は症状が出ずに保菌者となり感染源となることがある。また、1994 年(平成 6 年)のロシア等の流行を考えると、海外から持ち込まれる危険性もあることから、今後もなお一定レベルの免疫の維持が必要である。

##### 百日せき

1956 年(昭和 31 年)から百日せきの予防接種がはじまって以来患者数は減っていたものの、近年大人の百日せきが増加傾向にあり、乳幼児への感染源となる危険性がある。乳幼児が罹患すると重篤となり肺炎や脳症を併発することもあるため、乳幼児期に免疫を付与することが重要である。

##### 破傷風

1968 年(昭和 43 年)から一般に広く乳幼児期に予防接種が行われるようになった。破傷風は致命率の高い疾患であり、日本中どこでも土中に菌がいるので、常に感染する機会がある。破傷風は不顕性感染によって免疫を得ることはなく、免疫を得るためには予防接種以外に方法はないため広く接種することが望まれる。

#### ⑤ 日本脳炎

戦前戦後を通じて日本脳炎の患者発生数は多く、致死率が著しく高いことからその対策が行われ、昭和 29 年以来予防接種が実施されてきた。

近年の日本脳炎患者発生数は年間 10 人以下で、地域別にみると中部以西で発生しており、千葉県では 1990 年に 1 例の報告以来、患者報告はない。しかし、近年殺虫剤に抵抗性をもった日本脳炎の媒介蚊(コガタアカイエカ)の出現や患者発生のない地域にもウイルスを保有するブタが確認されているなど、依然として全国各地で患者発生の可能性は否定できない。また、東南アジア等でも流行がみられており、予防接種により免疫を保持しておく必要がある。なお、日本脳炎ウイルスは人から人に感染することはないので、予防接種は個人防衛が目的となる。

平成 17 年 5 月 30 日付けで厚生労働省から日本脳炎ワクチンの接種と急性散在性脳脊髄炎（ADEM）との因果関係を否定できないとの判断から日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控えについて勧告があった。

平成 22 年 4 月に、1 期初回（3 歳）に相当するものに対して積極的な勧奨を再開し、平成 22 年 8 月には、2 期対象者（9 歳～13 歳未満）の接種再開、1 期未接種分を 2 期の年齢で受けられるようになった。差し控えの影響を受けた者に対する経過措置等について、今後も動きがあることが予想される。

#### ⑥ インフルエンザ

平成 13 年 11 月に予防接種法が改正され、高齢者インフルエンザが定期予防接種に追加された。これは、インフルエンザによる高齢者の肺炎併発や死亡が社会問題化していることや、わが国でも高齢者に対するインフルエンザワクチンの有効性が確認されたことによる。

また、予防接種の対象疾病が類型化され、インフルエンザは個人予防の積み重ねが社会全体の疾病予防につながる二類疾病として位置付けられた。二類疾病は個人予防が目的のため、予防接種を受ける義務は課せられておらず、対象者本人が接種を希望する場合にのみ接種を行うことができる。

#### 《接種率の算定基準》

対象者数について、平成 15 年度までは地域保健・老人保健事業報告の算定基準を用いているが、平成 17 年度より厚生労働省の算定基準を用いているため、接種率が 100%を超えることがある。



## (1) BCG予防接種

### 《目 的》

乳幼児における結核性髄膜炎や粟粒結核などの予防を目的とする。また、併せて結核のまん延を予防することを目的とする。

### 《内 容》

#### ①対象及び実施方法

| 対 象       | 実 施 方 法                      |
|-----------|------------------------------|
| 生後 6 か月未満 | 乾燥 B C G ワクチンを 1 滴滴下し管針で経皮接種 |

＊佐倉市では、佐倉市予防接種委員会での検討結果を踏まえ、免疫不全症が比較的明らかとなる 3 か月からを原則の接種期間としている。

＊平成 22 年 6 月 1 日から、生後 6 か月に達するまでの期間に医学的に接種が不適當であると判断された場合でなくても、公費負担申請書に記入をし、1 歳に達するまでの期間に BCG 接種を行う場合は公費負担による予防接種として取り扱うこととした。

#### ②実施時期及び実施場所

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日

市内 34 医療機関・千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度協力医療機関に委託

(実施日時については、各医療機関が定める)

#### ③周知方法

出生届出又は転入届出後、予防接種手帳及び予防接種年間計画書を個別に送付。

健康カレンダー・「こうほう佐倉」・ホームページに委託医療機関を掲載。母子事業で周知勧奨。

毎月、ハガキによる未接種者への接種勧奨を開始。

### 《実 績》

平成 22 年度実施結果

| 区分  | 3 か月～6 か月未満 |                |        | 6 か月～1 歳未満     | 合 計            |        |
|-----|-------------|----------------|--------|----------------|----------------|--------|
| BCG | 対象者数<br>(人) | BCG実施者数<br>(人) | 接種率    | BCG実施者数<br>(人) | BCG実施者数<br>(人) | 接種率    |
|     | 1,160       | 1,171          | 100.9% | 16             | 1,187          | 102.3% |

年度別実施状況

| 年度   | 区分 | B C G   |        |
|------|----|---------|--------|
|      |    | 実施者数(人) | 接種率(%) |
| 18年度 |    | 1,183   | 101.9  |
| 19年度 |    | 1,249   | 101.4  |
| 20年度 |    | 1,207   | 96.3   |
| 21年度 |    | 1,219   | 108.7  |
| 22年度 |    | 1,187   | 102.3  |

BCG接種は、乳幼児期の重症結核を防ぐのに有効であるとされている。現在、結核は治療可能な疾患であるが、乳幼児がかかると重症化しやすいため乳幼児期の早期にBCG接種を受けることが求められる。

#### 〔コッホ現象〕

結核既感染者にBCG接種をした場合に、接種後1～10日以内に接種局所に発赤・腫脹・さらには針痕部位に化膿が生じることをコッホ現象という。(通常BCG接種後10日頃から個々の針痕部位に小さな発赤や膨隆が生じ、1か月頃最も強くやがて個々の針痕部位には痂皮が生じ、3か月頃までには落屑して小さな癬痕を残すのみとなる。)

結核既感染者にBCG接種をしたことで、結核の発病を促進したり、病状を増悪することはない。コッホ現象と思われる反応がみられた場合は、接種を受けた医療機関に受診し、医療機関がコッホ現象と判断した場合は、「コッホ現象事例報告書」を提出し、結核菌の自然感染を受けている可能性があるため、精密検査を受けるように説明する。

#### 《考 察》

BCG予防接種は、対象年齢が3か月から6か月未満と短いことから、接種率低下を防ぐための勧奨が必要と考えられる。今年度は未接種の5か月児にハガキによる接種勧奨を実施した。今後も継続して実施していきたい。

## (2) ポリオ

### 《目 的》

急性灰白髄炎（ポリオ）の発生及びまん延を予防することを目的とする。

### 《内 容》

#### ①対象及び実施方法

| 対 象             | 実 施 方 法                                                          |
|-----------------|------------------------------------------------------------------|
| 生後 3 か月～90 か月未満 | 経口生ポリオワクチン（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ型混合）6 週間以上の間隔をおいて 2 回投与する。（小ピペットにて 0.05ml を経口投与） |

#### ②実施場所及び実施回数 年間 30 回

| 実 施 会 場  | 実 施 回 数 | 実 施 会 場      | 実 施 回 数 |
|----------|---------|--------------|---------|
| 健康管理センター | 11 回    | 南部保健センター     | 8 回     |
| 西部保健センター | 9 回     | 志津コミュニティセンター | 2 回     |

#### ③周知方法

出生届出又は転入届出後、予防接種手帳及び予防接種年間計画書を個別に送付。

健康カレンダー・「こうほう佐倉」・ホームページに日時及び会場を掲載。

### 《実 績》

#### 平成 22 年度実施結果

| 回数   | 対象者数(人) | 実施者数(人) | 接種率(%) |
|------|---------|---------|--------|
| 1 回目 | 1,217   | 1,155   | 94.9   |
| 2 回目 | 1,217   | 1,168   | 96.0   |
| 合 計  | 2,434   | 2,323   | 95.4   |

#### 平成 22 年度会場別実施者数

| 実施会場         | 実施者数(人) |
|--------------|---------|
| 健康管理センター     | 970     |
| 西部保健センター     | 803     |
| 南部保健センター     | 427     |
| 志津コミュニティセンター | 123     |
| 合 計          | 2,323   |

#### 年度別接種率の推移

| 年 度   | 実施者数(人) | 接種率 (%) |
|-------|---------|---------|
| 18 年度 | 2,314   | 97.3    |
| 19 年度 | 2,398   | 96.6    |
| 20 年度 | 2,580   | 100.0   |
| 21 年度 | 2,272   | 90.6    |
| 22 年度 | 2,323   | 95.4    |

### 《考 察》

予防接種率については、今後も維持向上に努めたい。また、投与されたワクチンウイルスは数週間にわたって糞便中に排泄され、二次感染の危険性があるため、同居者の手洗いの励行について、今後も周知を継続したい。

### (3) 麻しん（はしか）・風しん

#### 《目 的》

麻しん、風しんの発生及びまん延を予防することを目的とする。

#### 《内 容》

##### ①対象及び実施方法

| 対 象   |                        | 実 施 方 法                                                                                                                                                                                     |
|-------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 期 | 生後 12 か月～24 か月未満       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻しん風しん混合ワクチン(MR)<br/>0.5m l を 1 回皮下注射</li> <li>＜単抗原ワクチン希望の方＞</li> <li>・麻しん単抗原ワクチン 0.5m l を 1 回皮下注射</li> <li>・風しん単抗原ワクチン 0.5m l を 1 回皮下注射</li> </ul> |
| 第 2 期 | 5 歳～7 歳未満で小学校就学前の 1 年間 |                                                                                                                                                                                             |
| 第 3 期 | 13 歳～14 歳未満（中学 1 年生相当） |                                                                                                                                                                                             |
| 第 4 期 | 18 歳～19 歳未満（高校 3 年生相当） |                                                                                                                                                                                             |

##### ②実施時期及び実施場所

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日

市内 51 医療機関・千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度協力医療機関に委託

（実施日時については、各医療機関が定める）

##### ③周知方法

出生届出又は転入届出後、予防接種手帳及び予防接種年間計画書を個別に送付。

健康カレンダー・「こうほう佐倉」・ホームページに委託医療機関を掲載。

ポリオ予防接種、4 か月児乳児相談、1 歳 6 か月児健診、個別通知等で未接種者に勧奨した。

※平成 20 年 4 月に予防接種法が改正され、中学 1 年生及び高校 3 年生相当の学年の者に、5 年間に限り第 3 期・第 4 期としての麻しん風しん混合予防接種が実施されるようになった。また、この改正に伴い麻しん又は風しんに罹患した場合でも麻しん風しん混合予防接種を実施できるようになった。

# 《実 績》

平成 22 年度麻しん風しん実施結果

| 種別     | 期別    | 対象者数（人） | 接種者数（人） | 接種率（％） |
|--------|-------|---------|---------|--------|
| 麻しん風しん | 第 1 期 | 1,301   | 1,265   | 97.2   |
|        | 第 2 期 | 1,510   | 1,390   | 92.1   |
|        | 第 3 期 | 1,602   | 1,423   | 88.8   |
|        | 第 4 期 | 1,688   | 1,327   | 78.6   |
|        | 合計    | 6,101   | 5,405   | 88.6   |
| 麻しん    | 第 1 期 | 1,301   | 0       | —      |
|        | 第 2 期 | 1,510   | 0       | —      |
|        | 第 3 期 | 1,602   | 0       | —      |
|        | 第 4 期 | 1,688   | 1       | —      |
|        | 合計    | 6,101   | 1       | —      |
| 風しん    | 第 1 期 | 1,301   | 0       | —      |
|        | 第 2 期 | 1,510   | 0       | —      |
|        | 第 3 期 | 1,602   | 2       | —      |
|        | 第 4 期 | 1,688   | 8       | —      |
|        | 合計    | 6,101   | 10      | —      |
| 麻しん合計  | 第 1 期 | 1,301   | 1,265   | 97.2   |
|        | 第 2 期 | 1,510   | 1,390   | 92.1   |
|        | 第 3 期 | 1,602   | 1,423   | 88.8   |
|        | 第 4 期 | 1,688   | 1,328   | 78.6   |
|        | 合計    | 6,101   | 5,406   | 88.6   |
| 風しん合計  | 第 1 期 | 1,301   | 1,265   | 97.2   |
|        | 第 2 期 | 1,510   | 1,390   | 92.1   |
|        | 第 3 期 | 1,602   | 1,425   | 89.0   |
|        | 第 4 期 | 1,688   | 1,335   | 79.1   |
|        | 合計    | 6,101   | 5,415   | 88.8   |

年度別麻しん接種率の推移（麻しん風しん実施者＋麻しん実施者）

| 年度    | 期別    | 実施者数（人） | 接種率（％） |
|-------|-------|---------|--------|
| 18 年度 | 第 1 期 | 1,153   | 93.7   |
|       | 第 2 期 | 1,273   | 84.1   |
| 19 年度 | 第 1 期 | 1,258   | 100.2  |
|       | 第 2 期 | 1,354   | 93.3   |
| 20 年度 | 第 1 期 | 1,266   | 94.3   |
|       | 第 2 期 | 1,380   | 93.8   |
|       | 第 3 期 | 1,286   | 80.5   |
|       | 第 4 期 | 1,312   | 76.1   |
| 21 年度 | 第 1 期 | 1,179   | 89.5   |
|       | 第 2 期 | 1,371   | 93.5   |
|       | 第 3 期 | 1,411   | 90.3   |
|       | 第 4 期 | 1,262   | 72.0   |
| 22 年度 | 第 1 期 | 1,265   | 97.2   |
|       | 第 2 期 | 1,390   | 92.1   |
|       | 第 3 期 | 1,423   | 88.8   |
|       | 第 4 期 | 1,328   | 78.6   |

年度別風しん接種率の推移（麻しん風しん実施者＋風しん実施者）

| 年度    | 期別    | 実施者数（人） | 接種率（％） |
|-------|-------|---------|--------|
| 18 年度 | 第 1 期 | 1,238   | 100.6  |
|       | 第 2 期 | 1,283   | 84.8   |
| 19 年度 | 第 1 期 | 1,261   | 100.5  |
|       | 第 2 期 | 1,363   | 93.9   |
| 20 年度 | 第 1 期 | 1,267   | 94.3   |
|       | 第 2 期 | 1,381   | 93.9   |
|       | 第 3 期 | 1,288   | 80.7   |
|       | 第 4 期 | 1,310   | 75.9   |
| 21 年度 | 第 1 期 | 1,179   | 89.5   |
|       | 第 2 期 | 1,372   | 93.5   |
|       | 第 3 期 | 1,411   | 90.3   |
|       | 第 4 期 | 1,269   | 72.4   |
| 22 年度 | 第 1 期 | 1,265   | 97.2   |
|       | 第 2 期 | 1,390   | 92.1   |
|       | 第 3 期 | 1,425   | 89.0   |
|       | 第 4 期 | 1,335   | 79.1   |

《考 察》

平成 20 年度からこれまでに 1 回しか接種を受けていない年齢層にも 2 回目の接種を行うために、中学 1 年生と高校 3 年生相当年齢の者に第 3 期、第 4 期の定期接種を開始した。（平成 24 年度までの 5 年間）

実施期間に先駆けて予診票を個別郵送し周知に努め、期間中は未接種者に対してはがきや電話連絡等による勧奨を実施した。今後も 2 回接種の重要性についての周知に努め、接種率向上を目指していきたい。

## (4) 三種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風）DPT 二種混合（ジフテリア、破傷風）DT

### 三種混合DPT（二種混合DT）第1期

#### 《目 的》

ジフテリア、百日せき、破傷風の発生及びまん延を予防することを目的とする。

#### 《内 容》

##### ①対象及び実施方法

| 種 別  | 対 象         |                                             | 実 施 方 法                                                         |
|------|-------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 三種混合 | 第1期<br>(初回) | 生後3か月～90か月未満                                | 沈降精製百日せき・ジフテリア・破傷風混合ワクチンを3～8週の間隔で0.5mlを3回皮下注射                   |
|      | 第1期<br>(追加) | 初回終了後12～18か月後<br>(標準的な接種期間)<br>生後3か月～90か月未満 | 沈降精製百日せき・ジフテリア・破傷風混合ワクチンを第1期初回完了後12～18か月の間に0.5mlを1回皮下注射         |
| 二種混合 | 第1期<br>(初回) | 生後3か月～90か月未満                                | 百日せき既往者は沈降精製ジフテリア・破傷風混合トキソイドワクチンを0.5mlずつ2回皮下注射                  |
|      | 第1期<br>(追加) | 初回終了後12～18か月後<br>(標準的な接種期間)<br>生後3か月～90か月未満 | 百日せき既往者は沈降精製ジフテリア・破傷風混合トキソイドワクチンを第1期初回完了後12～18か月の間に0.5mlを1回皮下注射 |

※平成22年6月1日から、第1期初回の3～8週の間隔を過ぎてしまった場合であっても、公費負担申請書に記入をし、定期的対象年齢内で接種を行う場合は、公費負担による予防接種として取り扱うこととした。

##### ②実施時期及び実施場所

平成22年4月1日から平成23年3月31日

市内52医療機関・千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度協力医療機関に委託  
(実施日時については、各医療機関が定める)

##### ③周知方法

出生届出又は転入届出後、予防接種手帳及び予防接種年間計画書を個別に送付。

健康カレンダー・「こうほう佐倉」・ホームページに委託医療機関を掲載。

## 《実 績》

平成 22 年度実施結果

| 種別   | 回数    |     | 対象者数（人） | 実施者数（人） | 接種率（％） |
|------|-------|-----|---------|---------|--------|
| 三種混合 | 第 1 期 | 1 回 | 1,195   | 1,217   | 101.8  |
|      |       | 2 回 | 1,195   | 1,242   | 103.9  |
|      |       | 3 回 | 1,195   | 1,293   | 108.2  |
|      |       | 追加  | 1,195   | 1,358   | 113.6  |
|      | 合計    |     | 4,780   | 5,110   | 106.9  |
| 二種混合 | 1 回   |     | 1,195   | 0       | —      |
|      | 2 回   |     | 1,195   | 0       | —      |
|      | 3 回   |     | 1,195   | 0       | —      |
|      | 追加    |     | 1,195   | 0       | —      |
|      | 合計    |     | 4,780   | 0       | —      |

年度別接種率の推移（三種混合 1 期合計）

| 年度    | 実施者数（人） | 接種率（％） |
|-------|---------|--------|
| 18 年度 | 4,867   | 103.2  |
| 19 年度 | 5,284   | 106.7  |
| 20 年度 | 5,307   | 104.0  |
| 21 年度 | 5,119   | 103.4  |
| 22 年度 | 5,110   | 106.9  |

## 《考 察》

ジフテリアは予防接種以外に免疫を獲得する方法がほとんどない状況である。乳児期の百日せき罹患は肺炎や脳症などの重い合併症を起こして重篤になることもある。また、破傷風は自然感染による免疫が成立せず、いつでもどこでも罹患する恐れがある。これらのことから、三種混合予防接種はできるだけ早期に受けることが望ましい予防接種である。

近年、百日せきは大人でも流行していて、感染の機会が多くなっているため、今後も接種率確保を含め、早期接種の周知に努めていきたい。



## 第2期ジフテリア・破傷風

### 《目 的》

ジフテリア、破傷風の発生及びまん延を予防することを目的とする。

### 《内 容》

#### ①対象及び実施方法

| 対 象         | 実 施 方 法                                  |
|-------------|------------------------------------------|
| 11 歳～13 歳未満 | 沈降精製ジフテリア、破傷風混合トキソイドワクチン 0.1ml を 1 回皮下注射 |

#### ②実施時期及び実施場所

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日

市内 51 医療機関・千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度協力医療機関に委託  
(実施日時については、各医療機関が定める)

#### ③周知方法

11 歳の誕生日の翌月に予診票等を個別通知。

健康カレンダー・「こうほう佐倉」・ホームページに委託医療機関を掲載。

### 《実 績》

平成 22 年度実施結果

| 種別   |       | 対象者数(人) | 実施者数(人) | 接種率(%) |
|------|-------|---------|---------|--------|
| 二種混合 | 第 2 期 | 1,502   | 1,281   | 85.3   |

#### 年度別接種率の推移

| 年度    | 実施者数(人) | 接種率(%) |
|-------|---------|--------|
| 18 年度 | 1,031   | 65.8   |
| 19 年度 | 888     | 57.9   |
| 20 年度 | 961     | 60.6   |
| 21 年度 | 1,047   | 65.8   |
| 22 年度 | 1,281   | 85.3   |

### 《考 察》

ジフテリアは予防接種以外に免疫を獲得する方法がほとんどない状況である。また、破傷風は自然感染による免疫が成立せず、いつでもどこでも罹患する恐れがあることから、接種率を高めることは重要である。

第 2 期二種混合は、乳幼児期に三種混合または二種混合の第 1 期予防接種をして得られた免疫が低下してくるため、追加接種として実施している予防接種である。

平成 22 年度は夏に未接種者勧奨を行い、接種率が向上した。乳幼児期と異なり、保護者の予防接種に対する意識も低下しているため、今後も接種率の向上へ向けた予防接種勧奨を工夫していきたい。

## (5) 日本脳炎

### 《目 的》

日本脳炎の発生を予防することを目的とする。

### 《内 容》

#### ①対象及び実施方法

| 対 象           |                                 | 実 施 方 法                            | 備 考                      |
|---------------|---------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 第 1 期<br>(初回) | 生後 6 か月～90 か月未満                 | 日本脳炎ワクチンを 1～4 週間隔で 0.5ml を 2 回皮下注射 | 3 歳未満の場合、<br>接種量は 0.25ml |
| 第 1 期<br>(追加) | 初回終了後概ね 1 年後<br>生後 6 か月～90 か月未満 | 初回接種後概ね 1 年後に 0.5ml を 1 回皮下注射      |                          |
| 第 2 期         | 9 歳～13 歳未満                      | 0.5ml を 1 回皮下注射                    |                          |

#### 日本脳炎ワクチンをめぐる経緯

##### ＊平成 17 年 5 月

- ・マウス脳由来ワクチンによる重症 ADEM (急性散在性脳脊髄炎) 発生を受け、厚労省が「積極的勧奨の差し控え」を勧告。定期接種が中止。

＊平成 17 年 7 月 29 日公布「予防接種法施行令の一部を改正する政令」により日本脳炎第 3 期 予防接種 (14 歳以上 16 歳未満の者が対象) は廃止となった。

##### ＊平成 21 年 6 月

- ・新たな乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン (商品名: ジュービック V) が薬事法の承認を受け、定期の第 1 期に使用可能なワクチンに位置付けられた。

##### ＊平成 22 年 3 月 9 日

- ・マウス脳由来ワクチンが有効期限切れとなる。

##### ＊平成 22 年 4 月

- ・第 1 期の標準的な接種期間に該当するものに対して「積極的な勧奨」を再開。

##### ＊平成 22 年 8 月

- ・乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンが第 2 期の予防接種に使用可能なワクチンに。
- ・17～21 年度の間に第 1 期の接種機会を逃したものが、政令で定める接種年齢 (9 歳以上 13 歳未満) で、不足回数の接種を行っても 1 期接種として実施することが可能に。

##### ＊平成 23 年 1 月 17 日

- ・化血研から乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン (商品名: エンセバック皮下注用) が薬事承認され、平成 23 年 4 月中に発売となる。

#### ②実施時期及び実施場所

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日

市内 37 医療機関・千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度協力医療機関に委託

(実施日時については、各医療機関が定める)

### ③周知方法

- 第1期 出生届出又は転入届出後、予防接種手帳及び予防接種年間計画書を個別に送付。  
健康カレンダー・「こうほう佐倉」・ホームページに委託医療機関を掲載。  
3歳児健診時に日本脳炎について勧奨。
- 第2期 9歳の誕生日の翌月に予診票を個別通知。  
健康カレンダー・「こうほう佐倉」・ホームページに委託医療機関を掲載。

## 《実 績》

平成22年度実施結果

| 種別  | 回数  | 対象者数(人) | 実施者数(人) | 接種率(%) |
|-----|-----|---------|---------|--------|
| 第1期 | 1回目 | 1,408   | 2,327   | 165.3  |
|     | 2回目 | 1,408   | 2,271   | 161.3  |
|     | 追加  | 1,372   | 1,168   | 85.1   |
|     | 小計  | 4,188   | 5,766   | 137.7  |
| 第2期 |     | 1,496   | 443     | 29.6   |
| 合計  |     | 5,684   | 6,209   | 109.2  |

### 第1期 年度別接種率の推移

| 年度   | 実施者数(人) | 接種率(%) |
|------|---------|--------|
| 18年度 | 81      | 1.9    |
| 19年度 | 559     | 13.0   |
| 20年度 | 1,731   | 42.2   |
| 21年度 | 3,491   | 87.2   |
| 22年度 | 5,766   | 137.7  |

＊平成17年度から厚生労働省の勧告により積極的勧奨差し控え。

### 第2期 年度別接種率の推移

| 年度   | 実施者数(人) | 接種率(%) |
|------|---------|--------|
| 18年度 | 81      | 5.1    |
| 19年度 | 261     | 16.9   |
| 20年度 | 483     | 32.8   |
| 21年度 | 806     | 52.2   |
| 22年度 | 443     | 29.6   |

＊平成17年度から厚生労働省の勧告により積極的勧奨差し控え。

## 《考 察》

平成17年5月、マウス脳の製法による日本脳炎ワクチン使用による重症ADEM（急性散在性脳脊髄炎）発症との因果関係を厚生労働省が認定したことにより、積極的勧奨差し控えの勧告が出されて

いる。

勧告後の接種者数は1期・2期ともに減少傾向であったが、平成21年度から1期接種者数の増加が顕著である。原因としては、平成21年6月2日に1期対象者について新しく乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン(以下、新ワクチンという。)の使用が開始となり、接種待ちの対象者が接種したことと、平成22年度から1期初回(3歳)の接種勧奨の差し控えが解除されたこと、また、1期末接種分を2期の対象年齢で接種できるようになったことにより、前年度よりさらに接種者数が増加したと考えられる。

2期については、平成22年8月に新ワクチンの使用を許可されたが、接種できない期間があったことと、1期末接種分があった者は先に1期分を接種したことにより、接種率は減少している。

なお、平成17年5月の接種勧奨の差し控えの勧告の影響で、接種機会を逃している接種対象者が多いため、救済措置の実施について、平成23年5月下旬ごろ予防接種法施行令の一部改正が予定されている。

平成23年度以降も接種について流動的な状況になると考えられるが、市としては、国・県からの情報提供に注目しつつ、接種者への正確な情報提供に努め、円滑に予防接種が実施できるよう対応していきたい。

## (6) インフルエンザ

### 《目 的》

インフルエンザの個人の発病又はその重症化を防止し、併せてこれにより間接的な集団予防を図ることを目的とする。

### 《内 容》

#### ①対象及び接種方法

| 対 象                                                                                  | 接 種 方 法                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 65 歳以上の者<br>② 60 歳以上 65 歳未満で心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する病気で障害者手帳 1 級の者 | インフルエンザHAワクチンを 1 回皮下注射<br>〔ワクチンの型〕<br>A 型株<br>① A／カリフォルニア／7／2009 (H1N1)<br>② A／ビクトリア／210／2009 (H3N2)<br>B 型株<br>③ B／ブリスベン／60／2008 |

#### ②実施時期及び実施場所

平成 22 年 10 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日

市内 62 医療機関・千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度協力医療機関に委託

(実施日時については、各医療機関が定める)

#### ③周知方法

65 歳以上の対象者に氏名、住所を印字した予診票を個別に送付。

60 歳以上 65 歳未満の対象者のうち希望者は健康増進課へ連絡をもらい、予診票を個別に送付。

ポスター掲示、「こうほう佐倉」・ホームページに委託医療機関を掲載。

### 《実 績》

平成 22 年度実績

| 対象年齢    | 対象者数(人) | 実施者数(人) | 接種率(%) |
|---------|---------|---------|--------|
| 65 歳以上  | 38,593  | 22,749  | 58.9   |
| 60～64 歳 | 123     | 31      | 25.2   |
| 合計      | 38,716  | 22,780  | 58.8   |

年度別接種率の推移

| 年度    | 実施者数(人) | 接種率(%) |
|-------|---------|--------|
| 18 年度 | 17,051  | 53.5   |
| 19 年度 | 19,116  | 56.2   |
| 20 年度 | 21,136  | 60.2   |
| 21 年度 | 19,830  | 52.9   |
| 22 年度 | 22,780  | 58.8   |

## 《考 察》

平成 22 年度は、昨年度 5 月から流行した新型インフルエンザ（A/H1N1）のワクチンと、通常の季節性インフルエンザ（A/H3N2 と B 型）の 3 つに効果がある 3 価ワクチンの接種を実施した。

インフルエンザの接種率は、基本的にほぼ横ばいの状況であるが、インフルエンザ流行の報道に強く影響を受ける傾向がある。平成 22 年度は、新型インフルエンザに対する意識が高まっていたことと、国からの要請で新型インフルエンザに合わせて接種期間を平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日に延長したことにより、前年度に比較して接種率が上がっていると考えられる。

新型インフルエンザ（H1N1）は平成 23 年 3 月 31 日をもって、季節性インフルエンザワクチンに組み込まれたため、平成 23 年度は通常の季節性インフルエンザとして接種を実施していく予定である。

インフルエンザ予防接種は、接種後に抗体がつくられるまで 2 週間位、抗体有効期間が 5 か月位であることから、通常、10 月から 12 月を接種期間とし、できるだけ早期に接種を終えることができるように案内している。個人防衛のための予防接種であることを含め、感染症予防の基本である①手洗い②うがい③睡眠・休養の必要性について啓発していきたい。

### 3. 結核予防

#### (1) 結核検診

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 根拠法令等 | 感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律） |
|-------|----------------------------------|

##### 《目 的》

結核検診を行うことにより、結核患者の発生及び結核の蔓延を予防する。

##### 《内 容》

##### ① 対象者

市内在住の 65 歳以上の男女

##### ② 実施方法

##### ア 集団検診

期 間 6 月 5 日～11 月 29 日、市内 19 会場、57 日間実施。

費 用 300 円（税込み）

検診内容 検診業者に委託し、胸部レントゲン間接撮影及び読影を実施。

##### イ 個別検診

期 間 6 月 1 日～11 月 30 日、市内 40 医療機関で実施。

費 用 1,300 円（税込み）

検診内容 胸部レントゲン直接撮影及び読影を実施。

##### ③ 周知方法

##### ア 個人通知

市内在住の 65 歳以上の男女で、下記に該当するかた

- ・ 70 歳のかた
- ・ 平成 21 年度に市の健診(検診)を受診したかた
- ・ 市の特定健診(健康診査)の対象となるかた
- ・ 生活保護世帯のかた

イ 「こうほう佐倉」、ホームページ、周知啓発に努めた。

##### 《実 績》

##### ① 過去 5 年間の実施状況

| 年度   | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率 (%) |
|------|---------|---------|---------|
| 22年度 | 38,185  | 10,486  | 27.5    |
| 21年度 | 36,379  | 9,602   | 26.4    |
| 20年度 | 34,073  | 9,747   | 28.6    |
| 19年度 | 32,079  | 5,593   | 17.4    |
| 18年度 | 29,931  | 5,275   | 17.6    |
|      |         |         |         |

② 胸部レントゲン検診（結核検診）実施結果

|    | 対象者数<br>(人) | 受診者数<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精密検査<br>者 (人) | 要精密検査<br>率 (%) | 精密検査受<br>診者 (人) | 結核発見数<br>(人) |
|----|-------------|-------------|------------|----------------|----------------|-----------------|--------------|
| 集団 | 38,185      | 5,628       | 27.5       | 58             | 1              | 50              | 0            |
| 個別 |             | 4,858       |            |                |                |                 |              |
| 合計 | 38,185      | 10,486      | 27.5       |                |                |                 |              |

③ 性別、年代別受診状況及び精密検査実施状況

| 性別 | 年代    | 対象者数<br>人 | 受 診 者 数 |      | 検診結果   |      |                  |     | 精密検査受診状況 |       |           |         |
|----|-------|-----------|---------|------|--------|------|------------------|-----|----------|-------|-----------|---------|
|    |       |           |         |      | 異常認めず  |      | 要精密検査<br>(結・非結核) |     | 受診者数     |       | 未受診者<br>人 | 結核<br>人 |
|    |       |           | 人       | %    | 人      | %    | 人                | %   | 人        | %     |           |         |
| 男性 | 65～69 | 7,047     | 1,592   | 22.6 | 1,587  | 99.7 | 5                | 0.3 | 5        | 100.0 | 0         | 0       |
|    | 70～74 | 4,964     | 1,639   | 33.0 | 1,628  | 99.3 | 11               | 0.7 | 10       | 90.9  | 1         | 0       |
|    | 75～79 | 3,025     | 1,018   | 33.7 | 1,007  | 98.9 | 11               | 1.1 | 9        | 81.8  | 2         | 0       |
|    | 80歳以上 | 2,719     | 485     | 17.8 | 481    | 99.2 | 4                | 0.8 | 1        | 25.0  | 3         | 0       |
|    | 小計    | 17,755    | 4,734   | 26.7 | 4,703  | 99.3 | 31               | 0.7 | 25       | 80.6  | 6         | 0       |
| 女性 | 65～69 | 7,011     | 2,191   | 31.3 | 2,179  | 99.5 | 12               | 0.5 | 10       | 83.3  | 2         | 0       |
|    | 70～74 | 4,705     | 1,798   | 38.2 | 1,792  | 99.7 | 6                | 0.3 | 6        | 100.0 | 0         | 0       |
|    | 75～79 | 3,533     | 1,105   | 31.3 | 1,101  | 99.6 | 4                | 0.4 | 4        | 100.0 | 0         | 0       |
|    | 80歳以上 | 5,181     | 658     | 12.7 | 653    | 99.2 | 5                | 0.8 | 5        | 100.0 | 0         | 0       |
|    | 小計    | 20,430    | 5,752   | 28.2 | 5,725  | 99.5 | 27               | 0.5 | 25       | 92.6  | 2         | 0       |
| 男性 | 個別    | 17,755    | 1,896   | 26.7 | 1,881  | 99.2 | 15               | 0.8 | 12       | 80.0  | 3         | 0       |
|    | 集団    |           | 2,838   |      | 2,822  | 99.4 | 16               | 0.6 | 13       | 81.3  | 3         | 0       |
| 女性 | 個別    | 20,430    | 2,962   | 28.2 | 2,949  | 99.6 | 13               | 0.4 | 12       | 92.3  | 1         | 0       |
|    | 集団    |           | 2,790   |      | 2,776  | 99.5 | 14               | 0.5 | 13       | 92.9  | 1         | 0       |
| 合計 |       | 38,185    | 10,486  | 27.5 | 10,428 | 99.4 | 58               | 0.6 | 50       | 86.2  | 8         | 0       |

《考 察》

受診者は、21年度の9,602人と比べ884人増加し、受診率では1.1ポイントの増加であった。また、集団検診の受診者は、21年度の5,326人に比べ302人の増加、個別検診の受診者は、21年度の4,276人に比べ582人の増加となった。

今後も、結核検診の受診を勧奨していく。



## **V おとなの保健**

## 1. 健康手帳の交付

|                                                    |                                                                                 |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 根拠法令等                                              | 健康増進法第 17 条第 1 項                                                                |
| 健康さくら 21 目標値<br>平成 18 年度 (市の現状) →<br>平成 24 年度 (目標) | ・健康に関する自己チェックをする人の増加 (体重測定、血圧測定など)<br>体重・身長チェック 32.3% → 50%<br>血圧測定 33.7% → 50% |

### 《目 的》

健康診査の記録、その他老後における健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康と適切な医療の確保に資することを目的に健康手帳を交付する。

### 《内 容》

- ①対象 市内在住の 40 歳以上のかた
- ②方法 健診・検診会場又は、各保健センターにおいて交付

### 《実 績》

健康手帳の交付状況 (単位：冊)

|          | 40～74 歳 |       |        | 75 歳以上 |     |       | 計     |       |        |
|----------|---------|-------|--------|--------|-----|-------|-------|-------|--------|
|          | 男       | 女     | 計      | 男      | 女   | 計     | 男     | 女     | 計      |
| 平成 22 年度 | 3,108   | 5,494 | 8,602  | 328    | 307 | 635   | 3,436 | 5,801 | 9,237  |
| 平成 21 年度 | 2,299   | 5,252 | 7,551  | 210    | 320 | 530   | 2,509 | 5,572 | 8,081  |
| 平成 20 年度 |         |       | 14,795 |        |     | 1,829 |       |       | 16,624 |

※男女別の統計については、平成 21 年度より導入となっている。

### 《考 察》

健康手帳は、毎年の受診結果を記録しておくことにより、健康状態を経年的に管理できるので、生活習慣病の予防に効果がある。

平成 19 年度まで健診(検診)の結果の見方や健康に関する情報などについてまとめた小冊子は、健康手帳と併せて健診(検診)受診者に配布していた。

平成 20 年度から、健康手帳をこの小冊子と一冊にまとめて作成し、健康手帳の使用時に小冊子の情報を役立ててもらったようにした。

平成 21 年度は、健康の記録のページの特設健診の欄に検査の基準値を印字し、自己チェックできるような工夫をした。

平成 22 年度は、相談や教室の日程等は掲載せず、小冊子を役立てながら健康手帳として経年的に健診の記録を記載しやすいようにした。

## ２．健康教育

| 根拠法令等                                        | 健康増進法 17 条の 1                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら 2 1 目標値<br>平成18年度（市の現状）→<br>平成24年度（目標） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関心を持つ人の増加 中学生以上 62.8% → 90%以上</li> <li>・健康づくりや生活習慣病予防のための教室・相談等の利用者の増加<br/>集団健康教育 3,154 人 → 増加</li> </ul> |

### （１）集団健康教育

#### 《目 的》

生活習慣の予防、その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的とする。（健康増進事業実施要領）

#### 《内 容》

|        |                                  | 対象                                                                       | 方法                               | 内容                                                                                                      | 周知方法                        |
|--------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 一般健康教育 | メタボリックシンドローム予防のための「知って得する調理法」講習会 | 特定検診結果説明会・健康相談・糖尿病予防学習会参加者等                                              | 1月・3月で2課3コース(3保健センター)実施          | ・食生活を改善するための必要な知識や情報の提供<br>・各自の食生活に関する問題点を見つけ改善できるよう具体的な方法をアドバイスする「食事バランスガイド」活用<br>・試食を通し、カロリーを減らす方法を知る | 健診結果説明会、チラシによるPR            |
|        | 運動器具トレーニング講習会                    | 市内に居住地を有する18歳以上の者（高校生を除く。）で、医師等から運動を制限されていないものとする。<br>（保健センター運動指導事業実施要領） | 西部保健センター、南部保健センターで月1回実施          | トレッドミル及びエルゴメーターを使用して実施するもの                                                                              | ホームページ、こうほう佐倉、地区回覧、保健事業でのPR |
|        | サーキットトレーニング講習会                   |                                                                          | 西部保健センターで月1回実施                   | 平成19年度特定保健指導アウトソーシング環境整備事業（佐倉市メタボリックシンドロームモデル事業）により自治体向けに開発された映像を使用して実施するもの                             |                             |
|        | 玄米ダンベル体操講習会                      |                                                                          | 西部保健センター、南部保健センターで月1回実施          | 「玄米ニギニギ体操」鈴木正成編（日本放送協会2002年）に基づく玄米ダンベル及び映像を使用して実施するもの                                                   |                             |
|        | その他健康教育（出前健康講座、講師派遣等）            | 市内在住・在勤の者                                                                | 12月28日～1月5日を除く午前9時から午後8時の間の2時間以内 | 自治会、自主サークル、市民大学等から、出前健康講座・講師派遣について申請を受け、保健師、栄養士、歯科衛生士等を派遣する。<br>内容は出前健康講座メニュー表から選択するか、申請者と協議のうえ決定する。    |                             |

|         |          | 対象                                                                                                                     | 方法                                                                      | 内容                                                                                                                          | 周知方法                           |
|---------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 病態別健康教育 | 糖尿病予防学習会 | 平成22年度特定健康診査受診者及び人間ドック等で以下の基準に該当し、現在糖尿病の治療を受けていない者<br>・空腹時血糖 100～125mg/dl または、HbA1c 5.2～6.0%<br>・年齢が40～65歳未満の者もしくはその家族 | 1コース2課構成で2コース実施。<br>1課開始までに初回面接を全員実施。<br>①コース：健康管理センター<br>②コース：西部保健センター | 初回面接：一人30～60分の面接にて行動変容ステージ・生活習慣の確認。生活改善のための動機づけ<br>1課：病態講義、運動講義・実技、栄養講義、グループワーク<br>2課：病態講義、運動講義・実技、栄養講義、調理実習、グループワーク<br>修了式 | 広報（1・2コースそれぞれ掲載）、個人通知（特定健診受診者） |
|         |          |                                                                                                                        |                                                                         |                                                                                                                             |                                |

## 《実績》

### 年次別実績

| 年度     | 回数  | 延人数    | 延人数 内訳 |        |       |
|--------|-----|--------|--------|--------|-------|
|        |     |        | 39歳以下  | 40～64歳 | 65歳以上 |
| 平成18年度 | 148 | 3,663  | -      | 3,154  | -     |
| 平成19年度 | 179 | 5,159  | -      | 4,435  | -     |
| 平成20年度 | 117 | 4,544  | 596    | 2,817  | 1,131 |
| 平成21年度 | 181 | 7,232  | 344    | 5,848  | 1,040 |
| 平成22年度 | 258 | 10,242 | 1,642  | 7,032  | 1,568 |

（糖尿病予防学習会・玄米ダンベル講習会・運動器具講習会・サーキットトレーニング講習会・出前健康講座・その他の健康教育を含む）

### 種別実績

|     | 病態別 | 一般    | 計      |
|-----|-----|-------|--------|
| 回数  | 18  | 240   | 258    |
| 延人数 | 320 | 9,922 | 10,242 |

### 運動器具トレーニング講習会

|          | 回数 | 延人数 | 延人数 内訳 |        |       |
|----------|----|-----|--------|--------|-------|
|          |    |     | 39歳以下  | 40～64歳 | 65歳以上 |
| 西部保健センター | 12 | 76  | 1      | 33     | 42    |
| 南部保健センター | 12 | 32  | 1      | 22     | 9     |
| 計        | 24 | 108 | 2      | 55     | 51    |

### サーキットトレーニング講習会

|          | 回数 | 延人数 | 延人数 内訳 |        |       |
|----------|----|-----|--------|--------|-------|
|          |    |     | 39歳以下  | 40～64歳 | 65歳以上 |
| 西部保健センター | 12 | 149 | 7      | 58     | 84    |
| 計        | 12 | 149 | 7      | 58     | 84    |

#### 玄米ダンベル体操 講習会

|          | 回数 | 延人数 | 延人数 内訳 |         |        |
|----------|----|-----|--------|---------|--------|
|          |    |     | 39 歳以下 | 40～64 歳 | 65 歳以上 |
| 西部保健センター | 12 | 71  | 0      | 31      | 40     |
| 南部保健センター | 12 | 32  | 1      | 22      | 9      |
| 計        | 24 | 103 | 1      | 53      | 49     |

#### 出前健康講座

|   | 回数 | 延人数   | 延人数 内訳 |         |        |
|---|----|-------|--------|---------|--------|
|   |    |       | 39 歳以下 | 40～64 歳 | 65 歳以上 |
| 計 | 27 | 1,149 | 104    | 462     | 583    |

#### 糖尿病予防学習会

| 回数              | 実人数 | 40～64 歳<br>再掲 |
|-----------------|-----|---------------|
| 1 コース（健康管理センター） | 23  | 23            |
| 2 コース（西部保健センター） | 28  | 28            |
| 計               | 51  | 51            |

#### メタボリックシンドローム予防のための「知って得する調理法」講習会

| 場所                   | 人数 | 実人数 | 延人数 | 40～64 歳<br>再掲 |
|----------------------|----|-----|-----|---------------|
| 健康管理センター (1/18・3/15) |    | 14  | 18  | 8             |
| 西部保健センター (1/28・3/17) |    | 16  | 19  | 7             |
| 南部保健センター (1/19・3/16) |    | 9   | 10  | 3             |
| 計                    |    | 39  | 47  | 18            |

#### 《考 察》

- ・出前健康教育等が増え、昨年度と比較し総実績数が増加した。
  - ・新規に行ったメタボリックシンドローム予防のための「知って得する調理法」の講習会では、健康づくりのための栄養や食事についての正しい知識や情報を提供することができた。
  - ・出前健康講座は年間で 27 回であった。延人数は昨年度よりも 284 名増加した。しかし地区や団体に偏りがあり、毎年申し込んでくる団体がほとんどであった。新たな団体に利用していただけるように、PR方法を検討していきたい。
  - ・糖尿病予防学習会では、今年度から健康運動指導士による運動実技を行った。より効果的・専門的な運動を学ぶことができ、参加者には好評であった。新たに実施した「2 か月後アンケート」結果より、参加者の多くが食習慣だけでなく、運動習慣の改善がみられていることがわかった。また「学習会終了後に参加者同士で運動を継続したい」との意見があった。学習会後の支援については今後の検討事項である。
  - ・玄米ダンベル体操及び運動器具トレーニング、サーキットトレーニング講習会と自由開放日の参加者数は近年大きな増減はない。参加者の年齢傾向としては 40～64 歳、65 歳以上でほぼ同割合を占めている。自由開放日に参加することで参加者が互いに声をかけあい運動継続の意欲向上につながると同時に高齢者の運動習慣づくりの場ともなっている。
- 次年度以後、自由開放日参加者に対して、新たな運動に関する知識を得つつ、運動の効果を確認しながら継続して頂くことを目的とした健康教育を実施していく。

## (2) 個別健康教育

### 《目 的》

疾病の特性や個人の生活習慣等を具体的に把握しながら、継続的に健康教育を行うことにより、生活習慣行動の改善を支援し、生活習慣病の予防に資することを目的とする。(健康増進事業実施要領)

### 《内 容》

「喫煙者個別健康教育」として「禁煙教室」を実施した。

### 禁煙教室

《目 的》疾病の特性や個人の生活習慣等を具体的に把握しながら、継続的に禁煙に関する健康教育を実施し、禁煙できるよう支援する。

### 《内 容》

- ①対象 現在喫煙をしており禁煙を希望する者
- ②場所 西部保健センター
- ③期間 3か月間を原則とし、①初回指導、②禁煙の実行に関する指導について実施。
- ④カリキュラム

|     | 日時                              | 内容                                                     |
|-----|---------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 1 課 | 平成 22 年 9 月 7 日<br>9:30～12:00   | たばこ依存度検査、講義<br>グループワーク、個別相談                            |
| 2 課 | 平成 22 年 10 月 12 日<br>9:30～12:00 | 歯周病検査、講義、<br>グループワーク、個別相談                              |
| 3 課 | 平成 22 年 11 月 9 日<br>9:30～12:00  | たばこ依存度検査、講義、<br>運動実技、禁煙成功者の体験談、<br>グループワーク、修了書の授与、個別相談 |

### 《実 績》

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 実人数 (40～64 歳 再掲) | 延人数 (40～64 歳 再掲) |
| 16 (5)           | 42 (13)          |

### 《考 察》

集団教育を取り入れたことによって、学習内容を効率よく指導できた。また、個別支援を通して個人の目標に合わせた指導ができた。

喫煙が主な原因で起こる慢性閉塞性肺疾患 (COPD) は、禁煙等により予防が可能である。今後、その予防・早期発見に主眼をおいた内容も実施していく。

### 3. 健康相談

|                                            |                                                 |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 根拠法令等                                      | 健康増進法第17条第1項                                    |
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | 健康づくりや生活習慣病予防のための教室・相談等の利用者の増加<br>健康相談 760人 →増加 |

#### 《目 的》

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導および助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。

#### 《内 容》

対 象 佐倉市に住所を有する40歳から64歳までの者

方 法 ①定例健康相談：各保健センターにおいて健康相談窓口を設置し実施する。

②健康教育に健康相談を併設し実施する。

③健康さくら21まつり等：イベント等に健康相談を併設し実施する。

④電話相談

周知方法 「こうほう佐倉」や健康カレンダー等への掲載、健診結果送付時に案内文を同封、地区活動時にPR。

#### 《実 績》

##### ①健康相談年度別実績

| 年 度      | 開 催 回 数 |                | 延 人 数          |                  |               |     |
|----------|---------|----------------|----------------|------------------|---------------|-----|
|          |         | 定例健康相談<br>(再掲) | 定例健康相談<br>(再掲) |                  |               |     |
| 平成 18 年度 | 118     | 43             | 961            |                  |               | 162 |
| 平成 19 年度 | 113     | 83             | 637            |                  |               | 319 |
| 平成 20 年度 | 15      | 15             | 61             |                  |               | 19  |
|          |         |                | 40 歳未満<br>7    | 40 歳～64 歳<br>19  | 65 歳以上<br>35  |     |
| 平成 21 年度 | 37      | 26             | 183            |                  |               | 23  |
|          |         |                | 40 歳未満<br>44   | 40 歳～64 歳<br>63  | 65 歳以上<br>76  |     |
| 平成 22 年度 | 65      | 25             | 313            |                  |               | 33  |
|          |         |                | 40 歳未満<br>19   | 40 歳～64 歳<br>147 | 65 歳以上<br>147 |     |

②平成 22 年度の種別実績

| 健康相談の種類 |       | 開催回数 | 年齢別内訳  |           |        |
|---------|-------|------|--------|-----------|--------|
|         |       |      | 40 歳未満 | 40 歳～64 歳 | 65 歳以上 |
| 重点相談    | 高 血 圧 | 1    | 0      | 0         | 42     |
|         | 高脂血症  | 1    | 0      | 1         | 0      |
|         | 糖 尿 病 | 1    | 0      | 8         | 0      |
|         | 歯周疾患  | 4    | 0      | 34        | 0      |
|         | 病 態 別 | 0    | 0      | 0         | 0      |
|         | 骨     | 1    | 12     | 35        | 12     |
| 総合健康相談  |       | 57   | 7      | 69        | 93     |
| 計       |       | 65   | 19     | 147       | 147    |

③電話相談 合計 597 件

| 内訳             | 件数 (割合%)    |
|----------------|-------------|
| 母子の健康に関すること    | 338 (56.6%) |
| 生活習慣病に関すること    | 58 ( 9.7%)  |
| 感染症に関すること      | 23 ( 3.9%)  |
| こころの健康         | 39 ( 6.5%)  |
| 歯科に関すること       | 16 ( 2.7%)  |
| その他健康・病気に関すること | 123 (20.6%) |

《考 察》

平成 20 年度より健康増進法に基づき実施されることとなり、対象年齢が 40 歳以上 64 歳以下となった。また、同じく平成 20 年度から特定健診が始まったことにより、19 年度まで実施していた健診会場での健康相談が廃止され、相談実績が減少している。平成 20 年度、21 年度に比べると、今年度の相談実績は若干の増加がみられている。これは、メタボリックシンドローム予防教室等の健康教育参加時に血圧測定を行い、参加者自身が体調をチェックすることを徹底していく中、その都度血圧が高かった参加者に相談、指導を行ったことも増加理由の一つとなっている。今後はさらに広く健康相談が活用され、市民の健康意識の向上ができるよう努めていきたい。



## 4. 健康診査

### (1) 健康診査

|       |             |
|-------|-------------|
| 根拠法令等 | 健康増進法第19条の2 |
|-------|-------------|

#### 《目 的》

平成20年4月から、医療保険者（国民健康保険、協会けんぽ、共済組合等）に、40～74歳の被保険者・被扶養者を対象とした健康診査（特定健康診査）と保健指導（特定保健指導）の実施が義務付けられ、これまでの健康診査の目的である個々の病気の早期発見・早期治療から、メタボリックシンドロームに着目した健康診査となった。生活習慣病は、内臓脂肪の蓄積が原因となっていることが多いことから、メタボリックシンドロームに該当する方とその予備群の方について、運動や食生活等の生活習慣を見直すサポートを行うことにより、生活習慣病の予防につなげることを目的としている。

75歳以上の後期高齢者（65歳以上の障害認定者含む）には、生活習慣病を早期に発見して、重症化の予防を図るために、千葉県後期高齢者医療広域連合からの委託により、健康診査を実施する。

生活保護者の健康診査については健康増進法に基づき、特定健診・健康診査に準じた形で実施する。

#### 《内 容》

##### ① 対象者

- ・市内在住の40歳以上の生活保護世帯のかた

##### ② 実施方法

ア 集団健診 （6月5日～11月29日、市内19会場延べ57日間）

集団健診業者に委託し、胃がん検診・大腸がん検診・胸部レントゲン検診と併せて実施

イ 個別健診 （6月1日～11月30日、市内42医療機関）

##### ③ 周知方法

ア 個人通知

40歳以上の生活保護世帯のかた

イ 「こうほう佐倉」、ホームページ掲載し周知啓発を実施

##### ④ 健診項目

ア 基本的な健診の項目（全ての対象者が受診する項目）

既往歴の調査・自覚症状及び他覚症状の有無の検査・身長、体重及び腹囲の検査

BMIの測定・血圧の測定・肝機能検査・血中脂質検査・血糖検査・尿検査

※75歳以上のかたには、腹囲測定は実施しない

イ 詳細な健診の項目（特定の対象者が受診する項目）

心電図検査・眼底検査

前年度の健診結果が基準に該当する者で医師の判断で必要とされた者

貧血検査

既往歴や自覚症状等があり医師の判断で必要とされた者

##### ⑤ 受診に係る費用

無料

## 《実 績》

### ①実施状況

| 年度   | 対象者数<br>(人) | 受診者数<br>(人) | 受診率<br>(%) |
|------|-------------|-------------|------------|
| 22年度 | 712         | 30          | 4.2        |
| 21年度 | 776         | 37          | 4.8        |
| 20年度 | 778         | 12          | 1.5        |

### ②性別、年代別、保健指導区分別結果

| 性別 | 年代<br>(歳) | 対象者数<br>(人) | 受診者数<br>(人) % |      | 保健指導区分別実人数 |       |        |      |       |      |
|----|-----------|-------------|---------------|------|------------|-------|--------|------|-------|------|
|    |           |             |               |      | 情報提供       |       | 動機付け支援 |      | 積極的支援 |      |
|    |           |             |               |      | (人)        | %     | (人)    | %    | (人)   | %    |
| 男性 | 40～49     | 30          | 1             | 3.3  | 1          | 100.0 | 0      | 0.0  | 0     | 0.0  |
|    | 50～59     | 61          | 4             | 6.6  | 3          | 75.0  | 0      | 0.0  | 1     | 25.0 |
|    | 60～64     | 71          | 4             | 5.6  | 3          | 75.0  | 1      | 25.0 | 0     | 0.0  |
|    | 65～69     | 86          | 3             | 3.5  | 2          | 66.7  | 1      | 33.3 |       |      |
|    | 70～74     | 66          | 2             | 3.0  | 1          | 50.0  | 1      | 50.0 |       |      |
|    | 75歳以上     | 80          | 2             | 2.5  |            |       |        |      |       |      |
|    | 小計        | 394         | 16            | 4.1  | 10         | 62.5  | 3      | 18.8 | 1     | 6.3  |
| 女性 | 40～49     | 48          | 3             | 6.3  | 3          | 100.0 | 0      | 0.0  | 0     | 0.0  |
|    | 50～59     | 48          | 0             | 0.0  | 0          | 0.0   | 0      | 0.0  | 0     | 0.0  |
|    | 60～64     | 36          | 4             | 11.1 | 4          | 100.0 | 0      | 0.0  | 0     | 0.0  |
|    | 65～69     | 41          | 0             | 0.0  | 0          | 0.0   | 0      | 0.0  |       |      |
|    | 70～74     | 42          | 2             | 4.8  | 2          | 100.0 | 0      | 0.0  |       |      |
|    | 75歳以上     | 103         | 5             | 4.9  |            |       |        |      |       |      |
|    | 小計        | 318         | 14            | 4.4  | 9          | 64.3  | 0      | 0.0  | 0     | 0.0  |
| 男性 | 個別        | 394         | 6             | 4.1  | 10         | 60.0  | 3      | 25.0 | 1     | 5.0  |
|    | 集団        |             | 10            |      |            |       |        |      |       |      |
| 女性 | 個別        | 318         | 9             | 4.4  | 9          | 52.9  | 0      | 17.6 | 0     | 0.0  |
|    | 集団        |             | 5             |      |            |       |        |      |       |      |
| 合計 |           | 712         | 30            | 4.2  | 19         | 63.3  | 3      | 10.0 | 1     | 3.3  |

## 《考 察》

国の医療制度改革により、平成19年度まで老人保健法に基づき実施していた基本健康診査は、平成20年度より「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき医療保険者（佐倉市国民健康保険加入者）が特定健診と特定保健指導を実施するよう義務付けられた。

このため、生活保護者の健康診査については健康増進法に位置付けられた。

平成21年度から、対象者全員に健診の通知をし、健診の周知を図った。

次年度も引き続き対象者への通知をしていきたい。

## (2) 成人歯科健康診査

| 根拠法令等                                           | 健康増進法第 19 条の 2                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら 2.1 目標値<br>平成18年度 (市の現状) →<br>平成24年度 (目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人歯科健診を知っている人の増加 30 歳以上 57.6% → 80%以上</li> <li>・歯間部清掃用具を使う人の増加 35～44 歳 33.3% → 50%以上<br/>45～54 歳 34.2% → 50%以上</li> </ul> |

### 《目 的》

生涯を通じて食べる楽しみを享受でき、健康で豊かな生活が送れるよう、口腔の維持・向上を図る。

### 《内 容》

①対象者 市内在住の 30 歳以上の男女で、現在、治療中又は定期歯科健診受診者を除く。

②周知方法

個人通知： 40 歳以上の佐倉市国民健康保険、広域連合加入者。

年度末で 30・40・50・60・70 歳の節目のかた。

平成 20 年度に市の検診を受診したかた。

「こうほう佐倉」： 6 月 1 日広報特別号「みんなの保健」に各種健診関係と同時に掲載した。

6 月 1 日広報に歯科啓発記事とあわせて掲載した。

ホームページ：市のホームページに成人歯科健診の PR を掲載した。

ポスター掲示：市内協力歯科医療機関に掲示した。

チラシ配布：市内協力歯科医療機関、集団検診、幼児歯科健診、保育園・幼稚園歯磨き教室でチラシを配布した。

PR 活動：各種教室、地域での健康教育活動等で歯科健診の必要性を PR した。

特定健診時配布する小冊子に歯科健診の PR を掲載した。

③方法 印旛郡市歯科医師会佐倉地区、61 歯科医療機関に委託し、口腔診査を実施した。

④実施期間 6 月 1 日～11 月 30 日

### 《実 績》

①受診状況 対象者数 125,754 人 (30 歳以上の市民)

受診数 701 人 (男性 222 人、女性 479 人)、受診率 0.6%

②年度別受診数の推移 (人)

| 年度    | 受診者数 |
|-------|------|
| 18 年度 | 806  |
| 19 年度 | 806  |
| 20 年度 | 612  |
| 21 年度 | 598  |
| 22 年度 | 701  |

③地区別年代別受診数 (人)

| 地区  | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70 歳～ | 総数  |
|-----|---------|---------|---------|---------|-------|-----|
| 佐倉  | 19      | 25      | 13      | 29      | 26    | 112 |
| 臼井  | 22      | 16      | 24      | 58      | 26    | 146 |
| 志津  | 68      | 56      | 38      | 87      | 83    | 332 |
| 根郷  | 19      | 7       | 17      | 16      | 9     | 68  |
| 和田  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     | 0   |
| 弥富  | 1       | 1       | 0       | 0       | 0     | 2   |
| 千代田 | 8       | 7       | 10      | 10      | 6     | 41  |
| 総数  | 137     | 112     | 102     | 200     | 150   | 701 |

④年齢別現在歯数の状況（人）

|         | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70 歳～ |
|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 24 歯以上  | 136     | 112     | 96      | 176     | 109   |
| 20～23 歯 | 1       | 0       | 4       | 20      | 25    |
| 19 歯以下  | 0       | 0       | 2       | 4       | 16    |

⑤年齢別歯周疾患罹患状況（人）

|        | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70 歳～ |
|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 健全な歯肉  | 15      | 14      | 14      | 20      | 26    |
| 出血あり   | 11      | 9       | 7       | 15      | 18    |
| 歯石あり   | 76      | 61      | 44      | 84      | 51    |
| 中程度歯周炎 | 30      | 24      | 22      | 52      | 39    |
| 重度歯周炎  | 5       | 4       | 15      | 29      | 16    |
| 診査対象外  | 0       | 0       | 0       | 0       | 0     |

⑥年齢別歯間部清掃用具を使う人の割合（％）

|                | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70 歳～ | 計    |
|----------------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 歯間部清掃用具を使う人の割合 | 38.7    | 37.5    | 47.1    | 43.0    | 42.0  | 41.7 |

⑦補助金対象者の受診状況（人）

|      | 受診者数 | 判定区分 |     |     |
|------|------|------|-----|-----|
|      |      | 異常なし | 要指導 | 要精検 |
| 40 歳 | 30   | 3    | 2   | 25  |
| 50 歳 | 14   | 0    | 0   | 14  |
| 60 歳 | 17   | 1    | 1   | 15  |
| 70 歳 | 16   | 3    | 0   | 13  |

《考 察》

PR方法として新たに協力歯科医療機関や集団検診会場でチラシを配布した。受診人数は701人で前年度より103人増加し、年齢別にみると30代が最も増加した。歯周疾患は自覚症状が乏しく放置されることが多いため、早い時期から定期的に歯科受診をすることが望ましい。今後も若年層の方への周知を図り受診を促すとともに、かかりつけ歯科医院で定期歯科健診を受ける必要性について啓発普及していきたい。

### (3) 骨粗しょう症検診

|       |             |
|-------|-------------|
| 根拠法令等 | 健康増進法第19条の2 |
|-------|-------------|

#### 《目 的》

寝たきりの原因となる骨折の基礎疾患である骨粗しょう症を早期発見するとともに、骨粗しょう症予防についての意識啓発を図る。

#### 《内 容》

##### ①対象者

市内在住の20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳で、検診を受ける機会のない男女

##### ②検診方法

検診事業者に委託し、予約制により市内4会場で実施

実施期間は、10月13日から12月6日、4会場延べ7日間

測定方法はDXA法（測定部位は橈骨）とした

自己負担額は500円（税込み）

##### ③周知方法

「こうほう佐倉」に掲載、ホームページに掲載し周知啓発を実施

#### 《実 績》

##### ①過去5年間の実施状況

| 年度   | 対象者<br>(人) | 受診者数<br>(人) | 受診率<br>(%) |
|------|------------|-------------|------------|
| 22年度 | 27,193     | 762         | 2.8        |
| 21年度 | 26,924     | 814         | 3.0        |
| 20年度 | 27,020     | 845         | 3.1        |
| 19年度 | 26,393     | 771         | 2.9        |
| 18年度 | 8,864      | 607         | 6.8        |

※対象者の算出方法を平成19年度より改定

##### ②性別、年代別受診状況及び判定結果（人）

|      | 年齢  | 受診者数 |     |     | 判定結果  |      |     |      |     |      |
|------|-----|------|-----|-----|-------|------|-----|------|-----|------|
|      |     | 男性   | 女性  | 合計  | 異常認めず |      | 要指導 |      | 要医療 |      |
|      |     | 人    | 人   | 人   | 人     | %    | 人   | %    | 人   | %    |
| 県補助  | 20歳 | 0    | 1   | 1   | 1     | 0.0  | 0   | 0.0  | 0   | 0.0  |
|      | 25歳 | 0    | 1   | 1   | 0     | 0.0  | 1   | 0.0  | 0   | 0.0  |
|      | 30歳 | 1    | 27  | 28  | 27    | 96.4 | 1   | 3.6  | 0   | 0.0  |
|      | 35歳 | 0    | 11  | 11  | 10    | 90.9 | 0   | 0.0  | 1   | 9.1  |
| 国庫補助 | 40歳 | 2    | 52  | 54  | 50    | 92.6 | 3   | 5.6  | 1   | 1.9  |
|      | 45歳 | 2    | 28  | 30  | 29    | 96.7 | 1   | 3.3  | 0   | 0.0  |
|      | 50歳 | 1    | 58  | 59  | 54    | 91.5 | 4   | 6.8  | 1   | 1.7  |
|      | 55歳 | 0    | 81  | 81  | 54    | 66.7 | 16  | 19.8 | 11  | 13.6 |
|      | 60歳 | 5    | 160 | 165 | 60    | 36.4 | 39  | 23.6 | 66  | 40.0 |
|      | 65歳 | 20   | 136 | 156 | 42    | 26.9 | 39  | 25.0 | 75  | 48.1 |
|      | 70歳 | 27   | 149 | 176 | 46    | 26.1 | 37  | 21.0 | 93  | 52.8 |
| 計    |     | 58   | 704 | 762 | 373   | 49.0 | 141 | 18.5 | 248 | 32.5 |

※国及び県の補助金は、女性のみが対象

## 《考 察》

今年度より、判定基準が年代別で変化する方法から年代に関係なく統一基準になったため、要医療判定者が昨年度の 55 人（6.8%）から 248 人（32.5%）と大幅に増加した。特に 65 歳以上では受診者の約半数が要医療判定となっている。要医療判定者には、会場で一人ずつ結果と精密検査について説明している。その中で、必要な方には骨粗しょう症のリーフレットを渡し、食事や生活の簡単なアドバイスをを行っている。今後も予防的な観点から検診周知とともに、予防啓発の強化に努めていきたい。

## (4) 肝炎ウイルス検診

|       |             |
|-------|-------------|
| 根拠法令等 | 健康増進法第19条の2 |
|-------|-------------|

### 《目 的》

肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け、医療機関に受診することにより、肝炎に関する健康障害の回避、症状の軽減、進行の遅延を目的とする。

### 《内 容》

#### ①対象者

- ・市内在住の40歳のかた（集団・個別）
- ・市内在住の41歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがないかた（集団のみ）

#### ②実施方法

- ア 集団検診 （8月24日・10月5日、市内2会場延べ2日間） 予約制
- イ 個別検診 （6月1日～11月30日、市内42医療機関）

#### ③周知方法

- ア 個人通知（平成23年3月31日時点で40歳になるかた）
- イ 「こうほう佐倉」、ホームページに掲載し周知啓発を実施。

### 《実 績》

#### ①過去5年間の実施状況

|      | 受診者数<br>(人) | C型陽性 |     | B型陽性 |     |
|------|-------------|------|-----|------|-----|
|      |             | (人)  | (%) | (人)  | (%) |
| 22年度 | 297         | 1    | 0.3 | 3    | 1.0 |
| 21年度 | 336         | 0    | 0.0 | 3    | 0.9 |
| 20年度 | 210         | 3    | 1.4 | 0    | 0.0 |
| 19年度 | 399         | 1    | 0.3 | 2    | 0.5 |
| 18年度 | 2,442       | 9    | 0.4 | 27   | 1.1 |

※H19年度までは基本健康診査と併せて実施

#### ②B型肝炎、C型肝炎検査判定結果

| 年代    | C型肝炎受診者 | 判定<br>「現在C型肝炎に感染している可能性が極めて高い」 | B型肝炎受診者 | 陽性 |
|-------|---------|--------------------------------|---------|----|
| 40    | 72      | 0                              | 72      | 0  |
| 41～44 | 25      | 0                              | 25      | 0  |
| 45～49 | 24      | 0                              | 24      | 0  |
| 50～54 | 9       | 0                              | 9       | 0  |
| 55～59 | 18      | 0                              | 18      | 0  |
| 60～64 | 59      | 0                              | 59      | 1  |
| 65～69 | 57      | 1                              | 57      | 2  |
| 70～74 | 24      | 0                              | 24      | 0  |
| 75～79 | 6       | 0                              | 6       | 0  |
| 80歳以上 | 3       | 0                              | 3       | 0  |
| 個別    | 23      | 0                              | 23      | 0  |
| 集団    | 274     | 1                              | 274     | 3  |
| 合計    | 297     | 1                              | 297     | 3  |

## 《考 察》

国の医療制度改革により、平成 20 年度から健康増進法に位置付けられた。

検診方法は、単独の検診として実施している。

受診者は、平成 21 年度の 336 人と比べ 39 人の減少であった。

今後も、肝炎ウイルス検診を受けていないかたに、検診の機会を提供していく。



## 5. 各種がん検診等

| 根拠法令等                                          | 健康増進法第 19 条の 2                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら 21 目標値<br>平成18年度 (市の現状) →<br>平成24年度 (目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診を受ける人の増加<br/>胃がん検診 19.9% → 50% 子宮がん検診 20.1% → 50%<br/>乳がん検診 12.1% → 50% 肺がん検診 24.5% → 50%<br/>大腸がん検診 20.2% → 50%</li> <li>がん検診の精密検査を受ける人の増加<br/>胃がん検診 86.4% → 90% 子宮がん検診 78.4% → 90%<br/>乳がん検診 90.1% → 95% 肺がん検診 74.6% → 90%<br/>大腸がん検診 81.9% → 90%</li> </ul> |

### (1) 胃がん検診

#### 《目 的》

胃がんの早期発見、早期治療を目的に行う。

#### 《内 容》

##### ①対象者

市内在住の 40 歳以上で職場等において検診を受ける機会のないかた

##### ②実施方法

###### ア 集団検診

検診事業者に委託し実施

- ・ 期間 6 月 5 日～11 月 29 日、市内 19 会場延べ 57 日間実施
- ・ 費用 900 円 (税込み)
- ・ 検診車両での胃部間接撮影を実施

###### イ 個別検診

- ・ 期間 6 月 1 日～11 月 30 日、市内 31 医療機関で実施
- ・ 費用 3,000 円 (税込み)
- ・ 胃部直接撮影を実施 (医師に相談の上、胃内視鏡を実施する場合あり)

##### ③周知方法

###### ア 個人通知

市内在住の 40 歳以上で、下記に該当するかた

- ・ 40・50・60・70 歳のかた
- ・ 平成 21 年度に市の健診(検診)を受診したかた
- ・ 市の特定健診(健康診査)の対象となるかた
- ・ 40 歳以上の生活保護世帯のかた

###### イ 「こうほう佐倉」に掲載、ホームページに掲載し周知啓発を実施

## 《実 績》

### ①過去 5 年間の実施状況

| 年度   | 対象者数   | 受診者数<br>(人) | 受診率<br>(%) |
|------|--------|-------------|------------|
| 22年度 | 46,442 | 12,698      | 27.3       |
| 21年度 | 46,442 | 12,009      | 25.9       |
| 20年度 | 46,442 | 12,200      | 26.3       |
| 19年度 | 46,442 | 8,610       | 18.5       |
| 18年度 | 42,908 | 8,545       | 19.9       |

※対象者の算出方法を平成 19 年度より改定

### ②検診実施結果

| 検診<br>方法 | 対象者数<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精検者<br>(人) | 要精検率<br>(%) | 精検受診者<br>(人) | がん発見者<br>(人) |
|----------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 集団       | 46,442      | 7,476      | 16.1       | 225         | 3.0         | 201          | 3            |
| 個別       |             | 5,222      | 11.2       | 417         | 8.0         | 387          | 5            |
| 計        | 46,442      | 12,698     | 27.3       | 642         | 5.1         | 588          | 8            |

### ③性別、年代別受診状況及び精密検査受診状況

| 性別 | 年代<br>人 | 対象者数<br>人 | 受 診 者 数<br>人 % |      | 検診結果         |      |              |      | 精密検査受診状況    |       |           |         |
|----|---------|-----------|----------------|------|--------------|------|--------------|------|-------------|-------|-----------|---------|
|    |         |           |                |      | 異常認めず<br>人 % |      | 要精密検査<br>人 % |      | 受診者数<br>人 % |       | 未受診者<br>人 | がん<br>人 |
|    |         |           |                |      |              |      |              |      |             |       |           |         |
| 男性 | 40～44   | 392       | 142            | 36.2 | 139          | 97.9 | 3            | 2.1  | 2           | 66.7  | 1         | 0       |
|    | 45～49   | 379       | 85             | 22.4 | 82           | 96.5 | 3            | 3.5  | 3           | 100.0 | 0         | 0       |
|    | 50～54   | 514       | 107            | 20.8 | 103          | 96.3 | 4            | 3.7  | 3           | 75.0  | 1         | 0       |
|    | 55～59   | 870       | 168            | 19.3 | 160          | 95.2 | 8            | 4.8  | 7           | 87.5  | 1         | 0       |
|    | 60～64   | 2,798     | 606            | 21.7 | 578          | 95.4 | 28           | 4.6  | 24          | 85.7  | 4         | 0       |
|    | 65～69   | 3,551     | 1,359          | 38.3 | 1,293        | 95.1 | 66           | 4.9  | 59          | 89.4  | 7         | 2       |
|    | 70～74   | 2,986     | 1,396          | 46.8 | 1,296        | 92.8 | 100          | 7.2  | 93          | 93.0  | 7         | 2       |
|    | 75～79   | 2,126     | 829            | 39.0 | 773          | 93.2 | 56           | 6.8  | 49          | 87.5  | 7         | 0       |
|    | 80歳以上   | 1,928     | 364            | 18.9 | 332          | 91.2 | 32           | 8.8  | 29          | 90.6  | 3         | 1       |
|    | 小計      | 15,544    | 5,056          | 32.5 | 4,756        | 94.1 | 300          | 5.9  | 269         | 89.7  | 31        | 5       |
| 女性 | 40～44   | 1,998     | 370            | 18.5 | 366          | 98.9 | 4            | 1.1  | 3           | 75.0  | 1         | 0       |
|    | 45～49   | 2,021     | 306            | 15.1 | 293          | 95.8 | 13           | 4.2  | 13          | 100.0 | 0         | 0       |
|    | 50～54   | 2,981     | 374            | 12.5 | 362          | 96.8 | 12           | 3.2  | 10          | 83.3  | 2         | 0       |
|    | 55～59   | 4,437     | 657            | 14.8 | 627          | 95.4 | 30           | 4.6  | 28          | 93.3  | 2         | 0       |
|    | 60～64   | 5,013     | 1,607          | 32.1 | 1,541        | 95.9 | 66           | 4.1  | 65          | 98.5  | 1         | 1       |
|    | 65～69   | 4,259     | 1,724          | 40.5 | 1,653        | 95.9 | 71           | 4.1  | 67          | 94.4  | 4         | 0       |
|    | 70～74   | 3,430     | 1,385          | 40.4 | 1,303        | 94.1 | 82           | 5.9  | 77          | 93.9  | 5         | 0       |
|    | 75～79   | 2,717     | 810            | 29.8 | 770          | 95.1 | 40           | 4.9  | 37          | 92.5  | 3         | 2       |
|    | 80歳以上   | 4,042     | 409            | 10.1 | 385          | 94.1 | 24           | 5.9  | 19          | 79.2  | 5         | 0       |
|    | 小計      | 30,898    | 7,642          | 24.7 | 7,300        | 95.5 | 342          | 4.5  | 319         | 93.3  | 23        | 3       |
| 男性 | 個別      | 15,544    | 1,903          | 32.5 | 1,707        | 89.7 | 196          | 10.3 | 180         | 91.8  | 16        | 2       |
|    | 集団      |           | 3,153          |      | 3,049        | 96.7 | 104          | 3.3  | 89          | 85.6  | 15        | 3       |
| 女性 | 個別      | 30,898    | 3,319          | 24.7 | 3,098        | 93.3 | 221          | 6.7  | 207         | 93.7  | 14        | 3       |
|    | 集団      |           | 4,323          |      | 4,202        | 97.2 | 121          | 2.8  | 112         | 92.6  | 9         | 0       |
| 合計 |         | 46,442    | 12,698         | 27.3 | 12,056       | 94.9 | 642          | 5.1  | 588         | 91.6  | 54        | 8       |

## 《考 察》

受診者は、21年度の12,009人と比べ689人増加し、受診率では1.4ポイントの増加であった。

集団検診の受診者は、21年度の7,235人に比べ241人の増加、個別検診の受診者は、21年度の4,774人に比べ448人の増加となった。

集団検診においては、20年度から開始となった『特定健診』と各種がん検診(胃・大腸・胸部レントゲン)の同時実施によって受診者の利便性を考慮した実施体制に取り組んでいる。初年度の20年度は受診者の大幅な増加であったが、21・22年度は横ばいの傾向となっている。がん検診は、国が目標値として50%の受診率を示しており、『健康さくら21』でも同じ受診率を目指している。様々な場面で検診受診勧奨のPRをし、受診者の増加を目指したい。

一次検診結果で、精密検査が必要と判断された方のうち8人の方ががんであった。男性は65歳以上、女性は60歳以上の方にがんが発見された。

精密検査の未受診者には、毎年、年度末に個別通知をし、受診状況の確認と未受診の場合は受診勧奨を実施している。精密検査の受診率は91.6%で前年度比1.1ポイントの増加であった。

検診会場でのPRや個別の受診勧奨などを引き続き実施し、受診行動へつなげたい。

## (2) 子宮がん検診

### 《目 的》

子宮頸部がんの早期発見、早期治療を目的に行う。

### 《内 容》

#### ① 対象者

- 1) 市内在住の20歳以上の偶数年齢で、検診を受ける機会のない女性
- 2) 女性特有のがん検診推進事業対象者

#### ② 実施方法

##### ア 集団検診

検診業者に委託し実施

- ・期間 7月5日～12月2日、6会場延べ6日間実施
- ・費用 1,000円(税込み)
- ・検診車輛での子宮頸部細胞診を実施

##### イ 個別検診

- ・期間 6月1日～11月30日、市内7医療機関で実施
- ・費用 2,000円(税込み)
- ・子宮頸部細胞診を実施

#### ③ 周知方法

##### ア 個人通知

市内在住の20歳以上の偶数年齢の女性で、下記に該当するかた

- ・ 20・30・40・50・60・70歳のかた
- ・ 平成21年度に市の健診(検診)を受診したかた
- ・ 市の特定健診(健康診査)の対象になるかた
- ・ 平成20年度に市の子宮がん検診を受診したかた
- ・ 40歳以上の生活保護世帯のかた
- ・ 女性特有のがん検診推進事業対象者のかた

##### イ 「こうほう佐倉」、ホームページに掲載

##### ウ 市立幼稚園、保育園の保護者に検診受診勧奨PRのちらしを配布

### 《実 績》

#### ①過去5年間の実施状況

| 年度   | 対象者<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) |
|------|------------|------------|------------|
| 22年度 | 19,821     | 3,620      | 18.3       |
| 21年度 | 19,821     | 3,463      | 17.5       |
| 20年度 | 19,821     | 2,918      | 14.7       |
| 19年度 | 19,821     | 2,913      | 14.7       |
| 18年度 | 13,968     | 2,806      | 20.1       |

※対象者の算出方法を平成19年度より改定

## ②検診実施結果

| 検診方法 | 対象者数<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精検者<br>(人) | 要精検率<br>(%) | 精検受診者<br>(人) | がん発見者<br>(人) |
|------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 集団   | 19,821      | 1,507      | 7.6        | 21          | 1.4         | 20           | 4            |
| 個別   |             | 2,113      | 10.7       | 25          | 1.2         | 22           | 2            |
| 計    | 19,821      | 3,620      | 18.3       | 46          | 1.3         | 42           | 6            |

## ③年代別受診状況及び精密検査受診状況

| 年代<br>歳 | 対象者数<br>人 | 受診者数  |      | 検診結果  |       |       |     | 精密検査受診状況 |       |           |         |
|---------|-----------|-------|------|-------|-------|-------|-----|----------|-------|-----------|---------|
|         |           |       |      | 異常認めず |       | 要精密検査 |     | 受診者数     |       | 未受診者<br>人 | がん<br>人 |
|         |           | 人     | %    | 人     | %     | 人     | %   | 人        | %     |           |         |
| 20～24   | 966       | 78    | 8.1  | 77    | 98.7  | 1     | 1.3 | 1        | 100.0 | 0         | 0       |
| 25～29   | 807       | 224   | 27.8 | 217   | 96.9  | 7     | 3.1 | 6        | 85.7  | 1         | 0       |
| 30～34   | 1,311     | 428   | 32.6 | 418   | 97.7  | 10    | 2.3 | 9        | 90.0  | 1         | 1       |
| 35～39   | 1,288     | 440   | 34.2 | 431   | 98.0  | 9     | 2.0 | 9        | 100.0 | 0         | 2       |
| 40～44   | 999       | 500   | 50.1 | 488   | 97.6  | 12    | 2.4 | 11       | 91.7  | 1         | 1       |
| 45～49   | 1,011     | 140   | 13.8 | 139   | 99.3  | 1     | 0.7 | 1        | 100.0 | 0         | 1       |
| 50～54   | 1,490     | 258   | 17.3 | 257   | 99.6  | 1     | 0.4 | 1        | 100.0 | 0         | 0       |
| 55～59   | 2,219     | 238   | 10.7 | 238   | 100.0 | 0     | 0.0 | 0        | 0.0   | 0         | 0       |
| 60～64   | 2,506     | 531   | 21.2 | 527   | 99.2  | 4     | 0.8 | 4        | 100.0 | 0         | 1       |
| 65～69   | 2,129     | 323   | 15.2 | 323   | 100.0 | 0     | 0.0 | 0        | 0.0   | 0         | 0       |
| 70～74   | 1,715     | 336   | 19.6 | 335   | 99.7  | 1     | 0.3 | 0        | 0.0   | 1         | 0       |
| 75～79   | 1,359     | 86    | 6.3  | 86    | 100.0 | 0     | 0.0 | 0        | 0.0   | 0         | 0       |
| 80歳以上   | 2,021     | 38    | 1.9  | 38    | 100.0 | 0     | 0.0 | 0        | 0.0   | 0         | 0       |
| 小計      | 19,821    | 3,620 | 18.3 | 3,574 | 98.7  | 46    | 1.3 | 42       | 91.3  | 4         | 6       |
| 個別      | 19,821    | 2,113 | 18.3 | 2,088 | 98.8  | 25    | 1.2 | 22       | 88.0  | 3         | 2       |
| 集団      |           | 1,507 |      | 1,486 | 98.6  | 21    | 1.4 | 20       | 95.2  | 1         | 4       |
| 合計      | 19,821    | 3,620 | 18.3 | 3,574 | 98.7  | 46    | 1.3 | 42       | 91.3  | 4         | 6       |

※受診者数は無料クーポン券対象者を含む

## 《考 察》

受診者は、平成 21 年度の 3,463 人と比べ 157 人増加し、受診率では 0.8 ポイントの微増となった。

子宮がんの発見数は、昨年度は 1 名の発見であったが、今年度は 6 名発見されている。

年代別で見ると 30 代で 3 人、40 代で 2 人となっており、国と同様 30 代からの若い世代の罹患率が増加している。

今年度は、市内の保育園・幼稚園の保護者に対し受診勧奨のチラシを配布しており、今後も子育て世代の若年受診者の増加を図ることが重要であることから、児童・生徒などの保護者の方々への周知を継続して取り組んでいく。

## 女性特有のがん検診推進事業

国の経済危機対策における未来への投資に繋がる子育て支援の一環として、平成 21 年度補正予算に「女性特有のがん検診推進事業」が創設された。

平成 22 年度からはがん対策推進事業の一環として、女性特有のがん検診推進事業が新規事業として位置づけられた。

平成 22 年 3 月 30 日 厚生労働省健康局長通知「平成 22 年度女性特有のがん検診推進事業実施要綱」（平成 22 年 4 月 1 日より実施）

### 《目 的》

この事業は、市町村及び特別区が実施するがん検診において、特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となるがん検診無料クーポン券を送付し女性特有のがん検診における受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、もって健康保持及び増進を図るものとする。

### 《内 容》

#### ① 対象者

平成 22 年 4 月 20 日の時点での下記の年齢のかた

##### ● 子宮頸がん検診無料クーポン券配布対象者の生年月日一覧表

| 年 齢 | 生 年 月 日                         |
|-----|---------------------------------|
| 20歳 | 平成元（1989）年4月2日～平成2（1990）年4月1日   |
| 25歳 | 昭和59（1984）年4月2日～昭和60（1985）年4月1日 |
| 30歳 | 昭和54（1979）年4月2日～昭和55（1980）年4月1日 |
| 35歳 | 昭和49（1974）年4月2日～昭和50（1975）年4月1日 |
| 40歳 | 昭和44（1969）年4月2日～昭和45（1970）年4月1日 |

#### ② 実施方法

##### ア 集団検診

検診業者に委託し実施

- ・期間 8月7日～12月2日、5会場延べ5日間実施
- ・費用 無料
- ・検診車輛での子宮頸部細胞診を実施

##### イ 個別検診

- ・期間 8月1日～11月30日、市内7医療機関で実施
- ・費用 無料
- ・子宮頸部細胞診を実施

#### ③ 周知方法

##### ア 個人通知

対象者全員に個人通知

##### イ 「こうほう佐倉」、ホームページに掲載

## 《実 績》

### ① 検診実施結果

| 検診方法 | 対象者数<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精検者<br>(人) | 要精検率<br>(%) | 精検受診者<br>(人) | がん発見者<br>(人) |
|------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 集団   | 5,696       | 355        | 6.2        | 9           | 2.5         | 8            | 2            |
| 個別   |             | 668        | 11.7       | 15          | 2.2         | 14           | 1            |
| 計    | 5,696       | 1,023      | 18.0       | 24          | 2.3         | 22           | 3            |

### ② 年代別受診状況及び精密検査受診状況

| 年代  | 対象者数<br>人 | 受診者数  |      | 検診結果  |       |       |     | 精密検査受診状況 |       |           |         |
|-----|-----------|-------|------|-------|-------|-------|-----|----------|-------|-----------|---------|
|     |           |       |      | 異常認めず |       | 要精密検査 |     | 受診者数     |       | 未受診者<br>人 | がん<br>人 |
|     |           | 人     | %    | 人     | %     | 人     | %   | 人        | %     |           |         |
| 20歳 | 942       | 59    | 6.3  | 59    | 100.0 | 0     | 0.0 | 0        | 0.0   | 0         | 0       |
| 25歳 | 1,127     | 199   | 17.7 | 192   | 96.5  | 7     | 3.5 | 6        | 85.7  | 1         | 0       |
| 30歳 | 1,061     | 198   | 18.7 | 193   | 97.5  | 5     | 2.5 | 5        | 100.0 | 0         | 1       |
| 35歳 | 1,295     | 339   | 26.2 | 331   | 97.6  | 8     | 2.4 | 8        | 100.0 | 0         | 2       |
| 40歳 | 1,271     | 228   | 17.9 | 224   | 98.2  | 4     | 1.8 | 3        | 75.0  | 1         | 0       |
| 小計  | 5,696     | 1,023 | 18.0 | 999   | 97.7  | 24    | 2.3 | 22       | 91.7  | 2         | 3       |
| 個別  | 5,696     | 668   | 18.0 | 653   | 97.8  | 15    | 2.2 | 14       | 93.3  | 1         | 1       |
| 集団  |           | 355   |      | 346   | 97.5  | 9     | 2.5 | 8        | 88.9  | 1         | 2       |
| 合計  | 5,696     | 1,023 | 18.0 | 999   | 97.7  | 24    | 2.3 | 22       | 91.7  | 2         | 3       |

## 《考 察》

クーポン券対象者が含まれる 20 歳～44 歳の子宮がん検診総受診者数 1,670 人のうち、この事業の対象者は 1,023 人（61.3%）であった。各年代別受診者のうちクーポン対象者の占める割合は、20 歳～24 歳 75.6%、25 歳～29 歳 88.8%、30 歳～34 歳 46.3%、35 歳～39 歳 77.0%、40 歳～44 歳 45.6%となっている。特に 20 代全体で見ると、クーポン対象者が受診者の 85%となっており、これまで関心の薄かった若い年代の方の検診受診を促す良い機会となっている。

また、今回がんが発見された方は、30 代の若い年代の方であり、かつ市の子宮がん検診が初めての方となっている。子宮がんは、がんになる前の「前がん病変」が分かる唯一の検診のため、異常がなくても継続して受診することが大切である。無料クーポン券受診者には、今回だけの受診とせず、継続受診の重要性を伝えていく。

### (3) 乳がん検診

#### 《目 的》

乳がんの早期発見、早期治療を目的に行う。

#### 《内 容》

##### ＜マンモグラフィ＞

###### ① 対象者

- 1) 市内在住の 40 歳以上で、平成 21 年度に乳がん集団検診を受診しておらず、検診を受ける機会のない女性
- 2) 女性特有のがん検診推進事業対象者

###### ②実施方法

集団検診のみ

検診業者に委託し実施

- ・ 期間 12 月 10 日～3 月 3 日、4 会場延べ 15 日間
- ・ 費用 1,000 円（税込み）
- ・ 検診車輦でのマンモグラフィを実施

##### ＜超音波検査＞

###### ア 集団検診

###### ①対象者

市内在住の 30 歳以上 39 歳以下で、平成 21 年度に乳がん集団検診を受診しておらず、検診を受ける機会のない女性

###### ②実施方法

検診業者に委託し実施

- ・ 期間 12 月 21 日～2 月 10 日、4 会場延べ 5 日間
- ・ 費用 1,000 円（税込み）
- ・ 検診車輦での超音波検査を実施

###### イ 個別検診

###### ①対象者

市内在住の 30 歳以上で、検診を受ける機会のない女性

###### ②実施方法

- ・ 期間 6 月 1 日から 11 月 30 日、市内 15 医療機関で実施
- ・ 費用 2,000 円（税込み）
- ・ 超音波検査を実施

#### 周知方法

##### ア 個人通知

市内在住の 30 歳以上の女性で、下記に該当するかた

- ・ 30・40・50・60・70 歳のかた
- ・ 平成 21 年度に市の健診(検診)を受診したかた
- ・ 市の特定健診(健康診査)の対象になるかた
- ・ 40 歳以上の生活保護世帯のかた



- ・ 女性特有のがん検診推進事業対象者のかた
- イ 「こうほう佐倉」、ホームページに掲載し周知啓発を実施。

## 《実 績》

### ① 過去 5 年間の実施状況

| 年度   | 対象者（人） | 受診者（人） | 受診率（％） |
|------|--------|--------|--------|
| 22年度 | 36,095 | 6,055  | 16.8   |
| 21年度 | 36,095 | 5,975  | 16.6   |
| 20年度 | 36,095 | 5,331  | 14.8   |
| 19年度 | 36,095 | 4,471  | 12.4   |
| 18年度 | 25,733 | 3,287  | 12.8   |

※対象者の算出方法を平成 19 年度より改定

### マンモグラフィ（再掲）過去 3 年間実施状況

| 年度   | 対象者（人） | 受診者（人） | 受診率（％） |
|------|--------|--------|--------|
| 22年度 | 30,898 | 3,247  | 10.5   |
| 21年度 | 30,898 | 3,412  | 11.0   |
| 20年度 | 30,898 | 2,950  | 9.5    |

※国の乳がん検診は、「40 歳以上のマンモグラフィ」の受診者が対象

### ②年齢別検診実施結果及び精密検査受診状況

| 性別 | 年代<br>歳 | 対象者数<br>人 | 受 診 者 数 |      | 検診結果  |      |       |     | 精密検査受診状況 |       |           |         |
|----|---------|-----------|---------|------|-------|------|-------|-----|----------|-------|-----------|---------|
|    |         |           |         |      | 異常認めず |      | 要精密検査 |     | 受診者数     |       | 未受診者<br>人 | がん<br>人 |
|    |         |           | 人       | ％    | 人     | ％    | 人     | ％   | 人        | ％     |           |         |
| 女性 | 30～34   | 2,621     | 356     | 13.6 | 338   | 94.9 | 18    | 5.1 | 17       | 94.4  | 1         | 0       |
|    | 35～39   | 2,576     | 420     | 16.3 | 404   | 96.2 | 16    | 3.8 | 16       | 100.0 | 0         | 1       |
|    | 40～44   | 1,998     | 658     | 32.9 | 616   | 93.6 | 42    | 6.4 | 38       | 90.5  | 4         | 0       |
|    | 45～49   | 2,021     | 512     | 25.3 | 480   | 93.8 | 32    | 6.3 | 31       | 96.9  | 1         | 2       |
|    | 50～54   | 2,981     | 498     | 16.7 | 472   | 94.8 | 26    | 5.2 | 23       | 88.5  | 3         | 1       |
|    | 55～59   | 4,437     | 677     | 15.3 | 643   | 95.0 | 34    | 5.0 | 34       | 100.0 | 0         | 4       |
|    | 60～64   | 5,013     | 1146    | 22.9 | 1098  | 95.8 | 48    | 4.2 | 48       | 100.0 | 0         | 5       |
|    | 65～69   | 4,259     | 799     | 18.8 | 763   | 95.5 | 36    | 4.5 | 34       | 94.4  | 2         | 4       |
|    | 70～74   | 3,430     | 595     | 17.3 | 574   | 96.5 | 21    | 3.5 | 20       | 95.2  | 1         | 3       |
|    | 75～79   | 2,717     | 279     | 10.3 | 269   | 96.4 | 10    | 3.6 | 10       | 100.0 | 0         | 1       |
|    | 80歳以上   | 4,042     | 115     | 2.8  | 112   | 97.4 | 3     | 2.6 | 3        | 100.0 | 0         | 0       |
| 小計 |         | 36,095    | 6,055   | 16.8 | 5,769 | 95.3 | 286   | 4.7 | 274      | 95.8  | 12        | 21      |
| 個別 | 超音波     |           | 2,342   |      | 2,242 | 95.7 | 100   | 4.3 | 99       | 99.0  | 1         | 7       |
| 集団 | マンモグラフィ | 36,095    | 3,247   | 16.8 | 3,078 | 94.8 | 169   | 5.2 | 158      | 93.5  | 11        | 13      |
|    | 超音波     |           | 466     |      | 449   | 96.4 | 17    | 3.6 | 17       | 100.0 | 0         | 1       |
| 合計 |         | 36,095    | 6,055   | 16.8 | 5,769 | 95.3 | 286   | 4.7 | 274      | 95.8  | 12        | 21      |

※無料クーポン券対象者：超音波・マンモグラフィ重複受診者 17 人

## 《考 察》

受診者は、マンモグラフィ・超音波合わせると、平成 21 年度に比べ 80 人の増加で受診率は変化が

なかった。乳がんの発見数は 17 人から 21 人に増えている。がん発見者の年代を見ると、40 代後半から増えているが、受診者は 40 代前半の 32.9%をピークに、40 代後半から 50 代全般では他の年代に比べ受診率が低くなっている。多忙で検診を受けにくい世代であるが、乳がんが増える年代のため、今後も検診周知を図っていきたい。

#### <マンモグラフィ>

| 検診方法 | 対象者数<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精検者<br>(人) | 要精検率<br>(%) | 精検受診者<br>(人) | がん発見者<br>(人) |
|------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 集団のみ | 30,898      | 3,247      | 10.5       | 169         | 5.2         | 158          | 13           |

| 年代    | 受診者数<br>人 | 検診結果  |      |       |      | 精密検査受診状況 |       |      |    |
|-------|-----------|-------|------|-------|------|----------|-------|------|----|
|       |           | 異常認めず |      | 要精密検査 |      | 受診者数     |       | 未受診者 | がん |
|       |           | 人     | %    | 人     | %    | 人        | %     | 人    | 人  |
| 40～44 | 518       | 489   | 94.4 | 29    | 5.6  | 25       | 86.2  | 4    | 0  |
| 45～49 | 390       | 366   | 93.8 | 24    | 6.2  | 23       | 95.8  | 1    | 2  |
| 50～54 | 353       | 332   | 94.1 | 21    | 5.9  | 18       | 85.7  | 3    | 1  |
| 55～59 | 477       | 451   | 94.5 | 26    | 5.5  | 26       | 100.0 | 0    | 3  |
| 60～64 | 795       | 763   | 96.0 | 32    | 4.0  | 32       | 100.0 | 0    | 4  |
| 65～69 | 438       | 415   | 94.7 | 23    | 5.3  | 21       | 91.3  | 2    | 3  |
| 70～74 | 214       | 204   | 95.3 | 10    | 4.7  | 9        | 90.0  | 1    | 0  |
| 75～79 | 53        | 50    | 94.3 | 3     | 5.7  | 3        | 100.0 | 0    | 0  |
| 80歳以上 | 9         | 8     | 88.9 | 1     | 11.1 | 1        | 100.0 | 0    | 0  |
| 合計    | 3,247     | 3,078 | 94.8 | 169   | 5.2  | 158      | 93.5  | 11   | 13 |

#### <超音波検査>

| 検診方法 | 対象者数<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精検者<br>(人) | 要精検率<br>(%) | 精検受診者<br>(人) | がん発見者<br>(人) |
|------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 集団   | 28,823      | 466        | 1.6        | 17          | 3.6         | 17           | 1            |
| 個別   |             | 2,342      | 8.1        | 100         | 4.3         | 99           | 7            |
| 計    | 28,823      | 2,808      | 9.7        | 117         | 4.2         | 116          | 8            |

| 年代    | 受診者数<br>人 | 検診結果  |      |       |     | 精密検査受診状況 |       |      |    |
|-------|-----------|-------|------|-------|-----|----------|-------|------|----|
|       |           | 異常認めず |      | 要精密検査 |     | 受診者数     |       | 未受診者 | がん |
|       |           | 人     | %    | 人     | %   | 人        | %     | 人    | 人  |
| 30～34 | 356       | 338   | 94.9 | 18    | 5.1 | 17       | 94.4  | 1    | 0  |
| 35～39 | 420       | 404   | 96.2 | 16    | 3.8 | 16       | 100.0 | 0    | 1  |
| 40～44 | 140       | 127   | 90.7 | 13    | 9.3 | 13       | 100.0 | 0    | 0  |
| 45～49 | 122       | 114   | 93.4 | 8     | 6.6 | 8        | 100.0 | 0    | 0  |
| 50～54 | 145       | 140   | 96.6 | 5     | 3.4 | 5        | 100.0 | 0    | 0  |
| 55～59 | 200       | 192   | 96.0 | 8     | 4.0 | 8        | 100.0 | 0    | 1  |
| 60～64 | 351       | 335   | 95.4 | 16    | 4.6 | 16       | 100.0 | 0    | 1  |
| 65～69 | 361       | 348   | 96.4 | 13    | 3.6 | 13       | 100.0 | 0    | 1  |
| 70～74 | 381       | 370   | 97.1 | 11    | 2.9 | 11       | 100.0 | 0    | 3  |
| 75～79 | 226       | 219   | 96.9 | 7     | 3.1 | 7        | 100.0 | 0    | 1  |
| 80歳以上 | 106       | 104   | 98.1 | 2     | 1.9 | 2        | 0.0   | 0    | 0  |
| 小計    | 2,808     | 2,691 | 95.8 | 117   | 4.2 | 116      | 99.1  | 1    | 8  |
| 個別    | 2,342     | 2,242 | 95.7 | 100   | 4.3 | 99       | 99.0  | 1    | 7  |
| 集団    | 466       | 449   | 96.4 | 17    | 3.6 | 17       | 100.0 | 0    | 1  |
| 合計    | 2,808     | 2,691 | 95.8 | 117   | 4.2 | 116      | 99.1  | 1    | 8  |

## 女性特有のがん検診推進事業

国の経済危機対策における未来への投資に繋がる子育て支援の一環として、平成 21 年度補正予算に「女性特有のがん検診推進事業」が創設された。

平成 22 年度からはがん対策推進事業の一環として、女性特有のがん検診推進事業が新規事業として位置づけられた。

平成 22 年 3 月 30 日 厚生労働省健康局長通知「平成 22 年度女性特有のがん検診推進事業実施要綱」（平成 22 年 4 月 1 日より実施）

### 《目 的》

この事業は、市町村及び特別区が実施するがん検診において、特定の年齢に達した女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳及び検診費用が無料となるがん検診無料クーポン券を送付し、女性特有のがん検診における受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、もって健康保持及び増進を図るものとする。

### 《内 容》

#### ① 対象者

平成 22 年 4 月 20 日の時点での下記の年齢のかた

●乳がん検診無料クーポン券配布対象者の生年月日一覧表  
(マンモグラフィのみ対象)

| 年 齢 | 生 年 月 日                         |
|-----|---------------------------------|
| 40歳 | 昭和44（1969）年4月2日～昭和45（1970）年4月1日 |
| 45歳 | 昭和39（1964）年4月2日～昭和40（1965）年4月1日 |
| 50歳 | 昭和34（1959）年4月2日～昭和35（1960）年4月1日 |
| 55歳 | 昭和29（1954）年4月2日～昭和30（1955）年4月1日 |
| 60歳 | 昭和24（1949）年4月2日～昭和25（1950）年4月1日 |

#### ②実施方法

集団検診のみ

検診業者に委託し実施

- ・期間 12月10日～3月3日、4会場延べ15日間
- ・費用 無料
- ・検診車輻でのマンモグラフィを実施

### 《実 績》

| 検診方法 | 対象者数<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精検者<br>(人) | 要精検率<br>(%) | 精検受診者<br>(人) | がん発見者<br>(人) |
|------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 集団のみ | 6,628       | 1,177      | 17.8       | 76          | 6.5         | 73           | 3            |

| 年齢<br>歳 | 対象者数<br>人 | 受診者数  |      | 検診結果  |      |       |     | 精密検査受診状況 |       |           |         |
|---------|-----------|-------|------|-------|------|-------|-----|----------|-------|-----------|---------|
|         |           |       |      | 異常認めず |      | 要精密検査 |     | 受診者数     |       | 未受診者<br>人 | がん<br>人 |
|         |           | 人     | %    | 人     | %    | 人     | %   | 人        | %     |           |         |
| 40      | 1,271     | 231   | 18.2 | 215   | 93.1 | 16    | 6.9 | 15       | 93.8  | 1         | 0       |
| 45      | 1,114     | 217   | 19.5 | 199   | 91.7 | 18    | 8.3 | 17       | 94.4  | 1         | 1       |
| 50      | 1,098     | 159   | 14.5 | 149   | 93.7 | 10    | 6.3 | 9        | 90.0  | 1         | 0       |
| 55      | 1,285     | 214   | 16.7 | 198   | 92.5 | 16    | 7.5 | 16       | 100.0 | 0         | 1       |
| 60      | 1,860     | 356   | 19.1 | 340   | 95.5 | 16    | 4.5 | 16       | 100.0 | 0         | 1       |
| 合計      | 6,628     | 1,177 | 17.8 | 1,101 | 93.5 | 76    | 6.5 | 73       | 96.1  | 3         | 3       |

### 《考 察》

対象となる各年代の乳がん検診(マンモグラフィ)受診者 2,533 人のうち無料クーポン券対象者は、1,177 人(46.5%)であった。各年代別受診者のうちクーポン対象者の占める割合は、40 歳～44 歳 44.6%、45 歳～49 歳 55.6%、50 歳～54 歳 45.0%、55 歳～59 歳 44.9%、60 歳～64 歳 44.8%となっており、45 歳～49 歳は受診者の約半数がクーポン利用者であったが、それ以外の年代は 40%台となっている。

がん発見者のうち、2 人は佐倉市の乳がん検診が初めての方であり、クーポン券が受診のきっかけになったと思われる。今後は異常がなかった方が継続して受診してもらえるよう働き掛けたい。

## （４）肺がん検診

### 《目 的》

肺がんの早期発見、早期治療を目的に行う。

### 《内 容》

#### ①対象者

市内在住の 40 歳以上で、検診を受ける機会のないかた

#### ②実施方法

##### ア 集団検診

検診事業者に委託し実施

- ・ 期間 6 月 5 日～11 月 29 日、市内 19 会場、57 日間実施
- ・ 費用 300 円（税込み）
- ・ 検診車輦での胸部間接撮影及び読影を実施

##### イ 個別検診

- ・ 期間 6 月 1 日～11 月 30 日、市内 40 医療機関
- ・ 費用 1,300 円（税込み）
- ・ 胸部直接撮影及び読影を実施

#### ③ 周知方法

##### ア 個人通知

市内在住の 40 歳以上で下記に該当するかた

- ・ 40・50・60・70 歳のかた
- ・ 平成 21 年度に市の健診(検診)を受診したかた
- ・ 市の特定健診(健康診査)の対象になるかた
- ・ 40 歳以上の生活保護世帯の方

イ 「こうほう佐倉」、ホームページに掲載し周知啓発を実施

### 《実 績》

#### ①過去 5 年間の実施状況

| 年度   | 対象者<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) |
|------|------------|------------|------------|
| 22年度 | 46,442     | 15,741     | 33.9       |
| 21年度 | 46,442     | 14,750     | 31.8       |
| 20年度 | 46,442     | 15,574     | 33.5       |
| 19年度 | 46,442     | 10,402     | 22.4       |
| 18年度 | 42,908     | 10,510     | 24.5       |

※対象者の算出方法を平成 19 年度より改定

#### ②検診実施結果

| 対象者 (人) |        | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精検者<br>(人) | 要精検率<br>(%) | 精検受診者<br>(人) | がん発見者<br>(人) |
|---------|--------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 集団検診    | 46,442 | 9,653      | 20.8       | 93          | 1.0         | 83           | 4            |
| 個別検診    |        | 6,088      | 13.1       | 178         | 2.9         | 153          | 1            |
| 計       | 46,442 | 15,741     | 33.9       | 271         | 1.7         | 236          | 5            |

### ③性別、年代別検診実施結果及び精密検査受診状況

| 性別  | 年代<br>歳 | 対象者数<br>人 | 受診者数   |      | 検 診 結 果 |       |       |     | 精密検査受診状況 |       |           |         |  |
|-----|---------|-----------|--------|------|---------|-------|-------|-----|----------|-------|-----------|---------|--|
|     |         |           |        |      | 異常認めず   |       | 要精密検査 |     | 受診者数     |       | 未受診者<br>人 | がん<br>人 |  |
|     |         |           | 人      | %    | 人       | %     | 人     | %   | 人        | %     |           |         |  |
| 男 性 | 40～44   | 392       | 166    | 42.3 | 166     | 100.0 | 0     | 0.0 | 0        | 0.0   | 0         | 0       |  |
|     | 45～49   | 379       | 120    | 31.7 | 120     | 100.0 | 0     | 0.0 | 0        | 0.0   | 0         | 0       |  |
|     | 50～54   | 514       | 120    | 23.3 | 119     | 99.2  | 1     | 0.8 | 0        | 0.0   | 1         | 0       |  |
|     | 55～59   | 870       | 189    | 21.7 | 188     | 99.5  | 1     | 0.5 | 0        | 0.0   | 1         | 0       |  |
|     | 60～64   | 2,798     | 711    | 25.4 | 704     | 99.0  | 7     | 1.0 | 6        | 85.7  | 1         | 0       |  |
|     | 65～69   | 3,551     | 1,592  | 44.8 | 1,577   | 99.1  | 15    | 0.9 | 13       | 86.7  | 2         | 1       |  |
|     | 70～74   | 2,986     | 1,639  | 54.9 | 1,604   | 97.9  | 35    | 2.1 | 32       | 91.4  | 3         | 0       |  |
|     | 75～79   | 2,126     | 1,018  | 47.9 | 984     | 96.7  | 34    | 3.3 | 31       | 91.2  | 3         | 1       |  |
|     | 80歳以上   | 1,928     | 485    | 25.2 | 465     | 95.9  | 20    | 4.1 | 13       | 65.0  | 7         | 0       |  |
|     | 小計      | 15,544    | 6,040  | 38.9 | 5,927   | 98.1  | 113   | 1.9 | 95       | 84.1  | 18        | 2       |  |
| 女 性 | 40～44   | 1,998     | 452    | 22.6 | 449     | 99.3  | 3     | 0.7 | 2        | 66.7  | 1         | 0       |  |
|     | 45～49   | 2,021     | 344    | 17.0 | 343     | 99.7  | 1     | 0.3 | 0        | 0.0   | 1         | 0       |  |
|     | 50～54   | 2,981     | 441    | 14.8 | 438     | 99.3  | 3     | 0.7 | 2        | 66.7  | 1         | 0       |  |
|     | 55～59   | 4,437     | 758    | 17.1 | 752     | 99.2  | 6     | 0.8 | 5        | 83.3  | 1         | 0       |  |
|     | 60～64   | 5,013     | 1,954  | 39.0 | 1,931   | 98.8  | 23    | 1.2 | 22       | 95.7  | 1         | 1       |  |
|     | 65～69   | 4,259     | 2,191  | 51.4 | 2,154   | 98.3  | 37    | 1.7 | 34       | 91.9  | 3         | 1       |  |
|     | 70～74   | 3,430     | 1,798  | 52.4 | 1,771   | 98.5  | 27    | 1.5 | 27       | 100.0 | 0         | 0       |  |
|     | 75～79   | 2,717     | 1,105  | 40.7 | 1,077   | 97.5  | 28    | 2.5 | 25       | 89.3  | 3         | 1       |  |
|     | 80歳以上   | 4,042     | 658    | 16.3 | 628     | 95.4  | 30    | 4.6 | 24       | 80.0  | 6         | 0       |  |
|     | 小計      | 30,898    | 9,701  | 31.4 | 9,543   | 98.4  | 158   | 1.6 | 141      | 89.2  | 17        | 3       |  |
| 男性  | 個別      | 15,544    | 2,158  | 38.9 | 2,085   | 96.6  | 73    | 3.4 | 60       | 82.2  | 13        | 1       |  |
|     | 集団      |           | 3,882  |      | 3,842   | 99.0  | 40    | 1.0 | 35       | 87.5  | 5         | 1       |  |
| 女性  | 個別      | 30,898    | 3,930  | 31.4 | 3,825   | 97.3  | 105   | 2.7 | 93       | 88.6  | 12        | 0       |  |
|     | 集団      |           | 5,771  |      | 5,718   | 99.1  | 53    | 0.9 | 48       | 90.6  | 5         | 3       |  |
| 合計  |         | 46,442    | 15,741 | 33.9 | 15,470  | 98.3  | 271   | 1.7 | 236      | 87.1  | 35        | 5       |  |

### 《考 察》

受診者は、21年度の14,750人と比べ991人増加し、受診率では2.1ポイントの増加であった。

集団検診の受診者は、21年度の9,335人に比べ318人、個別検診の受診者は、21年度の6,088人に比べ673人と共に増加となった。

集団検診においては、20年度から開始となった『特定健診』と各種がん検診(胃・大腸・胸部レントゲン)の同時実施によって受診者の利便性を考慮した実施体制に取り組んでいる。初年度の20年度は受診者の大幅な増加であったが、21・22年度は横ばいの傾向となっている。がん検診は、国が目標値として50%の受診率を示しており、『健康さくら21』でも同じ受診率を目指している。様々な場面で検診受診勧奨のPRをし、受診者の増加を目指したい。

一次検診結果で、精密検査が必要と判断された方のうち5人の方ががんであった。男性は65歳以上、女性は60歳以上の方にがんが発見された。

精密検査の未受診者には、毎年、年度末に個別通知をし、受診状況の確認と未受診の場合は受診勧奨を実施している。精密検査の受診率は87.1%で前年度比3.3ポイントの増加であった。

検診会場でのPRや個別の受診勧奨などを引き続き実施し、受診行動へつなげたい。

## （５）大腸がん検診

### 《目 的》

大腸がんの早期発見、早期治療を目的に行う。

### 《内 容》

#### ①対象者

市内在住の 40 歳以上で検診を受ける機会のないかた

#### ②実施方法

##### ア 集団検診

検診業者に委託し実施

- ・ 期間 6 月 5 日～11 月 29 日、市内 19 会場延べ 57 日間実施
- ・ 費用 400 円（税込み）
- ・ 便潜血反応 2 日法

##### イ 個別検診

- ・ 期間 6 月 1 日～11 月 30 日、市内 45 医療機関で実施
- ・ 費用 1,000 円（税込み）
- ・ 便潜血反応 2 日法

#### ③周知方法

##### ア 個人通知

市内在住の 40 歳以上で、下記に該当するかた

- ・ 40・50・60・70 歳のかた
- ・ 平成 21 年度に市の健診(検診)を受診したかた
- ・ 市の特定健診(健康診査)の対象になるかた
- ・ 40 歳以上の生活保護世帯の方

イ 「こうほう佐倉」に掲載、ホームページに掲載し周知啓発を実施

### 《実 績》

#### ①過去 5 年間の実施状況

| 年度   | 対象者<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) |
|------|------------|------------|------------|
| 22年度 | 46,442     | 13,542     | 29.2       |
| 21年度 | 46,442     | 12,673     | 27.3       |
| 20年度 | 46,442     | 12,499     | 26.9       |
| 19年度 | 46,442     | 9,459      | 20.4       |
| 18年度 | 42,908     | 8,662      | 20.2       |

※対象者の算出方法を平成 19 年度より改定

#### ②検診実施結果

|      | 対象者<br>(人) | 受診者<br>(人) | 受診率<br>(%) | 要精検者<br>(人) | 要精検率<br>(%) | 精検受診者<br>(人) | がん発見者<br>(人) |
|------|------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 集団検診 | 46,442     | 8,092      | 17.4       | 346         | 4.3         | 309          | 18           |
| 個別検診 |            | 5,450      | 11.7       | 373         | 6.8         | 303          | 16           |
| 計    | 46,442     | 13,542     | 29.2       | 719         | 5.3         | 612          | 34           |

### ③性別、年代別検診実施結果及び精密検査受診状況

| 性別 | 年代<br>歳 | 対象者数<br>人 | 受診者数   |      | 検診結果   |      |       |     | 精密検査受診状況 |       |           |         |
|----|---------|-----------|--------|------|--------|------|-------|-----|----------|-------|-----------|---------|
|    |         |           |        |      | 異常認めず  |      | 要精密検査 |     | 受診者数     |       | 未受診者<br>人 | がん<br>人 |
|    |         |           | 人      | %    | 人      | %    | 人     | %   | 人        | %     |           |         |
| 男性 | 40～44   | 392       | 133    | 33.9 | 131    | 98.5 | 2     | 1.5 | 2        | 100.0 | 0         | 0       |
|    | 45～49   | 379       | 85     | 22.4 | 83     | 97.6 | 2     | 2.4 | 1        | 50.0  | 1         | 0       |
|    | 50～54   | 514       | 100    | 19.5 | 96     | 96.0 | 4     | 4.0 | 2        | 50.0  | 2         | 0       |
|    | 55～59   | 870       | 160    | 18.4 | 149    | 93.1 | 11    | 6.9 | 9        | 81.8  | 2         | 0       |
|    | 60～64   | 2,798     | 600    | 21.4 | 565    | 94.2 | 35    | 5.8 | 29       | 82.9  | 6         | 1       |
|    | 65～69   | 3,551     | 1,381  | 38.9 | 1,294  | 93.7 | 87    | 6.3 | 75       | 86.2  | 12        | 7       |
|    | 70～74   | 2,986     | 1,426  | 47.8 | 1,329  | 93.2 | 97    | 6.8 | 87       | 89.7  | 10        | 10      |
|    | 75～79   | 2,126     | 851    | 40.0 | 789    | 92.7 | 62    | 7.3 | 52       | 83.9  | 10        | 6       |
|    | 80歳以上   | 1,928     | 418    | 21.7 | 383    | 91.6 | 35    | 8.4 | 24       | 68.6  | 11        | 1       |
|    | 小計      | 15,544    | 5,154  | 33.2 | 4,819  | 93.5 | 335   | 6.5 | 281      | 83.9  | 54        | 25      |
| 女性 | 40～44   | 1,998     | 378    | 18.9 | 367    | 97.1 | 11    | 2.9 | 10       | 90.9  | 1         | 0       |
|    | 45～49   | 2,021     | 324    | 16.0 | 313    | 96.6 | 11    | 3.4 | 10       | 90.9  | 1         | 1       |
|    | 50～54   | 2,981     | 385    | 12.9 | 371    | 96.4 | 14    | 3.6 | 13       | 92.9  | 1         | 0       |
|    | 55～59   | 4,437     | 709    | 16.0 | 684    | 96.5 | 25    | 3.5 | 23       | 92.0  | 2         | 1       |
|    | 60～64   | 5,013     | 1,720  | 34.3 | 1,659  | 96.5 | 61    | 3.5 | 52       | 85.2  | 9         | 3       |
|    | 65～69   | 4,259     | 1,911  | 44.9 | 1,841  | 96.3 | 70    | 3.7 | 64       | 91.4  | 6         | 1       |
|    | 70～74   | 3,430     | 1,530  | 44.6 | 1,442  | 94.2 | 88    | 5.8 | 78       | 88.6  | 10        | 2       |
|    | 75～79   | 2,717     | 936    | 34.4 | 875    | 93.5 | 61    | 6.5 | 54       | 88.5  | 7         | 1       |
|    | 80歳以上   | 4,042     | 495    | 12.2 | 452    | 91.3 | 43    | 8.7 | 27       | 62.8  | 16        | 0       |
|    | 小計      | 30,898    | 8,388  | 27.1 | 8,004  | 95.4 | 384   | 4.6 | 331      | 86.2  | 53        | 9       |
| 男性 | 個別      | 15,544    | 1,949  | 33.2 | 1,800  | 92.4 | 149   | 7.6 | 120      | 80.5  | 29        | 10      |
|    | 集団      |           | 3,205  |      | 3,019  | 94.2 | 186   | 5.8 | 161      | 86.6  | 25        | 15      |
| 女性 | 個別      | 30,898    | 3,501  | 27.1 | 3,277  | 93.6 | 224   | 6.4 | 183      | 81.7  | 41        | 6       |
|    | 集団      |           | 4,887  |      | 4,727  | 96.7 | 160   | 3.3 | 148      | 92.5  | 12        | 3       |
| 合計 |         | 46,442    | 13,542 | 29.2 | 12,823 | 94.7 | 719   | 5.3 | 612      | 85.1  | 107       | 34      |

### 《考 察》

受診者は、21年度の12,673人と比べ869人増加し、受診率では1.9ポイントの増加であった。

集団検診の受診者は、21年度の7,720人に比べ372人の増加、個別検診の受診者は、21年度の4,953人に比べ497人の減少となった。

集団検診においては、20年度から開始となった『特定健診』と各種がん検診(胃・大腸・胸部レントゲン)の同時実施によって受診者の利便性を考慮した実施体制に取り組んでいる。初年度の20年度は受診者の大幅な増加であったが、21・22年度は横ばいの傾向となっている。がん検診は、国が目標値として50%の受診率を示しており、『健康さくら21』でも同じ受診率を目指している。様々な場面で検診受診勧奨のPRをし、受診者の増加を目指したい。

一次検診結果で精密検査が必要と判断された方のうち34の方ががんであった。男性は65歳以上、女性は40～70歳代の各年代に大腸がんが発見されていた。

精密検査の未受診者には、毎年、年度末に個別通知をし、受診状況の確認と未受診の場合は受診勧奨を実施している。精密検査の受診率は85.1%で2.2ポイントの減少であった。精密検査未受診者は他のがん検診と比べ107人が多い。

検診会場でのPRや個別の受診勧奨などを引き続き実施し、受診行動へつなげたい。



## 6. 訪問指導

| 根拠法令等                                  | 健康増進法第17条第1項                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標<br>平成18年度(市の現状) → 平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断の結果、異常があったら、定期的な医療受診等の対応ができる人の増加</li> <li>「医療機関の受診等」をしている人 <ul style="list-style-type: none"> <li>高血糖 57.3% → 100%</li> <li>高血圧 69.6% → 100%</li> <li>高コレステロール 39.0% → 62%以上</li> </ul> </li> </ul> |

### 《目 的》

療養上の保健指導が必要であると認められる者又はその家族等に対して、保健師等が訪問し、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導又は支援を行い、これらの者の心身機能の低下を防止するとともに、健康の保持増進を図ることを目的とする。

### 《内 容》

対象者：健康管理上指導が必要と認められる佐倉市に住所を有する40歳から64歳までの者  
内容：

- ①家庭における療養方法に関すること。
- ②介護を要する状態になることの予防に関すること。
- ③家庭における機能訓練方法、住宅改造及び福祉用具の使用に関すること。
- ④家族介護を担う者の健康管理に関すること。
- ⑤生活習慣病の予防等に関すること。
- ⑥関係諸制度の活用方法等に関すること。
- ⑦認知症に関する正しい知識、緊急の場合の相談先等に関すること。
- ⑧その他健康管理上必要と認められること。

なお、医療保険による訪問看護、訪問機能訓練を受けている者、又は介護保険法による要介護・要支援者に対して訪問指導を実施する場合は、訪問看護、訪問機能訓練と重複する内容は行わないものとする。

訪問担当者：保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士

### 《実 績》

#### ①訪問指導の内訳と実延数

| 内 訳        | 実人数 | 延人数 | 延人数 内訳 |       |         |        |
|------------|-----|-----|--------|-------|---------|--------|
|            |     |     | 20 歳代  | 30 歳代 | 40～64 歳 | 65 歳以上 |
| 生活習慣病      | 4   | 4   | 0      | 0     | 2       | 2      |
| がん至急精密検査勧奨 | 16  | 16  | 0      | 3     | 9       | 4      |
| 精神疾患       | 1   | 2   | 2      | 0     | 0       | 0      |
| 歯科         | 8   | 8   | 0      | 0     | 2       | 6      |
| その他        | 0   | 0   | 0      | 0     | 0       | 0      |
| 計          | 29  | 30  | 2      | 3     | 13      | 12     |

②年度別訪問指導実績

| 年 度  | 実人数 | 延人数 |
|------|-----|-----|
| 18年度 | 9   | 17  |
| 19年度 | 19  | 36  |
| 20年度 | 5   | 12  |
| 21年度 | 47  | 52  |
| 22年度 | 29  | 30  |

※介護保険法の改正により、平成18年度から65歳以上の訪問指導については、包括支援センターで実施されることとなったため、実施件数は減少している。

《考 察》

訪問指導の主な内容は、特定健康診査及びがん検診の結果、至急受診が必要である者に対して受診勧奨するとともに、生活習慣病予防に関する指導を行うことである。平成21年度から平成22年度にかけて実施人数及び延べ人数が減少したのは、特定健康診査の結果、至急受診勧奨が必要な者に対し、保健師が電話による受診勧奨を実施し、訪問指導を実施するまでに至らなかったためである。今後は、特定健康診査の結果、至急受診が必要な者に対しては、訪問指導を実施し、受診勧奨するとともに、生活習慣病予防に関する知識の普及が図れるよう徹底したい。

## 7. 特定健診（健康診査）・特定保健指導

### （1）特定健診（健康診査）

| 根拠法令等                                 | 高齢者の医療の確保に関する法律           |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）→平成24年度（目標） | ・特定健診を受ける人の増加 → 65%（新規設定） |

#### 《目 的》

平成20年4月から、「高齢者の医療の確保に関する法律」により医療保険者（国民健康保険、協会けんぽ、健康保険組合等）に、40～74歳の被保険者・被扶養者を対象とした健康診査（特定健康診査）と保健指導（特定保健指導）の実施が義務付けられ、これまでの健康診査の目的である個々の病気の早期発見・早期治療から、メタボリックシンドロームに着目した健康診査となった。生活習慣病は、内臓脂肪の蓄積が原因となっていることが多いことから、メタボリックシンドロームに該当する方とその予備群の方について、運動や食生活等の生活習慣を見直すサポートを行うことにより、生活習慣病の予防につなげることを目的としている。

75歳以上の後期高齢者（65歳以上の障害認定者含む）には、生活習慣病を早期に発見して、重症化の予防を図るために、千葉県後期高齢者医療広域連合からの委託により、健康診査を実施する。

#### 《内 容》

##### ① 対象者

- ・40～74歳の佐倉市国民健康保険被保険者
- ・千葉県後期高齢者医療広域連合の被保険者

##### ② 実施方法

ア 集団健診 （6月5日～11月29日、市内19会場延べ57日間）

集団健診事業者に委託し、胃がん検診・大腸がん検診・胸部レントゲン検診と併せて実施。

イ 個別健診 （6月1日～11月30日、市内42協力医療機関）

##### ③ 周知方法

ア 個人通知

平成22年4月1日現在で、40～74歳（年齢の基準日は平成23年3月31日）の佐倉市国民健康保険被保険者及び千葉県後期高齢者医療広域連合の被保険者に健診受診券および案内文等送付

イ 「こうほう佐倉」やホームページの掲載、個別健診協力医療機関にPRポスターの掲示等により、周知啓発を実施

##### ④ 健診項目

ア 基本的な健診の項目（全ての対象者が受診する項目）

既往歴の調査・自覚症状及び他覚症状の有無の検査・身長、体重及び腹囲の検査

BMIの測定・血圧の測定・肝機能検査・血中脂質検査・血糖検査・尿検査

※後期高齢者医療広域連合の対象者には、腹囲測定は実施しない

イ 詳細な健診の項目（特定の対象者が受診する項目）

心電図検査・眼底検査

前年度の健診結果が基準に該当する者で医師の判断で必要とされた者

貧血検査

既往歴や自覚症状等があり医師の判断で必要とされた者

⑤ 受診者の費用負担

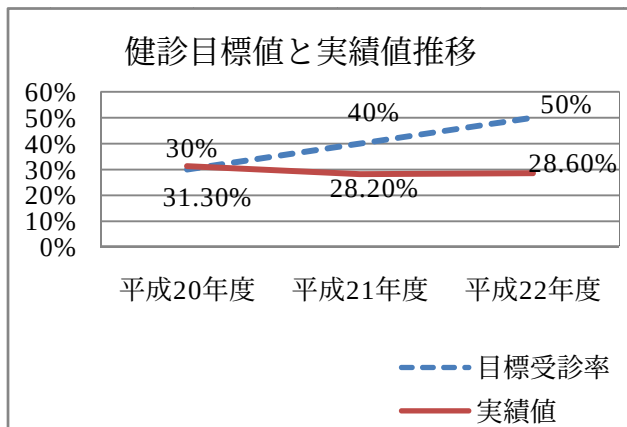
集団健診1,000円、個別健診2,000円とする。70歳以上と市民税非課税世帯、千葉県後期高齢者医療広域連合の被保険者については無料。

《実 績》

① 特定健康診査等実施計画における目標受診率と実績値推移

(H20～21年は法定報告実績値 平成22年度は年度途中の加入・脱退等の移動者を含む値)

| 年度<br>項目        | H20年   | H21年   | H22年   | H23年 | H24年 |
|-----------------|--------|--------|--------|------|------|
| 特定健康診査<br>目標受診率 | 30%    | 40%    | 50%    | 60%  | 65%  |
| 実績値             | 31.3%  | 28.2%  | 28.6%  | —    | —    |
| 対象者数            | 31,168 | 31,931 | 34,961 | —    | —    |
| 受診数             | 9,740  | 8,999  | 9,989  | —    | —    |



② 平成22年特定健診の性別・年齢別・受診方法別受診者数 平成23年7月現在

(市が実施した健診の受診者数と他の健診受領分含む)

|     |         |          |         |       | 受診方法別 |         |       |
|-----|---------|----------|---------|-------|-------|---------|-------|
|     | 年齢      | 対象者数     | 受診者数    | 受診率   | 個別    | 集団      | 人間ドック |
| 男性  | 40～44 歳 | 1,273 人  | 148 人   | 11.6% | 18    | 130 人   | 0 人   |
|     | 45～49 歳 | 1,011 人  | 110 人   | 10.9% | 22    | 85 人    | 3 人   |
|     | 50～54 歳 | 995 人    | 105 人   | 10.6% | 14    | 88 人    | 3 人   |
|     | 55～59 歳 | 1,372 人  | 165 人   | 12.0% | 36    | 125 人   | 4 人   |
|     | 60～64 歳 | 2,935 人  | 621 人   | 21.2% | 107   | 503 人   | 11 人  |
|     | 65～69 歳 | 4,921 人  | 1,463 人 | 29.7% | 257   | 1162 人  | 44 人  |
|     | 70～74 歳 | 3,887 人  | 1,545 人 | 39.7% | 548   | 968 人   | 29 人  |
|     | 小 計     | 16,394 人 | 4,157 人 | 25.4% | 1,002 | 3,061 人 | 94 人  |
| 女性  | 40～44 歳 | 1,108 人  | 207 人   | 18.7% | 41    | 160 人   | 6 人   |
|     | 45～49 歳 | 926 人    | 176 人   | 19.0% | 25    | 142 人   | 9 人   |
|     | 50～54 歳 | 1,017 人  | 194 人   | 19.1% | 31    | 146 人   | 17 人  |
|     | 55～59 歳 | 2,000 人  | 433 人   | 21.7% | 95    | 317 人   | 21 人  |
|     | 60～64 歳 | 4,394 人  | 1,457 人 | 33.2% | 312   | 1070 人  | 75 人  |
|     | 65～69 歳 | 5,290 人  | 1,836 人 | 34.7% | 457   | 1340 人  | 39 人  |
|     | 70～74 歳 | 3,832 人  | 1,529 人 | 39.9% | 802   | 713 人   | 14 人  |
|     | 小 計     | 18,567 人 | 5,832 人 | 31.4% | 1,763 | 3,888 人 | 181 人 |
| 合 計 |         | 34,961 人 | 9,989 人 | 28.6% | 2,765 | 6,949 人 | 275 人 |

③千葉県後期高齢者医療広域連合被保険者

ア 佐倉市の実施数 （※健診対象者人数は、千葉県後期高齢者医療広域連合からの  
平成22年度後期高齢者健康診査の実施状況・速報値から平成23年5月末現在の数値）

| 健診対象人数※ | 受診方法 | 受診者数  |       |
|---------|------|-------|-------|
|         |      | (人)   | (%)   |
| 14,375人 | 集団   | 852   | 5.9   |
|         | 個別   | 1,428 | 9.9   |
| 計       |      | 2,280 | 15.86 |

《考察》

佐倉市国民健康保険特定健康診査等実施計画に掲げる平成22年度の特定健診受診率の目標は50%であったが、実施結果の概算実績は、28.6%になり、昨年度の28.2%から0.4%の上昇にとどまった。

受診率向上への取り組みとして、集団健診では、胃がん・大腸がん・胸部レントゲン検診との同日実施を引き続き行うとともに、土日の健診実施や、受診者が身近な会場で受診することができるように複数の会場で健診を行うなど、受診機会の確保に努めた。

また、佐倉市国保では、健診対象者数の多い 60 代の特定健診未受診者に、受診の勧奨を兼ねたアンケート調査を実施した。対象者 13,397 人に発送し、4,884 人から回答をいただいた。（回収率約 36.5%：男性 2,101 人（43.0%）、女性 2,729 人（55.9%）、無記入 54 人(1.1%)）アンケート調査の結果から 60 代の方については、特定健診について 9 割以上の方が知っており、周知されていることが分かった。健診を受けない理由として、定期的に通院や治療をしている方が約 6 割と、既に医療機関で健康状態を確認してもらっているため、健診を受ける必要がないと考えている方が多い状況であり、医療機関で通院中の方へのアプローチや、医師会等との連携を検討していく必要がある。また、職場の健診や人間ドックで健診を受けている方が 1 割あり、結果の提供の周知や、回収方法についても検討していくことが課題である。

## (2) 特定保健指導(保健指導)

|                                            |                                              |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 根拠法令等                                      | 高齢者の医療の確保に関する法律(特定保健指導)<br>健康増進法第19条の2(保健指導) |
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状) →<br>平成24年度(目標) | ・特定保健指導を受ける人の増加 ー% → 45%以上(新規設定)             |

### 《目 的》

特定保健指導は、内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行うことにより、対象者が自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようになることを通じて、糖尿病等の生活習慣病を予防することを目的とする。

### 初回面接

#### 《内 容》

##### ①対象者

佐倉市国民健康保険加入者で特定健康診査の結果、特定保健指導（動機付け支援・積極的支援）の対象となった者及び生活保護者で健康診査の結果、保健指導（動機付け支援・積極的支援）の対象となった者

##### ②期 間

平成22年7月7日から平成23年2月18日

##### ③場 所

健康管理センター、西部保健センター、南部保健センター、市民体育館、志津コミュニティセンター、西志津ふれあいセンター、和田ふるさと館、弥富公民館、白井公民館、白銀小学校（図工室）

##### ④支援形態・回数

グループ支援型 41回 個別支援型 41回

##### ⑤方 法

市の特定健診を受けた者に健診結果説明会を開催し、健診結果の返却と説明を行った後、自らの生活習慣についてチェックシートを用いて振り返り、今後の行動目標・計画を設定するグループ支援型と個別支援型を設定する。

##### ⑥周知方法

対象者に個別通知及び電話勧奨

### 積極的支援

#### 《内 容》

##### ①対象者

佐倉市国民健康保険加入者で特定保健指導（積極的支援）の対象となった者及び生活保護者で健康診査の結果、保健指導（積極的支援）の対象となった者

##### ②期 間

平成22年7月7日から平成23年 継続中

##### ③場 所

健康管理センター、西部保健センター、南部保健センター

#### ④方 法

ア グループ支援型 スリムアップ教室

・実施回数、会場

1コース8回 年間3コース

(内訳 健康管理センター 1コース 西部保健センター 1コース 南部保健センター 1コース)

・形態と支援ポイント構成 グループ支援型 (基本 支援A：240ポイント 支援B：30ポイント)

| 支援の種類  | 回数 | 時期   | 支援形態    | 支援時間(分) | 獲得ポイント | 内容                                                                                                           |
|--------|----|------|---------|---------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 初回面接   | 1  | 0    | 個別支援    | 30      |        | ・健診結果を理解し、生活習慣を振り返りましょう<br>～これならできる！生活習慣の改善～<br>・対象者とともに行動目標・支援計画を作成する。                                      |
| 継続的な支援 | 2  | 2週間後 | 電話B     | 5       | 10     | 初回面接に作成した行動計画の実施状況を確認し、行動計画に掲げた取組みを維持するために励ましや称賛を行う。                                                         |
|        | 3  | 1か月後 | グループ支援A | 120     | 120    | ・食事のとり過ぎとバランスに注意して内臓脂肪を減らそう<br>・生活習慣の振り返りを行い、行動計画の実施状況の確認や必要に応じた支援を行う。                                       |
|        | 4  | 2か月後 | 電話B     | 5       | 10     | 初回面接に作成した行動計画の実施状況を確認し、行動計画に掲げた取組みを維持するために励ましや称賛を行う。                                                         |
|        | 5  | 3か月後 | グループ支援A | 120     | 120    | ・運動実技でいい汗かきましょう<br>～運動と日常のちょっとした工夫で内臓脂肪を燃やそう～<br>・いつまでも自分の歯でいるために<br>・生活習慣の振り返りを行い、行動計画の実施状況の確認や必要に応じた支援を行う。 |
|        | 6  | 4か月後 | 電話B     | 5       | 10     | 初回面接に作成した行動計画の実施状況を確認し、行動計画に掲げた取組みを維持するために励ましや称賛を行う。                                                         |
|        | 7  | 5か月後 | 電話B     | 5       | 10     | 初回面接に作成した行動計画の実施状況を確認し、行動計画に掲げた取組みを維持するために励ましや称賛を行う。                                                         |
| 評価     | 8  | 6か月後 | グループ    |         |        | ・内臓脂肪をすっきり解消 成功の秘訣<br>～これからも いきいき健康宣言～<br>・身体状況や生活習慣に変化が見られたかについて確認する。                                       |

継続的な支援のポイント構成については、ポイント制に基づき、基本的には支援Aの方法を240ポイント、支援Bの方法を30ポイントとしたが、参加者が教室に欠席した場合は、他のコースや個別支援を実施し、支援Aの方法で160ポイント以上、支援Bの方法で20ポイント以上、合計で180ポイント以上の支援を実施し、継続支援が終了できるようにする。

## イ 個別支援

- ・会場 健康管理センター、西部保健センター、南部保健センター
- ・形態と支援ポイント構成 個別支援型（基本 支援A：240ポイント 支援B：30ポイント）

| 支援の種類  | 回数 | 時期   | 支援形態    | 支援時間(分) | ポイント | 内容           |
|--------|----|------|---------|---------|------|--------------|
| 初回面接   | 1  | 0    | 個別支援    |         |      | グループ支援型に準ずる。 |
| 継続的な支援 | 2  | 2週間後 | 電話B     | 5       | 10   |              |
|        | 3  | 1か月後 | 個別支援A   | 30      | 120  |              |
|        | 4  | 2か月後 | 電話B     | 5       | 10   |              |
|        | 5  | 3か月後 | 個別支援A   | 30      | 120  |              |
|        | 6  | 4か月後 | 電話B     | 5       | 10   |              |
|        | 7  | 5か月後 | 電話B     | 5       | 10   |              |
| 評価     | 8  | 6か月後 | 面接または通信 |         |      |              |

継続的な支援のポイント構成については、ポイント制に基づき、基本的には支援Aの方法を240ポイント、支援Bの方法を30ポイントとしたが、参加者の状況に応じて、支援Aの方法で160ポイント以上、支援Bの方法で20ポイント以上、合計で180ポイント以上の支援を実施するようにする。

### ④周知方法

健診結果説明会に参加した者には、その場で勧奨。また、健診結果説明会に参加しなかった者には、個別通知。

## 終了時評価

### 《内 容》

#### ①対象者

初回面接から6か月経過した者

#### ②方 法

対象者には、行動計画の策定日から6か月経過する前に「6か月経過後の健康目標達成度に関する調査票」を送付し、対象者が自ら評価する。対象者は記載した「6か月経過後の健康目標達成度に関する調査票」を返送し、行動計画の策定の日から6か月経過後に保健師または管理栄養士による評価（設定された行動目標が達成されているかどうか並びに身体状況及び生活習慣の変化が見られたかどうかについて）を行う。評価結果について「健康目標達成度に関する評価票」を作成し、対象者に送付する。また、希望者には、面接による評価「結果報告会」を実施する。

## プラスメニュープログラム 運動習慣づくり教室

### 《内 容》

#### ①対象者

特定保健指導の対象となった者及び特定健康診査などの健診結果から生活習慣病の予防が必要な者

#### ②実施回数、会場

4コース（4回で1コース）1回あたりの時間 1時間30分

内訳（健康管理センター 3コース 南部保健センター 1コース）



### ③方 法

健康運動指導士が、有酸素運動や筋力トレーニングなど自宅で手軽にできる運動の実技を指導し、運動習慣が身に着くようする。

### ④周知方法

- ・ 健診結果説明会の参加時に勧奨する。また、特定保健指導に参加しない者には、健診結果票送付時に案内文を同封する。
- ・ 広報さくら掲載

## プラスメニュープログラム メタボリックシンドローム予防のための「知って得する調理法」講習会 《内 容》

集団健康教育 参照

### 《実 績》

#### ① 特定保健指導（動機づけ支援・積極的支援）

##### ア 特定健康診査（集団・個別）

| 項目                | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 |
|-------------------|----------|----------|----------|
| 動機づけ支援の対象者数 (人)   | 1,232    | 1,028    | 1,014    |
| 動機づけ支援の利用者数 (人)   | 492      | 459      | 429      |
| 動機づけ支援の利用者割合 (%)  | 39.9     | 44.6     | 42.3     |
| 積極的支援の対象者数 (人)    | 360      | 233      | 229      |
| 積極的支援の利用者数 (人)    | 120      | 82       | 62       |
| 積極的支援の利用者割合 (%)   | 33.3     | 35.2     | 27.1     |
| 積極的支援の継続者数 (人)    | 26       | 20       | 17       |
| 積極的支援の終了者割合 (%)   | 7.2      | 8.6      | —        |
| 特定保健指導の対象者数 (人)   | 1,592    | 1,261    | 1,243    |
| 特定保健指導の終了者数 (人)   | 518      | 479      | —        |
| 特定保健指導の終了者の割合 (%) | 32.5     | 38.0     | —        |

##### イ 特定健康診査以外

| 項目              | 人間ドックなど |         |         |
|-----------------|---------|---------|---------|
|                 | 平成 20 年 | 平成 21 年 | 平成 22 年 |
| 動機づけ支援の利用者数 (人) | 6       | 0       | 1       |
| 積極的支援の利用者数 (人)  | 1       | 1       | 5       |
| 積極的支援の継続者数 (人)  | 0       | 0       | 0       |

##### ウ 法定報告

| 項目                | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 |
|-------------------|----------|----------|----------|
| 動機づけ支援の対象者数 (人)   | 1,240    | 969      | —        |
| 動機づけ支援の利用者数 (人)   | 489      | 435      | —        |
| 動機づけ支援の利用者割合 (%)  | 39.4     | 44.9     | —        |
| 積極的支援の対象者数 (人)    | 367      | 219      | —        |
| 積極的支援の利用者数 (人)    | 115      | 75       | —        |
| 積極的支援の利用者割合 (%)   | 31.3     | 34.2     | —        |
| 積極的支援の継続者数 (人)    | 20       | 15       | —        |
| 積極的支援の終了者割合 (%)   | 5.4      | 6.8      | —        |
| 特定保健指導の対象者数 (人)   | 1,607    | 1,188    | —        |
| 特定保健指導の終了者数 (人)   | 509      | 450      | —        |
| 特定保健指導の終了者の割合 (%) | 31.7     | 37.9     | —        |

※特定保健指導は、動機づけ支援・積極的支援のいずれの場合でも、初めの面接から6か月経過後に、行動変容の状況等の終了時評価を実施し完了となることから、平成22年度の終了時評価が完了できるのは、平成23年度9月末である。

※法定報告は、厚生労働省の規定により保険者が支払基金に対し、毎年度、当該年度の末日における特定健康診査等の実施状況に関する結果として、厚生労働大臣が定める事項を報告したものである。

## ②プラスメニュー 運動習慣づくり教室

| 項目            | 平成21年度           |                   | 平成22年度           |                   |
|---------------|------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| コース数（4回で1コース） | 5                |                   | 4                |                   |
| 実人数（人）        | 59               |                   | 74               |                   |
|               | 内訳 40歳～64歳<br>12 | 内訳 65歳～74歳<br>47  | 内訳 40歳～64歳<br>30 | 内訳 65歳～74歳<br>44  |
| 延人数（人）        | 200              |                   | 246              |                   |
|               | 内訳 40歳～64歳<br>44 | 内訳 65歳～74歳<br>156 | 内訳 40～64歳<br>107 | 内訳 65歳～74歳<br>139 |

## 《考 察》

初回面接の利用を促すため、初回面接の未利用者831人に対して、平成23年1月に健診結果説明会の案内文を再度送付し、その結果79人が利用し、利用者数の増加に効果的だった。

積極的支援の利用者割合（27.1%）が動機づけ支援の利用者割合（42.3%）に比べ低く、積極的支援の継続者が少ない（17人）ことについては、理由を分析する中で、積極的支援の対象者が利用し、継続したいと思える事業展開の工夫を検討する必要がある。

動機づけ支援、積極的支援の利用者とも、特定保健指導に参加したことをきっかけに、継続して健康づくりに取り組むことができるよう、健康教育として実施している運動指導事業等を紹介している。

特定保健指導の良い事例をポピュレーションアプローチの材料として地域に紹介するなど、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを連動させた事業展開を図り、特定健康診査の受診率向上に繋げたい。

## 8. こころの健康づくり

| 根拠法令等                                     | 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第46条(正しい知識の普及)<br>自殺対策基本法                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度(市の現状)→<br>平成24年度(目標) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスを感じている人の減少 成人 65.0%→59%以下<br/>中・高校生 72.4%→59%以下</li> <li>・ストレスを解消できている人の増加 成人 54.8%→57%以上<br/>中・高校生 44.2%→53%以上</li> <li>・睡眠がとれていない人の減少 成人 22.3%→20%以下</li> <li>・一生のうちにうつ病になる頻度を知っている人の増加<br/>成人 54.8%→増加</li> </ul> |

### (1) 精神科医によるこころの健康相談

#### 《目 的》

市民に対し、こころの健康に対する関心や正しい知識の普及・啓発を行い、こころの問題や病気で悩みを抱えた本人や家族が、身近な場所で専門医に相談することにより、適切に対処できることを目的とする。

#### 《内 容》

- ①対 象 者 「眠れない」「イライラする」「気分の落ち込み」「産後うつ」「育児ノイローゼ」「自殺について考えてしまう」など、こころの悩みや不安がある者
- ②方 法 健康管理センター、西部保健センター、南部保健センター、ミレニアムセンター佐倉を会場に、精神科医師による個別相談を実施する。
- ③内 容 年6回、予約制、定員は1回4人、相談時間は1人あたり30分以内  
電話予約時に保健師による事前問診をとる。相談には保健師が同席し、利用できる制度の紹介など必要に応じて継続支援を実施する。
- ④周知方法 「こうほう佐倉」に掲載、ちらしの配布、民生・児童委員協議会での周知

#### 《実 績》

##### ①会場別実績

| 会場<br>年度 | 健康管理センター |    | 西部保健センター |    | 南部保健センター |    | ミレニアムセンター佐倉 |    | 合計   |    |
|----------|----------|----|----------|----|----------|----|-------------|----|------|----|
|          | 実施回数     | 人数 | 実施回数     | 人数 | 実施回数     | 人数 | 実施回数        | 人数 | 実施回数 | 人数 |
| 平成20年度   | 1        | 2  | 1        | 4  | 1        | 4  | —           | —  | 3    | 10 |
| 平成21年度   | 2        | 7  | 2        | 7  | 1        | 3  | —           | —  | 5    | 17 |
| 平成22年度   | 2        | 6  | 2        | 6  | 1        | 1  | 1           | 3  | 6    | 16 |

##### ②相談対象者の年齢

| 内 訳 | 20歳未満 | 20～39歳 | 40～64歳 | 65歳以上 |
|-----|-------|--------|--------|-------|
| 人数  | 1     | 10     | 3      | 2     |

##### ③当日の相談者

| 内 訳 | 本人 | 家族 |
|-----|----|----|
| 人数  | 10 | 6  |

#### ④主な相談内容

| 内訳 | 精神疾患等健康問題 |                      | 家族問題 | 経済・生活 |
|----|-----------|----------------------|------|-------|
|    |           | (再掲) 治療中の<br>精神疾患の相談 |      |       |
| 人数 | 15        | 7                    | 8    | 2     |

#### 《考 察》

自殺対策を総合的かつ、計画的に行うため、自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱に基づき、社会全体で自殺対策に取り組んでおり、千葉県においても、千葉県自殺対策推進計画の策定により、関係機関が連携をはかり取り組んでいる。本市では、平成 20 年度から本事業を開始し、こころの問題や病気を抱える者を、適切な医療や制度に結びつけられるよう取り組んでいる。

予約は毎回すべて埋まっている状況で、住民のニーズを実感している。一方、当日になってキャンセルされる者がほぼ毎回みられ（年間 5 人）、その多くは本人からの予約であり、こころの相談へとつなげることの難しさを感じている。

相談者の約 2/3 はご本人からの相談、残り 1/3 は家族からの相談、相談内容としては、精神疾患等健康問題について相談の相談がほとんどの者にみられている。また、約半数は精神科治療への相談もあり、医師の傾聴、助言により家族支援も実施することができている。相談された者からは、精神科医にゆっくりと相談でき、それについて助言を得られたことで問題解決への一歩を踏み出せた等、満足されているものが多く見られていた。

## （２）佐倉市自殺対策庁内連絡会議

#### 《目 的》

自殺はその背景に、失業、多重債務、介護等の社会的な要因があることをふまえ、従来からの精神保健的観点だけでなく、社会的要因に対する対策も含めて、総合的に取り組む必要があるとされていることから、庁内関係所属による連絡会議を開催することにより、佐倉市でも職員一人ひとりが市民の自殺の兆候に気づき、適切な専門家につなげることができることを目的とする。

#### 《内 容》

平成 22 年度佐倉市自殺対策庁内連絡会議については、千葉県地域自殺対策緊急強化基金事業を活用し佐倉市職員（希望者）を対象とした「自殺を防ぐ窓口・相談対応研修」の開催とし、志津クリニック 臨床心理士 富崎加奈子氏による講義を予定していたが、東日本大震災の災害対応により職員の参加が困難となったため、中止とした。

#### 《考 察》

自殺総合対策大綱における基本認識では、「自殺を考えている人は、悩みを抱えながらもサインを出している」とされており、重点施策として「多重債務者、失業者の相談窓口の充実」「いじめ電話相談等の体制整備」等が位置づけられている。また、千葉県において、平成 22 年 5 月には「千葉県自殺対策推進計画」が策定され、その中で「早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する」とされている。市役所の窓口には、経済的に不安定等様々な問題を抱える住民が相談に来るので、市役所の職員や相談機関の支援者が自殺の兆候に気づき、必要な相談窓口、専門家につなげるためにも、連絡会議の継続、そして、今年度実施予定であった職員を対象にした研修会も、次年度開催する予定としている。

## **VI 市民の健康**

# 1. 歯ッピーかみんぐフェア（むし歯予防大会）

主催：佐倉市・印旛郡市歯科医師会佐倉地区

後援：佐倉市教育委員会・印旛保健所

| 根拠法令等                                     | 佐倉市独自事業                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）→<br>平成24年度（目標） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6024 達成率の維持 61.7% → 64%以上</li> <li>・8020 達成率の維持 31.4% → 33%以上</li> <li>・定期歯科健診を受けている人の増加 20歳以上 31.6% → 40%以上</li> <li>・栄養や食事について考えて食べる人の増加 成人 66.4% → 78%以上</li> </ul> |

## 《目 的》

佐倉市民の口腔衛生知識の啓発普及、及び口腔疾患予防の推進を目的とする。

## 《内 容》

- ① 日 時 平成22年10月31日 午前10:00～午後4:30
- ② 場 所 第1会場 ユーカリが丘総合子育て支援センター YOU! KIDS（ユー！キッズ）  
第2会場 ウィシュトンホテルユーカリ 3階
- ③ 対 象 市民
- ④ 周知方法 「こうほう佐倉」・ホームページ・地域新聞・St aD すたっと・佐倉よみうり  
各施設にポスター掲示・チラシの配布
- ⑤ その他 印旛郡市歯科医師会への委託事業

## 《実 績》

| コーナー名       | 内 容                     | 参加者数(人) |
|-------------|-------------------------|---------|
| 一般歯科健診コーナー  | 歯科医師による歯科健診及び相談         | 176     |
| 口腔がん健診コーナー  | 東京歯科大学口腔外科学医局員による口腔がん健診 | 140     |
| 歯みがき指導コーナー  | 口腔衛生指導                  | 115     |
|             | 口臭測定                    | 66      |
|             | かむ力チェック                 | 50      |
| 食育コーナー      | 紙芝居                     | 76      |
|             | レシピ配布                   | 82      |
| 健康相談コーナー    | 健康相談・血圧測定               | 25      |
| 介護保険コーナー    | 介護保険クイズ                 | 26      |
| むし歯予防ポスター展示 | 小学生図画・ポスター、書写、標語、川柳、作文  | 46点     |

## 《考 察》

今年度も、多くの方に歯の大切さや歯科健診の必要性を啓発することができた。また、今回初めて、食育コーナーを設置し、紙芝居で楽しみながら、野菜摂取の大切さについて啓発することができた。口腔がん健診では、口腔がん疑い2名を含めた10名が2次医療機関の紹介につながった。この健診を通じ、より多くの市民に口腔衛生に理解や関心をもってもらい、市民の健康推進につなげていきたい。

## ２．市民公開講座

| 根拠法令等                                        | 健康増進法、「健康日本２１」、「健やか親子２１」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら２１目標<br>平成 18 年度（市の現状）→<br>平成 24 年度（目標） | <p>[休養・こころの健康づくり]</p> <p>・ストレスを感じている人の減少<br/>成人 65.0% → 59%以下 中・高生 72.4% → 59%以下</p> <p>[生活習慣病(がん検診)]</p> <p>・がん検診を受ける人の増加<br/>胃がん検診 19.9% → 50%以上 子宮がん検診 20.1% → 50%以上<br/>乳がん検診 12.8% → 50%以上 肺がん検診 24.5% → 50%以上<br/>大腸がん検診 20.2% → 50%以上</p> <p>[妊娠・出産・周産期]</p> <p>・市もしくは病院のマタニティクラスを受講した人の増加<br/>76.2% → 93.0%以上</p> <p>[歯の健康]</p> <p>・喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の増加<br/>成人 29.1% → 100%</p> |

### 《目 的》

健康づくりに関する意識向上と普及啓発を図るため、ポピュレーションアプローチとして専門家による市民向けの講演を実施している。

### 《内 容》

- ①対 象 市民（制限なし）
- ②方 法 業務委託（印旛市郡医師会佐倉地区・印旛郡市歯科医師会佐倉地区）
- ③内 容 医師並びに歯科医師等の専門家による講演会を実施した。
- ④周知方法 こうほう佐倉、ポスター、チラシ、新聞折込、ホームページで啓発、併せて保健事業の中で紹介した。

### 《実 績》

#### ①医科一覧

| 年度 | テーマ・内容                                                                                                                      | 開催情報                         |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 18 | みんなで始めよう糖尿病の予防と治療～こんなに怖い糖尿病～<br>(1)「糖尿病の原因と合併症」<br>(2)「糖尿病の予防と治療は まず食事」                                                     | 中央公民館<br>11月26日(日)<br>250 名  |
|    | 骨粗しょう症あなたの骨は大丈夫？<br>～若いうちからすべきこと今から出来ること～<br>(1)「骨の老化をくい止めよう」～骨折・寝たきりにならないために～<br>(2)「骨粗しょう症とリハビリテーションについて」～転倒予防とホームエクササイズ～ | 志津コミセン<br>3月4日(日)<br>380 名   |
| 19 | 頭痛大学～あきらめていませんか？あなたの頭痛～<br>(1)「どうにかしたい！片頭痛」～もう頭痛で悩まない～<br>(2)「頭痛薬とのつきあいかた」                                                  | 志津コミセン<br>11月25日(日)<br>230 人 |
|    | こころの健康づくり講演会「気づいていますか？こころのサイン」<br>～あなたとあなたの家族のために、うつ病予防と早期発見～                                                               | 志津コミセン<br>2月3日(日)<br>150 人   |

| 年度 | テーマ・内容                                                                                                 | 開催情報                              |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 20 | はじめようメタボ対策！～おとなとこども～<br>(1) メタボリックシンドロームと特定健診～メタボ健診の落とし穴～<br>(2) 佐倉市における小児生活習慣病予防対策<br>(3) 家族みんなで楽しく食育 | 志津コミセン<br>11月23日(日)<br>150人       |
| 21 | 正しく知ろうインフルエンザ ～インフルエンザに負けないために～<br>「インフルエンザ感染症の動向」                                                     | ウィシュトンホテルユーカリ<br>2月14日(日)<br>100人 |
| 22 | 正しく知ろう認知症 ～佐倉市認知症ネットワークに向けて～<br>「認知症治療における支援体制」                                                        | 音楽ホール<br>10月11日(月)<br>350人        |

## ②歯科一覧

| 年度 | テーマ・内容                                                 | 開催情報                              |
|----|--------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 18 | 「口の中にもガンができるの？」                                        | 志津コミセン<br>2月18日(日)<br>119人        |
| 19 | (1) 「佐倉市民のこころの健康」<br>(2) 「お口はこころのバロメーター」               | 中央公民館<br>2月24日(日)<br>100人         |
| 20 | 「歯周病はあなたの体をむしばむ」                                       | 志津コミセン<br>2月22日(日)<br>50人         |
| 21 | 正しく知ろうインフルエンザ<br>～インフルエンザに負けないために～<br>「口腔衛生とインフルエンザ予防」 | ウィシュトンホテルユーカリ<br>2月14日(日)<br>100人 |
| 22 | 正しく知ろう認知症 ～佐倉市認知症ネットワークに向けて～<br>「噛むチカラで脳を守る」           | 音楽ホール<br>10月11日(月)<br>350人        |

## 《考 察》

平成22年度の市民公開講座は、高齢社会が加速する中で誰もが直面する重要な課題である「認知症」をテーマに取り上げたことで、多くの市民の関心を引き、その結果、多数の参加者が得られたものと推測される。今後も市民に身近な題材をテーマとして取り上げ実施したい。



### 3. 食生活改善推進員事業

|                                           |                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 根拠法令等                                     | 食育基本法 第二十二條 2                                                                                                                                                       |
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）<br>→平成24年度（目標） | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりのために、栄養や食事について考えて食べる人の増加<br/>成人 66.4% → 78%以上</li> <li>健康づくりのために栄養や食事について考えていない保護者をなくす<br/>幼児の保護者 7.7% → なくす</li> </ul> |

**(1) 食生活改善推進員養成講座**

### 《目 的》

健全な食生活の普及・啓発を通した、市民の健康づくりの自主的なボランティア活動を行う食生活改善推進員を養成することを目的に「食生活改善推進員養成講座」を開催する。

## 《内 容》

- ①開催時期 10月から1月 ②対象地区 市内全域  
③周知方法 こうほう佐倉9月1日号・チラシ等 ④実施会場 健康管理センター  
⑤カリキュラム

| 課 | 学習内容                    | 時 間         | 講 師      |
|---|-------------------------|-------------|----------|
| 1 | 開講式・オリエンテーション           | 9:30～10:00  | —        |
|   | 健康の現状と健康さくら21           | 10:00～10:50 | 保健師      |
|   | 食事バランスガイドについて           | 11:00～11:50 | 栄養士      |
| 2 | 調理理論(栄養素・食品成分表の活用)      | 9:30～10:30  | 栄養士      |
|   | 食育についてと地域の食育を推進して       | 10:40～11:50 | 食生活改善推進員 |
| 3 | 健康さくら21の「食に関する課題」       | 9:30～10:00  | 栄養士      |
|   | 献立の立て方と食品の計量、衛生管理と手洗い実習 | 10:10～10:50 | 栄養士      |
|   | 調理実習(バランスのとれた食事)        | 11:00～12:50 | —        |
| 4 | 身体活動・運動習慣のある生活 (理論と実技)  | 9:30～10:50  | 保健師      |
|   | 歯と咀嚼                    | 11:00～11:50 | 歯科衛生士    |
| 5 | 生活習慣とがん予防               | 9:30～10:10  | 保健師      |
|   | 生活習慣病予防の食生活についてと調理実習    | 10:10～12:50 | 栄養士      |
| 6 | 佐倉市の食生活改善推進員活動について      | 9:30～10:00  | 栄養士      |
|   | 各地区の食生活改善推進員を囲んで        | 10:00～11:00 | 食生活改善推進員 |
|   | 閉校式(修了証書授与)             | 11:00～11:50 | —        |

《実績》

年度・地区別参加者と修了者

(单位:人)

|       | 佐倉 | 臼井 | 志津 | 根郷 | 和田 | 弥富 | 千代田 | 合計 | 修了者数 | 修了率% |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|----|------|------|
| 平成18年 | 1  | 4  | 5  | 1  | 0  | 0  | 0   | 11 | 11   | 100  |
| 平成19年 | 2  | 6  | 4  | 0  | 0  | 0  | 0   | 12 | 12   | 100  |
| 平成20年 | 2  | 3  | 1  | 4  | 0  | 2  | 0   | 12 | 12   | 100  |
| 平成21年 | 1  | 2  | 4  | 0  | 0  | 1  | 0   | 8  | 8    | 100  |
| 平成22年 | 1  | 5  | 4  | 1  | 0  | 0  | 0   | 11 | 10   | 91   |

## (2) 食生活改善推進員研修

### 《目 的》

食生活改善推進員が、地域で食生活の改善や健康づくり等の地区活動を展開していく上で必要な知識・技術に関する研修を行い、推進員の資質の向上を図る。

### 《内 容》

年間テーマ 「生活習慣病予防と野菜摂取について」～もっと野菜を食べよう～

#### 合同研修会

- ・ 5月7日（金）（午前） 参加者 66名

委嘱状の交付式・21年度活動報告・22年度研修計画及び活動費について

- ・ 6月29日（火）（午前） 参加者 57名

- 1) 健康さくら21の食に関する課題
- 2) 事例発表「食生活改善推進員活動の充実について」食生活改善推進員3名
- 3) 講演 「おいしい野菜の選び方」

講師 野菜ソムリエ・食育ソムリエ 山本 久子(弥富直売所)

- ・ 11月16日（火）バス研修 酒造りと佐原の町並み見学 参加者 40名

研修テーマ:「昔の生活から食への感謝やもったいないを感じる食育体験」

- ・ 3月7日（月）（1日） 参加者 62名

- 1) 「皆さんにお知らせしたい我が支部の活動」 ※推進員は市内7支部に分かれて活動

- ・ 佐 倉 支 部・・・「食育と佐産佐消の調理実習」
- ・ 臼井・千代田支部・・・「地域発男性料理教室、新臼井田版」
- ・ 志 津 A 支 部・・・「男性料理教室3回シリーズの開催」
- ・ 志 津 B 支 部・・・「野菜をたくさん摂取するには!」
- ・ 根 郷 支 部・・・「家庭教育学級での食育(食文化の継承)」
- ・ 和 田 支 部・・・「チャレンジクッキング みんなでおいしい料理を作ろう!」
- ・ 弥 富 支 部・・・「地元産野菜を使った郷土料理 見ても楽しめるお弁当」

- 2) 平成22年度 各プロジェクトの活動報告

- ・ 健康さくら21と食育・・・「楽しい食育」の資料作成と配布他
- ・ 媒体作成(とまとの会)・・・野菜カルタの媒体作成と活用例の紹介他
- ・ 料理研究会(さざんか)・・・地場産の野菜を利用した朝食メニューやおやつの研究他
- ・ 教室運営検討・・・各支部の教室運営方法等の検討他

- 3) 講演「郷土料理で野菜摂取量をアップするには」

講師 (社)千葉県栄養士会 地域活動協議会長 杉崎 幸子

研修「認知症と生活習慣病について」(認知症サポーター養成講座含む)

#### 地区研修会

市内7支部に分かれて地域に密着した食生活改善推進員活動を推進しているため、支部ごとに研修を実施

5月・・・地区活動計画について・「はかることからはじめよう!体組成測定」

7月・・・「野菜の主な働きと1日の野菜摂取量の目標について」「生活習慣病とがん予防」

調理実習(夏野菜丼・鮭とカラフル野菜のチーズ焼き・おくらとひじきの和えもの他)

11月・・・「食事摂取基準の改定について」「手洗いチェックと食中毒予防」他

調理実習(変わりホットケーキ・タンドリーチキン・きのこことじゃがいものソテー他)  
2月・・・平成22年度地区活動反省と次年度の活動について

プロジェクト活動

|      | 健康さくら21と食育                                                                          | 料理研究会                                                                                  | 教室運営検討                                                                      | 媒体作成                                                                                                                                  |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的   | 「健康さくら21」の食に関する課題と食育の推進から、20・30歳代の食に関する問題点を改善するための資料を作成する。                          | 年間活動テーマ「もっと野菜を食べよう」に沿って、地域で普及させたい料理を年代別に研究する。                                          | 推進員地区活動について情報収集を行い、運営方法・レシピ等についての検討と活動内容の共有化を図る。                            | 野菜を効率良く食べる方法についての媒体を作成する。また、今まで作成した媒体の管理方法と地区活動での活用を考える。                                                                              |
| 活動回数 | 9回                                                                                  | 9回                                                                                     | 8回                                                                          | 15回                                                                                                                                   |
| 活動内容 | 佐倉市の食に関する課題から、子育て中の世代に対しての「楽しい食育」の資料を作成した。作成した資料はもぐもぐ教室や地域の子育て会、老幼の館等の食育活動で幅広く活用した。 | 「野菜摂取量の増加」に沿った内容の献立や調理法を年代別に研究した。考案した年代別の献立は「さざんか通信」(34・35・36号)を発行し、地区活動で普及が図れるよう推進した。 | 前年度の地区活動報告から、各地区の活動内容を目的別にまとめ、教室開催等の問題点や指導方法について検討した。また、教室の運営方法は実演を交えて検討した。 | 野菜の働きについて勉強した内容の「野菜カルタ」と従来からの媒体を地区活動で利用しやすくした。健康出前講座を自治会・保育園・幼稚園からの要望で行った。内容は「メタボリックシンドローム予防」の講話と寸劇・紙芝居「楽しいハイキング」などで手作りの媒体を効果的に活用できた。 |

### (3) 食生活改善推進員地区活動

#### 《目 的》

市民が健康で明るい生活を営むことを目的に、健全な食生活の普及・啓発を図るため、食生活改善推進員活動を推進している。食生活改善推進員が地域で食生活の改善や健康づくり等の地区活動を展開していく上での活動内容や試食・調理実習の献立に対する指導やアドバイスをを行い、食生活改善推進員活動への支援を行う。

#### 《内 容》

食生活改善推進員は7支部（佐倉）（白井・千代田）（志津A）（志津B）（根郷）（和田）（弥富）に分かれ、健康さくら21の食に関する課題より、各地区の状況にあわせテーマを決めて地区活動を行っている。

22年度は食生活改善推進員が「生活習慣病予防と野菜摂取について」～もっと野菜を食べよう～をテーマに地域に密着した質の高い活動が行えるよう、講習会の開催内容や食育の普及啓発方法等の支援に努めた。

#### 《実 績》

年度別、地区別推進員数と活動状況

(単位:人)

| 地区<br>年度     |         | 佐倉  | 白井  | 志津      |         | 根郷  | 和田  | 弥富  | 千代田 | 合計    |
|--------------|---------|-----|-----|---------|---------|-----|-----|-----|-----|-------|
|              |         |     |     | A<br>支部 | B<br>支部 |     |     |     |     |       |
| 18<br>年<br>度 | 委嘱推進員数  | 15  | 13  | 15      | 26      | 19  | 9   | 10  | 4   | 111   |
|              | 活動日数(日) | 16  | 20  | 10      | 30      | 12  | 8   | 5   | 5   | 106   |
|              | 参加者延べ数  | 394 | 602 | 302     | 1,481   | 553 | 137 | 96  | 209 | 3,774 |
|              | 活動推進員数  | 76  | 56  | 71      | 107     | 83  | 33  | 22  | 18  | 446   |
| 19<br>年<br>度 | 委嘱推進員数  | 13  | 12  | 15      | 24      | 14  | 9   | 6   |     | 93    |
|              | 活動日数(日) | 12  | 17  | 8       | 34      | 12  | 10  | 3   | 1   | 97    |
|              | 参加者延べ数  | 257 | 454 | 252     | 1,609   | 525 | 237 | 49  | 35  | 3,418 |
|              | 活動推進員数  | 44  | 50  | 58      | 122     | 79  | 42  | 10  | (1) | 406   |
| 20<br>年<br>度 | 委嘱推進員数  | 13  | 16  | 15      | 23      | 12  | 8   | 6   |     | 93    |
|              | 活動日数(日) | 8   | 14  | 9       | 30      | 8   | 5   | 6   | 1   | 81    |
|              | 参加者延べ数  | 197 | 402 | 207     | 1,589   | 335 | 114 | 588 | 41  | 3,473 |
|              | 活動推進員数  | 54  | 59  | 71      | 112     | 39  | 23  | 21  | (8) | 387   |
| 21<br>年<br>度 | 委嘱推進員数  | 14  | 16  | 15      | 24      | 14  | 9   | 7   |     | 99    |
|              | 活動日数(日) | 11  | 16  | 7       | 25      | 9   | 3   | 6   | 1   | 78    |
|              | 参加者延べ数  | 202 | 330 | 206     | 1,548   | 303 | 31  | 515 | 32  | 3,167 |
|              | 活動推進員数  | 52  | 71  | 70      | 101     | 45  | 18  | 30  | (4) | 391   |
| 22<br>年<br>度 | 委嘱推進員数  | 12  | 15  | 16      | 21      | 12  | 7   | 8   |     | 91    |
|              | 活動日数(日) | 10  | 28  | 11      | 26      | 14  | 4   | 9   | 1   | 103   |
|              | 参加者延べ数  | 174 | 466 | 241     | 1,486   | 544 | 102 | 518 | 30  | 3,561 |
|              | 活動推進員数  | 48  | 112 | 106     | 116     | 57  | 25  | 46  | (5) | 515   |

※19年度より千代田地区は白井地区の推進員により活動を実施 ( )内は白井地区の推進員活動人数

## 《考 察》

食生活改善推進員養成講座の参加者の地域に偏りが見られた。養成講座の開催を全地区に呼びかけて参加者を増やし、修了者の中から食生活改善推進員を委嘱できるようにしたい。特に、19年度より千代田地区に食生活改善推進員が委嘱されていない状況にあるので、参加を地域に働き掛けていきたい。また、全地区に養成講座のPRを広報掲載とちらしの配布と共に推進員の活動時に口コミにより、各年代から幅広く食を通した健康づくりとボランティア活動に関心のある参加者を募りたい。

小学校やPTA・幼稚園・保育園・児童センター・社会福祉協議会・自治会等から幅広く、食生活改善推進員への活動依頼が多くなり、生活習慣病予防の食事や食事バランスガイドの普及など食を通した健康づくりと共に食育の推進など活動内容の幅も広がり、活動日数・参加者延べ数も年々増加している。参加者も乳幼児とその保護者や男性の参加も増加している。また、平成23年3月に佐倉市食育推進計画が策定されており、その趣旨に沿って、各種団体との連携・協力体制を活発化し、食生活を通した地域の健康づくりや食育活動の推進を支援したい。

## 4. その他啓発事業

| 根拠法令等                                     | 健康増進法、「健康日本21」、「健やか親子21」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康さくら21目標値<br>平成18年度（市の現状）→<br>平成24年度（目標） | <p><b>[栄養・食生活]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝食の欠食率の低下<br/>30代男性 32.2% → 15%以下      女性（成人） 7.9% → 6%以下<br/>中・高校生 12.8% → なくす</li> </ul> <p><b>[身体活動・運動]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動を実施している人の増加<br/>成人男性 29.1% → 40%以上      成人女性 29.8% → 41%以上</li> </ul> <p><b>[たばこ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの前でたばこを吸う人の減少<br/>幼児の保護者 23.9% → 減少      小学生の保護者 45.5% → 減少</li> </ul> <p><b>[アルコール]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正飲酒量を認識している人の増加<br/>1合程度と答えた成人 64.3% → 100%</li> </ul> <p><b>[生活習慣病]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少<br/>（平成20年度より10%減らす）－% → 10%減少（新規設定）</li> </ul> |

### 《目 的》

個別の保健事業の対象者枠を超えた、全市民の健康づくりに関する意識向上と普及啓発を図ることを目的として、健康さくら21関係所属の行事や地域行事を協働実施して計画の推進と周知を図っている。計画の基本理念である「市民が主役～みんながつくる健やかまちづくり～」を柱に、開催年度ごとのテーマを「健康さくら21」の年度別重点活動分野と関連させることで、啓発事業として事業効果の拡大を図る。

### 《内 容》

「さくらスポーツフェスティバル」 ～はじめよう家族そろって健康・体力づくり～

- ①対 象      市民（制限なし）
- ②方      法      日時：平成22年10月11日（月） ※体育の日9時～13時  
会場：岩名運動公園陸上競技場  
主催：健康こども部生涯スポーツ課
- ③内      容      「健康さくら21」の平成22年度の年度別重点目標である「身体活動、運動、健康管理（食育等）」に関連した健康増進コーナーを設置し、体内年齢測定やカロリー消費運動体験、食育モデル展示、アルコールパッチテストなどを実施し、運動と健康について啓発を行った。
- ④周知方法      「こうほう佐倉」、ケーブルテレビ、ポスター、地区回覧にて啓発、また各種保健事業で参加者へ紹介した。

### 《実 績》

| 年度 | テーマと副題                                                               | 会場・開催日                   | 参加者数 |
|----|----------------------------------------------------------------------|--------------------------|------|
| 20 | ～はじめよう家族そろって健康づくり～                                                   | 岩名運動公園陸上競技場<br>10月13日（月） | 285人 |
| 21 | ～はじめよう家族そろって健康づくり～<br>「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ<br>～良い生活習慣は、気持ちいい！～」  | 岩名運動公園陸上競技場<br>10月12日（月） | 201人 |
| 22 | ～はじめよう家族そろって健康・体力づくり～<br>「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ<br>～健康寿命をのばしましょう～」 | 岩名運動公園陸上競技場<br>10月11日（月） | 185人 |

### 《考 察》

「健康さくら21」の関連所属等との協働により、主催事業では関わりの薄い属性の市民との接点が拡大できた。異なるチャンネルを通した行事運営は、参加者の興味や啓発においても相乗効果が認められるので、有効な啓発方法の一つとして活用可能と思われる。

## **VII 地域医療**



# 1. 休日夜間急病等診療所事業

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 根拠法令等 | 佐倉市休日夜間急病等診療所の設置及び管理に関する条例 |
|-------|----------------------------|

## 《目 的》

日曜、祭日、年末年始は、ほとんどの医療機関が休診となるため、休日の昼間は各医療機関の輪番制により、夜間は佐倉市健康管理センター内の休日夜間急病等診療所等により、休日夜間の医療体制を確保する。

## 《内 容》

| 区分    | 昼間             | 夜間                  |
|-------|----------------|---------------------|
| 診療時間  | 午前9時～午後5時      | 午後7時～午後10時          |
| 場 所   | 在宅による輪番制       | 休日夜間急病等診療所、在宅による輪番制 |
| 診 療 日 | 休日（日曜・祭日・年末年始） | 休日（日曜・祭日・年末年始）      |
| 診療科目  | 内科・外科・歯科       | 内科・歯科(外科・耳鼻科は在宅輪番制) |

## 《実 績》 (人)

|        |                     | 区分  | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 |
|--------|---------------------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 昼<br>間 | 休日当番<br>(在宅輪番制)     | 内科  | 2,102    | 2,107    | 2,435    | 2,566    | 1,940    |
|        |                     | 外科  | 777      | 978      | 758      | 796      | 846      |
|        |                     | 歯科  | 277      | 277      | 284      | 254      | 233      |
| 夜<br>間 | 休日夜間急病診<br>療所(センター) | 内科  | 220      | 229      | 197      | 373      | 249      |
|        |                     | 歯科  | 79       | 86       | 63       | 89       | 73       |
|        | 休日夜間待機<br>(在宅輪番制)   | 外科  | 78       | 79       | 63       | 76       | 72       |
|        |                     | 耳鼻科 | 197      | 300      | 281      | 272      | 241      |
| 合計     |                     |     | 3,730    | 4,056    | 4,081    | 4,426    | 3,654    |

## ◎休日夜間急病等診療所（健康管理センター内）の実績

| 年度     | 日数 | 内科   | 歯科  |
|--------|----|------|-----|
| 平成18年度 | 71 | 220人 | 79人 |
| 平成19年度 | 72 | 229人 | 86人 |
| 平成20年度 | 72 | 195人 | 63人 |
| 平成21年度 | 72 | 373人 | 89人 |
| 平成22年度 | 71 | 249人 | 73人 |

### (1) 内科

- ①診療日数 71日（平成22年4月1日～平成23年3月31日）  
 ②受診者数 249人（1日平均 3.50人）  
 ③時間帯別

| 時間帯  | 受診者数(人) | 割合     |
|------|---------|--------|
| 19時台 | 134     | 53.8%  |
| 20時台 | 67      | 26.9%  |
| 21時台 | 48      | 19.3%  |
| 合計   | 249     | 100.0% |

### ④症状別

| 順位 | 症状                   | 受診者数(人) | 割合     |
|----|----------------------|---------|--------|
| 1  | 症状からみて深夜受診も納得できる     | 248     | 99.6%  |
| 2  | 即時入院が必要で来院してよかった     | 1       | 0.4%   |
| 3  | 治療を擁するが明日でもよい        | 0       | 0.0%   |
| 4  | 放置又は自宅加療で十分、来院の必要がない | 0       | 0.0%   |
| 合計 |                      | 249     | 100.0% |

⑤年齢別

| 年齢(歳) | 受診者数(人) | 割合     |
|-------|---------|--------|
| 15～19 | 28      | 11.3%  |
| 20～30 | 59      | 23.7%  |
| 31～40 | 74      | 29.7%  |
| 41～50 | 38      | 15.3%  |
| 51～60 | 21      | 8.4%   |
| 61～64 | 12      | 4.8%   |
| 65～70 | 3       | 1.2%   |
| 71以上  | 14      | 5.6%   |
| 合計    | 249     | 100.0% |

⑥居住地別

| 居住地 |      | 受診者数(人) | 割合     |
|-----|------|---------|--------|
| 市内  | 佐倉   | 36      | 14.4%  |
|     | 志津   | 39      | 15.7%  |
|     | 臼井   | 53      | 21.3%  |
|     | 根郷   | 43      | 17.3%  |
|     | 千代田  | 14      | 5.6%   |
|     | 和田   | 4       | 1.6%   |
|     | 弥富   | 2       | 0.8%   |
| 市外  | 印旛郡内 | 42      | 16.9%  |
|     | 県内   | 10      | 4.0%   |
|     | 県外   | 6       | 2.4%   |
| 合計  |      | 249     | 100.0% |

⑦二次病院搬送状況 1件

⑧疾病別

| 順位 | 疾患       | 受診者数(人) | 割合     |
|----|----------|---------|--------|
| 1  | 呼吸器系     | 105     | 42.2%  |
| 2  | 伝染性      | 78      | 31.3%  |
| 3  | 消化器系     | 41      | 16.5%  |
| 4  | 神経系及び感覚器 | 6       | 2.4%   |
| 5  | 皮膚及び皮下組織 | 4       | 1.6%   |
| -  | その他      | 15      | 6.0%   |
| 合計 |          | 249     | 100.0% |

(2) 歯科

①診療日数 71日(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

②受診者数 73人(1日平均 1.02人)

③時間帯別

| 時間帯  | 受診者数(人) | 受診割合   |
|------|---------|--------|
| 19時台 | 24      | 32.9%  |
| 20時台 | 24      | 32.9%  |
| 21時台 | 25      | 34.2%  |
| 合計   | 73      | 100.0% |

④症状別

| 順位 | 症状                   | 受診者数(人) | 割合     |
|----|----------------------|---------|--------|
| 1  | 症状からみて深夜受診も納得できる     | 56      | 76.7%  |
| 2  | 治療を要するが明日でもよい        | 16      | 21.9%  |
| 3  | 放置又は自宅加療で十分、来院の必要がない | 1       | 1.4%   |
| 4  | 即時入院が必要で来院してよかった     | 0       | 0.0%   |
| 合計 |                      | 73      | 100.0% |

⑤年齢別

|       |    |        |
|-------|----|--------|
| 0     | 0  | 0.0%   |
| 1～3   | 6  | 8.2%   |
| 4～5   | 2  | 2.7%   |
| 6～10  | 7  | 9.6%   |
| 11～15 | 1  | 1.4%   |
| 16～19 | 1  | 1.4%   |
| 20～30 | 13 | 17.8%  |
| 31～40 | 21 | 28.7%  |
| 41～50 | 14 | 19.2%  |
| 51～60 | 2  | 2.7%   |
| 61～64 | 4  | 5.5%   |
| 65～70 | 1  | 1.4%   |
| 71以上  | 1  | 1.4%   |
| 合計    | 73 | 100.0% |

⑥居住地別

| 居住地 |      | 受診者数(人) | 割合     |
|-----|------|---------|--------|
| 市内  | 佐倉   | 9       | 12.3%  |
|     | 志津   | 12      | 16.5%  |
|     | 白井   | 9       | 12.3%  |
|     | 根郷   | 4       | 5.5%   |
|     | 千代田  | 0       | 0.0%   |
|     | 和田   | 0       | 0.0%   |
|     | 弥富   | 0       | 0.0%   |
|     | 合計   | 34      |        |
| 市外  | 印旛郡内 | 23      | 31.5%  |
|     | 県内   | 16      | 21.9%  |
|     | 県外   | 0       | 0.0%   |
| 合計  |      | 73      | 100.0% |

《考 察》

当市における救急医療体制は、現在、第一次救急医療体制として休日当番医制及び休日夜間急病診療所、そして第二次救急医療体制として印旛郡市において病院群輪番制を実施している。

更に、第三次救急医療体制として成田赤十字病院が救命救急センターに指定され対応している。

## ２．小児初期急病診療所事業

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 根拠法令等 | 佐倉市小児初期急病診療所の設置及び管理に関する条例 |
|-------|---------------------------|

### 《目 的》

平成１４年１０月１日より印旛郡内唯一、翌朝まで受診可能な毎夜間の診療所を健康管理センター内に設置し、初期救急医療及び二次救急医療機関等との連携を印旛市郡医師会の協力により確保して、子育て世帯への安心の提供を目的とする。

### 《内 容》

|       |                             |                        |
|-------|-----------------------------|------------------------|
| 診 療 日 | 月曜日～土曜日                     | 日曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3） |
| 診療時間  | 午後７時～翌朝６時                   | 午前９時～午後５時、午後７時～翌朝６時    |
| 場 所   | 印旛市郡小児初期急病診療所（佐倉市健康管理センター内） |                        |
| 診療科目  | 小児科                         |                        |

### 《実 績》

①療日数 ３６５日（平成２２年４月１日～平成２３年３月３１日）

②診者数 １３，５７６人（一日平均 ３７．１９人）

ア．時間帯別（人）

| 時間帯     | ９～１２時台 | １３～１６時台 | １９～２１時台 | ２２～２４時台 | １～３時台 | ４～５時台 | 合計      |
|---------|--------|---------|---------|---------|-------|-------|---------|
| 受診者数(人) | 2,566  | 1,915   | 5,564   | 2,237   | 929   | 365   | 13,576  |
| 割合      | 18.90% | 14.11%  | 40.98%  | 16.48%  | 6.84% | 2.69% | 100.00% |

イ．年齢別（人）

| 年齢      | ０歳     | １～５歳   | ６～１０歳  | １１～１５歳 | 合計      |
|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 受診者数(人) | 1,676  | 8,558  | 2,638  | 704    | 13,576  |
| 割合      | 12.34% | 63.04% | 19.43% | 5.19%  | 100.00% |

ウ．居住地別（人）

| 地域と内訳 |      |       |      |     | 受診者数   | 割合      |
|-------|------|-------|------|-----|--------|---------|
| 佐倉市内  |      |       |      |     | 5,329  | 39.25%  |
| 印旛郡内  | 成田市  | 430   | 白井市  | 230 | 6,924  | 51.00%  |
|       | 四街道市 | 1,777 | 酒々井町 | 466 |        |         |
|       | 八街市  | 1,728 | 富里市  | 425 |        |         |
|       | 印西市  | 1,753 | 栄町   | 115 |        |         |
| 県 内   | 千葉市  | 383   | 八千代市 | 121 | 932    | 6.87%   |
|       | 船橋市  | 60    | 他県内  | 368 |        |         |
| 県 外   |      |       |      |     | 391    | 2.88%   |
| 合 計   |      |       |      |     | 13,576 | 100.00% |

### ③二次救急医療連携状況

| 紹介・搬送先              | 所在地   | 件数  | 合計  |
|---------------------|-------|-----|-----|
| 東邦大学医療センター佐倉病院      | 佐 倉 市 | 185 | 388 |
| 独立行政法人国立病院機構下志津病院   | 四街道市  | 72  |     |
| 日本医科大学千葉北総病院        | 印 西 市 | 57  |     |
| 成田赤十字病院             | 成 田 市 | 41  |     |
| その他（千葉大学病院、東京女子医大等） | —     | 33  |     |

### ④疾病状況

| 項目            | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 1 呼吸器系疾患      | 429 | 963 | 471 | 672 | 356 | 372 | 469 | 465 | 770 | 787 | 484 | 493 | 6,731 |
| 2 感染性疾患       | 66  | 169 | 94  | 162 | 71  | 44  | 46  | 69  | 127 | 337 | 254 | 157 | 1,596 |
| 3 消化器系疾患      | 355 | 400 | 224 | 200 | 202 | 167 | 186 | 365 | 596 | 547 | 389 | 291 | 3,922 |
| 4 免疫・アレルギー性疾患 | 96  | 137 | 112 | 131 | 94  | 192 | 201 | 128 | 111 | 89  | 88  | 73  | 1,452 |
| 5 皮膚系疾患       | 16  | 36  | 20  | 39  | 31  | 18  | 26  | 18  | 30  | 30  | 15  | 11  | 290   |
| 6 耳鼻咽喉疾患      | 25  | 60  | 29  | 19  | 15  | 19  | 29  | 50  | 36  | 29  | 31  | 23  | 365   |
| 7 神経疾患        | 19  | 38  | 34  | 39  | 22  | 19  | 22  | 16  | 27  | 36  | 18  | 21  | 311   |
| 8 泌尿・生殖器系疾患   | 6   | 12  | 12  | 9   | 7   | 8   | 5   | 2   | 12  | 2   | 6   | 6   | 87    |
| 9 眼疾患         | 10  | 26  | 8   | 12  | 5   | 5   | 1   | 4   | 13  | 7   | 6   | 12  | 109   |
| 10 代謝性疾患      | 4   | 6   | 6   | 14  | 8   | 5   | 6   | 6   | 7   | 10  | 6   | 7   | 85    |
| 11 その他        | 33  | 50  | 33  | 59  | 41  | 48  | 44  | 38  | 42  | 47  | 48  | 38  | 521   |

※ 1 その他：誤飲・歯科・外科系疾患等

※ 2 疾病動向は分類上、同一患者で複数件含む場合があります。

### ⑤分類内訳

#### 【呼吸器系疾患】

感冒、上気道炎、咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎、気管支炎、喘息様気管支炎、肺炎、気管支拡張症、気胸、クループ等

#### 【消化器系疾患】

口内炎、口角炎、胃炎、腸炎、虫垂炎、腸閉塞（イレウス）、腸重積、肝炎、鼠形ヘルニア、便秘、血便、腹症、流行性嘔吐、下痢症、いつ乳、新生児メレナ（下血）、幽門狭窄、鵝口瘡、口唇ヘルペス、口内カンジダ、乳糖不耐症等

#### 【免疫・アレルギー性疾患】

喘息、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、ストロフルス、薬物アレルギー、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎、単核球症等

【感染性疾患】

麻疹、風疹、感染性紅斑（りんご病）、突発性発疹、水痘、带状疱疹、手足口病、流行性耳下腺炎、咽頭結膜症、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、ヘルペス、百日咳、ブドウ球菌感染症、溶連菌感染症、真菌症、ムンプス、髄膜炎、敗血症、川崎病、蜂窩織炎、臍炎等

【代謝性疾患】

アセトン血性嘔吐症、頻回嘔吐、脱水症、熱中症、熱射病等

【耳鼻咽喉疾患】

中耳炎、外耳炎、副鼻腔炎、鼻出血等

【皮膚系疾患】

湿疹、汗疹、オムツかぶれ、点状出血、びらん、膿痂疹、薬疹、湿出性紅斑、咬虫症（虫刺され）、痒疹、とびひ等

【神経性疾患】

てんかん、熱性痙攣、ひきつけ、熱性せん妄等

【泌尿・生殖器系疾患】

尿路感染症、ネフローゼ症候群、血尿、腎盂腎炎、膀胱炎、亀頭包皮炎炎、陰門腺炎、カンジダ等

【眼疾患】

結膜炎、眼瞼炎等

【その他】

精神疾患（過換気症候群等）、血液疾患（血管性紫斑病等）、循環器系疾患（起立性調節障害等）、内分泌疾患、歯科疾患、外科疾患（肘内障、口唇裂傷含む）、リンパ節炎、低体温、低酸素、低血圧、低血糖、意識障害、チアノーゼ、発熱、頭痛、その他分類にないもの

《考 察》

受診者居住地の広域性に特徴があり、初期急病に対して 97%の処置状況から印旛地域において重要な初期救急医療の機能を担っている。受診者数は流行性の疾患により大きく変わるが、機能分担を明確にした医療を提供していることを利用方法の周知と合わせて行う必要がある。

### ３．佐倉市特定疾患見舞金支給事業

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 根拠法令等 | 佐倉市特定疾患見舞金支給条例（昭和４９年佐倉市条例第１１号） |
|-------|--------------------------------|

#### 《目 的》

条例で指定する特定疾患の長期療養者に対し、見舞金を支給することにより、その心身の安定と福祉の増進を図る。

#### 《内 容》

- ①対象者 佐倉市に住所を有する特定疾患罹患で市が認定した者
- ②申請方法 申請窓口：健康管理センター、西部保健センター、南部保健センター  
必要書類：佐倉市特定疾患見舞金支給申請書、千葉県特定疾患医療受給者票（写）  
または千葉県小児慢性特定疾患医療受診券（写） ※生活保護は申請書用診断書
- ③支給内容 見舞金：受給権者へ毎月 5,000 円の見舞金を支給する。（口座振込）  
現況確認：毎年 10 月 31 日までに受給者票等（生活保護は診断書）を確認する。
- ④周知方法 健康カレンダー、「こうほう佐倉」掲載、窓口配架（制度の案内）

#### 《実 績》

- ①受給権者疾病動向（平成２３年３月分：９６５人）

##### ア．特定疾患

| 疾病名             | 人数  | 割合    | 疾病名             | 人数  | 割合    | 疾病名            | 人数 | 割合   |
|-----------------|-----|-------|-----------------|-----|-------|----------------|----|------|
| ベーチェット病         | 32  | 3.3%  | パーキンソン病関連疾患     | 143 | 14.8% | 肺動脈性肺高血圧症      | 0  | 0.0% |
| 多発性硬化症          | 20  | 2.1%  | アミロイドーシス        | 1   | 0.1%  | 神経線維腫症         | 3  | 0.3% |
| 重症筋無力症          | 26  | 2.7%  | 後縦靱帯骨化症         | 29  | 3.0%  | 亜急性硬化性全脳炎      | 0  | 0.0% |
| 全身性エリテマトーデス     | 97  | 10.1% | ハンチントン病         | 1   | 0.1%  | バッド・キアリ症候群     | 0  | 0.0% |
| スモン症            | 2   | 0.2%  | モヤモヤ病           | 16  | 1.7%  | 慢性血栓性肺高血圧症     | 1  | 0.1% |
| 再生不良性貧血         | 8   | 0.8%  | ウエゲナー肉芽腫症       | 2   | 0.2%  | ライソゾーム病        | 0  | 0.0% |
| サルコイドーシス        | 16  | 1.7%  | 特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 30  | 3.1%  | 副腎白質ジストロフィー    | 0  | 0.0% |
| 筋萎縮性側索硬化症       | 8   | 0.8%  | 多系統萎縮症          | 8   | 0.8%  | 家族性高コレステロール血症  | 0  | 0.0% |
| 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 64  | 6.6%  | 表皮水疱症           | 1   | 0.1%  | 脊髄性筋萎縮症        | 3  | 0.3% |
| 特発性血小板減少性紫斑病    | 23  | 2.4%  | 膿疱性乾癬           | 1   | 0.1%  | 球脊髄性筋萎縮症       | 1  | 0.1% |
| 結節性動脈周囲炎        | 7   | 0.7%  | 広範脊柱管狭窄症        | 5   | 0.5%  | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎  | 1  | 0.1% |
| 潰瘍性大腸炎          | 127 | 13.2% | 原発性胆汁性肝硬変       | 19  | 2.0%  | 肥大型心筋症         | 3  | 0.3% |
| 大動脈炎症候群         | 6   | 0.6%  | 重症急性膵炎          | 0   | 0.0%  | 拘束型心筋症         | 0  | 0.0% |
| ビュルガー病          | 12  | 1.3%  | 特発性大腿骨頭壊死症      | 10  | 1.0%  | ミトコンドリア病       | 0  | 0.0% |
| 天疱瘡             | 0   | 0.0%  | 混合性結合組織病        | 10  | 1.0%  | リンパ管筋筋腫症（LAM）  | 1  | 0.1% |
| 脊髄小脳変性症         | 42  | 4.4%  | 原発性免疫不全症候群      | 3   | 0.3%  | 重症多形滲出性紅斑(急性期) | 0  | 0.0% |
| クローン病           | 40  | 4.2%  | 特発性間質性肺炎        | 9   | 0.9%  | 黄色靱帯骨化症        | 1  | 0.1% |
| 難治性の肝炎のうち劇症肝炎   | 0   | 0.0%  | 網膜色素変性症         | 57  | 5.9%  | 間脳下垂体機能障害      | 12 | 1.3% |
| 悪性関節リウマチ        | 3   | 0.3%  | プリオン病           | 1   | 0.1%  |                |    |      |

## イ. 小児慢性特定疾患

| 疾病名     | 人数 | 割合   | 疾病名     | 人数 | 割合   | 疾病名         | 人数 | 割合   |
|---------|----|------|---------|----|------|-------------|----|------|
| 悪性新生物   | 11 | 1.1% | 内分泌疾患   | 13 | 1.4% | 血友病等血液・免疫疾患 | 0  | 0.0% |
| 慢性腎疾患   | 1  | 0.1% | 膠原病     | 4  | 0.4% | 神経・筋疾患      | 3  | 0.3% |
| 慢性呼吸器疾患 | 2  | 0.2% | 糖尿病     | 8  | 0.8% | 慢性消化器疾患     | 1  | 0.1% |
| 慢性心疾患   | 15 | 1.6% | 先天性代謝異常 | 2  | 0.2% |             |    |      |

## ②事業の推移

| 年度      | 18年度   | 19年度   | 20年度   | 21年度   | 22年度   |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 支給額（千円） | 72,145 | 68,905 | 48,270 | 51,805 | 52,155 |
| 対前年比（％） | 2.3%増  | 4.5%減  | 29.9%減 | 7.3%増  | 0.7%増  |
| 延べ人数（人） | 14,429 | 13,781 | 9,654  | 10,361 | 10,431 |

※対前年比は、見舞金支給額(扶助費)の対前年度比率、小数点以下第2位を四捨五入

## 《考 察》

平成21年10月30日から千葉県特定疾患治療研究事業に11疾患が追加されたことにともない、平成22年度から見舞金の対象疾患に11疾患が追加された。また、小児慢性特定疾患の11疾患群も支給対象として追加され、対象範囲が拡大した。



## ４．在宅寝たきり老人等訪問歯科診療事業

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 根拠法令等 | 佐倉市休日夜間急病等診療所の設置及び管理に関する条例 |
|-------|----------------------------|

### 《目 的》

歯科診療を受けることが困難な在宅寝たきり老人等に対し、訪問による歯科診療及び歯科保健指導を実施する。

### 《内 容》

- ①対 象 市内に在住する概ね 65 歳以上で寝たきりあるいはそれに近い状態、かつ歯科通院が困難な方。
- ②内 容 ア．入れ歯の修理・調整や作成  
イ．むし歯の応急処置など
- ③従事者 歯科医師、歯科衛生士等
- ④費 用 保険診療による自己負担額

### 《実 績》

①年齢別・男女別申込者数（人）

|         | 男 | 女  | 合計 |
|---------|---|----|----|
| 55～59 歳 | 1 | 0  | 1  |
| 60～64 歳 | 0 | 2  | 2  |
| 65～69 歳 | 2 | 1  | 3  |
| 70～74 歳 | 1 | 1  | 2  |
| 75～79 歳 | 1 | 3  | 4  |
| 80～84 歳 | 0 | 5  | 5  |
| 85～89 歳 | 1 | 1  | 2  |
| 90 歳以上  | 1 | 3  | 4  |
| 合計      | 7 | 16 | 23 |

②年齢別診療内容の内訳(複数回答) (人)

|         | 義歯作成 | 義歯修理・調整 | う歯 | ブリッジ固定 | 薬剤指導 | 診査のみ |
|---------|------|---------|----|--------|------|------|
| 55～59 歳 | 0    | 0       | 0  | 0      | 0    | 1    |
| 60～64 歳 | 0    | 2       | 0  | 0      | 0    | 0    |
| 65～69 歳 | 0    | 2       | 1  | 0      | 0    | 0    |
| 70～74 歳 | 1    | 0       | 2  | 0      | 0    | 0    |
| 75～79 歳 | 1    | 2       | 0  | 1      | 0    | 0    |
| 80～84 歳 | 0    | 5       | 0  | 0      | 0    | 0    |
| 85～89 歳 | 0    | 2       | 0  | 0      | 0    | 0    |
| 90 歳以上  | 1    | 1       | 0  | 0      | 1    | 1    |
| 合計      | 3    | 14      | 3  | 1      | 1    | 2    |

③年度別・職種別訪問回数(事前調査含む) (人)

|          | 患者人数 | 訪問回数 | 患者 1 人あたり<br>平均訪問回数 | 歯科医師<br>訪問回数 | 歯科衛生士<br>訪問回数 |
|----------|------|------|---------------------|--------------|---------------|
| 平成 18 年度 | 12   | 60   | 5.0                 | 45           | 60            |
| 平成 19 年度 | 13   | 62   | 4.8                 | 48           | 62            |
| 平成 20 年度 | 20   | 77   | 3.9                 | 60           | 77            |
| 平成 21 年度 | 25   | 84   | 3.4                 | 58           | 84            |
| 平成 22 年度 | 23   | 76   | 3.3                 | 54           | 76            |

④ 在宅歯科研修会

ア. 講演会

- \* 日 時 平成 22 年 9 月 30 日(木) 午後 3 時から午後 5 時
- \* 場 所 佐倉市健康管理センター
- \* 演 題 『歯周病から見た長寿社会への対応』
- \* 講 師 鴨井 久一
- \* 参加人数 41 人

イ. 歯科講演会（印旛郡市歯科医師会佐倉地区・佐倉市共催行事）

- \* 日 時 平成 22 年 11 月 17 日(水) 午後 7 時 30 分から午後 9 時
- \* 場 所 佐倉市健康管理センター
- \* 演 題 『在宅歯科医療に必要な全身疾患の基礎知識』－インプラントの功罪－
- \* 講 師 外木 守雄
- \* 参加人数 34 人

《考 察》

申し込み人数は 23 人で、75 歳以上が 15 人で約 7 割を占めている。申し込み者については、ケアマネージャーからの紹介が増えている。今後も引き続き訪問歯科診療の安全・有効・迅速な事業運営に努める。

## 5. 学生指導

|       |                                             |
|-------|---------------------------------------------|
| 根拠法令等 | 保健師助産師看護師法、保健師助産師看護師法施行令、保健師助産師看護師学校養成所指定規則 |
|-------|---------------------------------------------|

### 《目 的》

専門職の養成学校実習生を受け入れることにより、地域医療や地域看護等の担い手である専門職の育成に協力する。

### 《内 容》

実習グループごとに学生指導担当者をもうけ、実習オリエンテーション、実習目的に即した保健事業の見学、参加等を実施。行政における保健事業の実際、地域における専門職の役割等について、理解を深めてもらう。

### 《実 績》

| 学校名                | 日数 | 人数 | 指導担当者数 | 備考                              |
|--------------------|----|----|--------|---------------------------------|
| 東邦大学佐倉看護専門学校       | 40 | 30 | 10     | 1グループ(3人)4日間の実習期間で計10グループを受け入れ。 |
| 成田赤十字看護専門学校        | 5  | 4  | 1      | 1グループ(4人)5日間の実習期間で、1グループを受け入れ。  |
| 千葉大学<br>(看護学部)     | 1  | 1  | 1      | 実習生1名1日の実習期間で受け入れ。              |
| 国立看護大学校<br>(看護学部)  | 1  | 2  | 1      | 実習生2名1日の実習期間で受け入れ。              |
| 和洋女子大学<br>(健康栄養学科) | 2  | 1  | 1      | 実習生1名2日間の実習期間で受け入れ。             |
| 合計                 | 49 | 38 | 14     |                                 |

### 《考 察》

学生実習については、実習が円滑に行えるよう教務との打ち合わせを行う中で、受け入れを行っている。また、学生指導担当者は、看護系の学校に関しては主任保健師以上とし、ある程度の実務経験を積んだ職員で指導にあたっている。

今後も、学生指導担当者の資質向上を図りつつ、実習の受け入れを行っていききたい。

## **VIII 各種委員会名簿**

## 佐倉市地域保健医療協議会

| 開催日                 | 内 容                                                                                                                                                                                               | 出席人数 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 平成 22 年 4 月 14 日（水） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健事業における健診の精度管理について</li> <li>・母子保健専門委員会の設置について</li> <li>・定期の予防接種以外の予防接種の実施について</li> <li>・平成 22 年度の佐倉市の保健事業について</li> <li>・平成 22 年度の佐倉市の健診について</li> </ul> | 13 名 |

（委嘱期間：平成 21 年 8 月 26 日～平成 23 年 8 月 25 日）

| 役職  | 氏 名    | 選 出 区 分           | 備 考                 |
|-----|--------|-------------------|---------------------|
| 会長  | 天本 安一  | 医師                | 平成 22 年 4 月 1 日より   |
| 副会長 | 佐藤 俊則  | 歯科医師              |                     |
|     | 遠山 正博  | 医師                |                     |
|     | 木村 正久  | 医師                | 平成 22 年 5 月 31 日まで  |
|     | 大塚 克好  | 医師                | 平成 22 年 5 月 31 日まで  |
|     | 鹿野 純生  | 医師                | 平成 22 年 11 月 12 日より |
|     | 伊藤 加寿子 | 医師                | 平成 22 年 7 月 6 日より   |
|     | 越部 融   | 医師                | 平成 22 年 4 月 1 日より   |
|     | 田上 恵   | 医師                |                     |
|     | 南 昌平   | 医師                |                     |
|     | 坪井 裕次郎 | 歯科医師              |                     |
|     | 伊藤 圭   | 歯科医師              |                     |
|     | 伊藤 克洋  | 薬剤師               |                     |
|     | 井上 孝夫  | 千葉県印旛保健所 所長       |                     |
|     | 鈴木 義信  | 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防長 | 平成 22 年 4 月 1 日より   |

## 予防接種専門委員会

| 開催日                  | 内 容                    | 出席人数 |
|----------------------|------------------------|------|
| 平成 22 年 4 月 6 日（火）   | ・定期の予防接種以外の予防接種の実施について | 3 名  |
| 平成 22 年 7 月 6 日（火）   | ・予防接種事故再発防止について        | 5 名  |
| 平成 22 年 10 月 22 日（金） | ・日本脳炎予防接種の特例措置の対応について  | 4 名  |

|                     |                                                                                                               |     |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 平成 23 年 1 月 20 日（木） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 23 年度実施予定の子宮頸がん等任意予防接種の事業概要について</li> <li>・ポリオ集団予防接種について</li> </ul> | 4 名 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|

（委嘱期間：平成 21 年 10 月 1 日～平成 23 年 8 月 25 日）

| 役職   | 氏 名    | 選 出 区 分 | 備 考                |
|------|--------|---------|--------------------|
| 委員長  | 大塚 克好  | 医師      | 平成 22 年 5 月 31 日まで |
| 委員長  | 伊藤 加寿子 | 医師      |                    |
| 副委員長 | 天本 安一  | 医師      |                    |
|      | 越部 融   | 医師      | 平成 22 年 7 月 6 日より  |
|      | 都祭 敦   | 医師      |                    |
|      | 澤井 清   | 医師      | 平成 22 年 7 月 6 日より  |

## 健診専門委員会

| 開 催 日                | 内 容                                                                                                                                                                           | 出席人数 |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 平成 22 年 11 月 12 日（木） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・40 歳代の乳がん検診の二方向化等について</li> <li>・子宮頸がん検診の検査方法について</li> <li>・健診における生活機能評価の廃止について</li> <li>・平成 20 年度特定健診開始後の各種健診（検診）の受診傾向について</li> </ul> | 5 名  |

（委嘱期間：平成 22 年 2 月 17 日～平成 23 年 8 月 25 日）

| 役職   | 氏 名   | 選 出 区 分 | 備 考                 |
|------|-------|---------|---------------------|
| 委員長  | 木村 正久 | 医師      | 平成 22 年 5 月 31 日まで  |
| 委員長  | 鹿野 純生 | 医師      | 平成 22 年 11 月 12 日より |
| 副委員長 | 天本 安一 | 医師      | 平成 22 年 4 月 1 日より   |
|      | 石井 英世 | 医師      |                     |
|      | 常富 重幸 | 医師      |                     |
|      | 高橋 具視 | 医師      |                     |
|      | 菅谷 義範 | 医師      |                     |
|      | 今井 敬人 | 医師      |                     |

## 母子保健専門委員会

| 開催日                 | 内 容                                                                                       | 出席人数 |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 平成 22 年 7 月 13 日（火） | ・ 1 歳 6 か月健診の個別健診導入について<br>・ 3 歳児健診の全員診察について                                              | 5 名  |
| 平成 23 年 3 月 11 日（金） | ・ 1 歳 6 か月児健診の実施状況について<br>・ 医師診察の実施内容の見直しについて<br>・ 3 歳児健診の実施状況について<br>・ 3 歳児健診の精密健康診査について | 3 名  |

（委嘱期間：平成 22 年 7 月 13 日～平成 23 年 8 月 25 日）

| 役職   | 氏 名    | 選 出 区 分 |
|------|--------|---------|
| 委員長  | 越部 融   | 医師      |
| 副委員長 | 天本 安一  | 医師      |
|      | 泉 均    | 医師      |
|      | 川村 麻規子 | 医師      |
|      | 山森 真紀  | 医師      |

## 佐倉市健やかまちづくり推進委員会

（委嘱期間：平成 21 年 11 月 18 日～平成 23 年 11 月 17 日）

| 役職  | 氏名     | 選出区分        |
|-----|--------|-------------|
| 会長  | 石井 英世  | 医師          |
| 副会長 | 望月 敬   | 歯科医師        |
|     | 天本 安一  | 医師          |
|     | 菅谷 義範  | 医師          |
|     | 森田 眞岐男 | 千葉県印旛保健所 次長 |
|     | 島内 憲夫  | 学識経験者       |
|     | 吉村 真理子 | 学識経験者       |
|     | 亀野 陽太郎 | 市民団体        |
|     | 旦木 みさを | 市民団体        |
|     | 當山 真理子 | 市民公募委員      |
|     | 白石 義孝  | 市民公募委員      |
|     | 菅原 千賀子 | 市民公募委員      |
|     | 菅原 勝徳  | 市民公募委員      |
|     | 向後 宏行  | 市民公募委員      |

## 佐倉市予防接種健康被害調査委員会

(委嘱期間：平成 22 年 5 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日)

| 役職 | 氏 名    | 選 出 区 分      | 備 考                |
|----|--------|--------------|--------------------|
|    | 遠山 正博  | 社団法人印旛市郡医師会長 |                    |
|    | 伊藤 加寿子 | 佐倉市予防接種医師代表  | 平成 22 年 7 月 14 日より |
|    | 上西 徹二  | 佐倉市予防接種医師代表  |                    |
|    | 天本 安一  | 佐倉市予防接種医師代表  |                    |
|    | 白澤 浩   | 専門医師         |                    |
|    | 井上 孝夫  | 千葉県印旛保健所長    |                    |

## 佐倉市在宅寝たきり老人等歯科保健推進協議会

| 開 催 日               | 内 容                                                                                                          | 出席人数 |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 平成 22 年 4 月 21 日(水) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 21 年度事業報告について</li> <li>・平成 22 年度事業計画について</li> <li>・その他</li> </ul> | 11 名 |

(委嘱期間：平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

| 役 職     | 氏 名   | 選 出 区 分   |
|---------|-------|-----------|
| 会 長     | 秤屋 尚生 | 歯科医師      |
| 副会長     | 池田 和人 | 医師        |
| 小委員会委員長 | 田中 宏  | 歯科医師      |
|         | 伊藤 克洋 | 薬剤師       |
|         | 榎澤 宗司 | 歯科医師      |
|         | 穴戸 英樹 | 医師        |
|         | 鳩貝 尚志 | 歯科医師      |
|         | 古谷 彰伸 | 歯科医師      |
|         | 堀 勝   | 歯科医師      |
|         | 渡邊 征男 | 歯科医師      |
|         | 井上 孝夫 | 千葉県印旛保健所長 |



## 佐倉市休日夜間急病診療所運営協議会

| 開 催 日         | 内 容                                                                                                              | 出席人数 |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 平成22年7月21日(水) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度実績報告について</li> <li>・平成22年度休日夜間急病診療所の運営について</li> <li>・その他</li> </ul> | 7名   |

(委嘱期間：平成22年4月1日～平成24年3月31日)

| 役職  | 氏 名    | 選 出 区 分           |
|-----|--------|-------------------|
| 会長  | 天本 安一  | 医師                |
| 副会長 | 坪井 裕次郎 | 歯科医師              |
|     | 上西 徹二  | 医師                |
|     | 越部 融   | 医師                |
|     | 平野 啓行  | 歯科医師              |
|     | 大谷 一郎  | 歯科医師              |
|     | 伊藤 克洋  | 薬剤師               |
|     | 渡辺 幸夫  | 薬剤師               |
|     | 鈴木 義信  | 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防長 |

## **IX 衛生関係統計**

## 1. 人口及び世帯数

### 地区別人口の推移（合併時～平成23年）

（各年3月末現在「住民基本台帳人口」）

| 年\地区  | 全市      | 佐倉     | 臼井     | 志津     | 根郷     | 和田    | 弥富    | 千代田    |
|-------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 昭和29年 | 35,196  | 12,969 | 4,195  | 5,749  | 5,504  | 3,516 | 3,263 | —      |
| 昭和35年 | 37,705  | 15,090 | 4,287  | 6,044  | 6,057  | 3,076 | 3,151 | —      |
| 昭和40年 | 40,528  | 14,935 | 4,852  | 8,656  | 6,147  | 3,019 | 2,919 | —      |
| 昭和45年 | 58,914  | 15,833 | 6,510  | 21,404 | 7,071  | 2,769 | 2,711 | 2,616  |
| 昭和50年 | 80,972  | 19,845 | 9,011  | 35,063 | 8,826  | 2,709 | 2,607 | 2,911  |
| 昭和55年 | 99,616  | 21,996 | 15,119 | 42,147 | 12,004 | 2,654 | 2,539 | 3,157  |
| 昭和60年 | 120,459 | 24,813 | 23,609 | 51,155 | 12,579 | 2,622 | 2,464 | 3,217  |
| 平成元年  | 138,411 | 26,070 | 29,532 | 56,678 | 17,841 | 2,577 | 2,364 | 3,349  |
| 平成5年  | 155,328 | 29,207 | 32,114 | 61,884 | 22,662 | 2,532 | 2,292 | 4,637  |
| 平成10年 | 170,292 | 31,168 | 32,968 | 68,037 | 24,549 | 2,441 | 2,199 | 8,930  |
| 平成15年 | 175,033 | 30,853 | 32,873 | 71,808 | 25,132 | 2,296 | 2,052 | 10,019 |
| 平成20年 | 175,134 | 30,225 | 32,023 | 73,088 | 25,256 | 2,171 | 1,855 | 10,516 |
| 平成23年 | 176,169 | 30,064 | 31,608 | 74,768 | 24,993 | 2,088 | 1,754 | 10,894 |

### 地区別人口割合（合併時～平成23年）

（各年3月末現在「住民基本台帳人口」）

| 年\地区  | 佐倉    | 臼井    | 志津    | 根郷    | 和田    | 弥富   | 千代田  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 昭和29年 | 36.8% | 11.9% | 16.3% | 15.6% | 10.0% | 9.3% | -    |
| 昭和35年 | 40.0% | 11.4% | 16.0% | 16.1% | 8.2%  | 8.4% | -    |
| 昭和40年 | 36.9% | 12.0% | 21.4% | 15.2% | 7.4%  | 7.2% | -    |
| 昭和45年 | 26.9% | 11.1% | 36.3% | 12.0% | 4.7%  | 4.6% | 4.4% |
| 昭和50年 | 24.5% | 11.1% | 43.3% | 10.9% | 3.3%  | 3.2% | 3.6% |
| 昭和55年 | 22.1% | 15.2% | 42.3% | 12.1% | 2.7%  | 2.5% | 3.2% |
| 昭和60年 | 20.6% | 19.6% | 42.5% | 10.4% | 2.2%  | 2.0% | 2.7% |
| 平成元年  | 18.8% | 21.3% | 40.9% | 12.9% | 1.9%  | 1.7% | 2.4% |
| 平成5年  | 18.8% | 20.7% | 39.8% | 14.6% | 1.6%  | 1.5% | 3.0% |
| 平成10年 | 18.3% | 19.4% | 40.0% | 14.4% | 1.4%  | 1.3% | 5.2% |
| 平成15年 | 17.6% | 18.8% | 41.0% | 14.4% | 1.3%  | 1.2% | 5.7% |
| 平成20年 | 17.3% | 18.3% | 41.7% | 14.4% | 1.2%  | 1.1% | 6.0% |
| 平成23年 | 17.1% | 17.9% | 42.4% | 14.2% | 1.2%  | 1.0% | 6.2% |

# 地区別世帯数の推移（合併時～平成23年）

（各年3月末現在「住民基本台帳人口」）

| 年\地区  | 全市     | 佐倉     | 臼井     | 志津     | 根郷     | 和田  | 弥富  | 千代田   |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|-----|-------|
| 昭和29年 | 6,838  | —      | —      | —      | —      | —   | —   | —     |
| 昭和35年 | 7,614  | 3,284  | 878    | 1,179  | 1,185  | 521 | 567 | —     |
| 昭和40年 | 8,864  | 3,417  | 1,062  | 1,963  | 1,339  | 532 | 551 | —     |
| 昭和45年 | 15,201 | 4,221  | 1,638  | 5,805  | 1,810  | 567 | 567 | 593   |
| 昭和50年 | 22,347 | 5,627  | 2,385  | 9,749  | 2,701  | 594 | 592 | 699   |
| 昭和55年 | 28,285 | 6,596  | 4,130  | 12,011 | 3,503  | 635 | 611 | 799   |
| 昭和60年 | 35,014 | 7,540  | 6,689  | 14,853 | 3,804  | 653 | 623 | 852   |
| 平成元年  | 41,826 | 8,374  | 8,681  | 17,040 | 5,508  | 664 | 620 | 939   |
| 平成5年  | 49,684 | 1,009  | 9,948  | 19,843 | 7,201  | 682 | 628 | 1,373 |
| 平成10年 | 57,641 | 11,132 | 10,978 | 23,237 | 8,244  | 712 | 634 | 2,704 |
| 平成15年 | 63,456 | 11,674 | 11,916 | 26,282 | 9,030  | 741 | 635 | 3,178 |
| 平成20年 | 68,183 | 12,387 | 12,587 | 28,499 | 9,707  | 766 | 639 | 3,598 |
| 平成23年 | 71,010 | 12,706 | 12,911 | 29,972 | 10,091 | 773 | 655 | 3,902 |

### 年齢3区分別人口構成割合

(各年3月末現在「住民基本台帳人口」)

| 区分<br>年 | 総人口     |        |        | 年少人口（0～14才） |      |        |        | 生産年齢人口（15～64才） |      |        |        | 老年人口（65才以上） |      |        |        |
|---------|---------|--------|--------|-------------|------|--------|--------|----------------|------|--------|--------|-------------|------|--------|--------|
|         | 総数      | 男      | 女      | 総数          | 構成比% | 男      | 女      | 総数             | 構成比% | 男      | 女      | 総数          | 構成比% | 男      | 女      |
| 平成19年   | 175,126 | 86,509 | 88,617 | 22,129      | 12.6 | 11,354 | 10,775 | 120,963        | 69.1 | 60,277 | 60,686 | 32,034      | 18.3 | 14,878 | 17,156 |
| 平成20年   | 175,134 | 86,498 | 88,636 | 21,974      | 12.6 | 11,307 | 10,667 | 119,136        | 68.0 | 59,340 | 59,796 | 34,024      | 19.4 | 15,851 | 18,173 |
| 平成21年   | 175,601 | 86,648 | 88,953 | 21,949      | 12.5 | 11,289 | 10,660 | 117,326        | 66.8 | 58,439 | 58,887 | 36,326      | 20.7 | 16,920 | 19,406 |
| 平成22年   | 175,914 | 86,840 | 89,074 | 21,780      | 12.4 | 11,189 | 10,591 | 116,006        | 65.9 | 57,922 | 58,084 | 38,128      | 21.7 | 17,729 | 20,399 |
| 平成23年   | 176,169 | 87,020 | 89,149 | 21,782      | 12.4 | 11,225 | 10,557 | 115,138        | 65.3 | 57,494 | 57,644 | 39,249      | 22.3 | 18,301 | 20,948 |

### 地区別年齢3区分別人口構成割合

(平成23年3月末現在「住民基本台帳人口」)

| 区分<br>地区 | 総人口     |        |        | 年少人口（0～14才） |      |        |        | 生産年齢人口（15～64才） |      |        |        | 老年人口（65才以上） |      |        |        |
|----------|---------|--------|--------|-------------|------|--------|--------|----------------|------|--------|--------|-------------|------|--------|--------|
|          | 総数      | 男      | 女      | 総数          | 構成比% | 男      | 女      | 総数             | 構成比% | 男      | 女      | 総数          | 構成比% | 男      | 女      |
| 全市       | 176,169 | 87,020 | 89,149 | 21,782      | 12.4 | 11,225 | 10,557 | 115,138        | 65.3 | 57,494 | 57,644 | 39,249      | 22.3 | 18,301 | 20,948 |
| 佐倉       | 30,064  | 14,757 | 15,307 | 3,167       | 10.5 | 1,598  | 1,569  | 19,181         | 63.8 | 9,720  | 9,461  | 7,716       | 25.7 | 3,439  | 4,277  |
| 臼井       | 31,608  | 15,707 | 15,901 | 3,770       | 11.9 | 1,996  | 1,774  | 20,415         | 64.6 | 10,107 | 10,308 | 7,423       | 23.5 | 3,604  | 3,819  |
| 志津       | 74,768  | 36,688 | 38,080 | 9,907       | 13.2 | 5,115  | 4,792  | 48,506         | 64.9 | 23,882 | 24,624 | 16,355      | 21.9 | 7,691  | 8,664  |
| 根郷       | 24,993  | 12,575 | 12,418 | 3,067       | 12.3 | 1,548  | 1,519  | 17,308         | 69.2 | 8,872  | 8,436  | 4,618       | 18.5 | 2,155  | 2,463  |
| 和田       | 2,088   | 1,051  | 1,037  | 227         | 10.9 | 119    | 108    | 1,271          | 60.9 | 679    | 592    | 590         | 28.2 | 253    | 337    |
| 弥富       | 1,754   | 870    | 884    | 138         | 7.9  | 71     | 67     | 1,034          | 58.9 | 546    | 488    | 582         | 33.2 | 253    | 329    |
| 千代田      | 10,894  | 5,372  | 5,522  | 1,506       | 13.8 | 778    | 728    | 7,423          | 68.2 | 3,688  | 3,735  | 1,965       | 18.0 | 906    | 1,059  |

### 年齢3区分別構成割合、構造指数

市：各年 4月1日現在

県：各年 4月1日現在

国：各年10月1日現在

|       |   | 年齢3区分別構成割合（％） |                 |                    |                 | 指数         |            |            |           |
|-------|---|---------------|-----------------|--------------------|-----------------|------------|------------|------------|-----------|
|       |   | 総数            | 年少人口<br>(0～14歳) | 生産年齢人口<br>(15～64歳) | 老年人口<br>(65歳以上) | 年少人口<br>指数 | 老年人口<br>指数 | 従属人口<br>指数 | 老年化<br>指数 |
| 平成18年 | 市 | 100           | 12.7            | 70.3               | 16.0            | 18.1       | 24.1       | 42.2       | 133.5     |
|       | 県 | 100           | 13.6            | 69.0               | 17.5            | 19.7       | 25.3       | 45.0       | 128.7     |
|       | 国 | 100           | 13.6            | 65.5               | 20.8            | 20.8       | 31.8       | 52.6       | 152.6     |
| 平成19年 | 市 | 100           | 12.6            | 69.1               | 18.3            | 18.3       | 26.5       | 44.8       | 144.8     |
|       | 県 | 100           | 13.5            | 68.2               | 18.3            | 19.8       | 26.9       | 46.6       | 135.8     |
|       | 国 | 100           | 13.5            | 65.0               | 21.5            | 20.8       | 33.1       | 53.9       | 158.8     |
| 平成20年 | 市 | 100           | 12.5            | 68.2               | 19.3            | 18.3       | 28.2       | 46.5       | 154.0     |
|       | 県 | 100           | 13.4            | 67.5               | 19.1            | 19.9       | 28.2       | 48.1       | 141.7     |
|       | 国 | 100           | 13.5            | 64.5               | 22.1            | 20.9       | 34.3       | 55.2       | 164.3     |
| 平成21年 | 市 | 100           | 12.5            | 67.0               | 20.5            | 18.6       | 30.6       | 49.1       | 164.5     |
|       | 県 | 100           | 13.4            | 66.7               | 19.9            | 20.1       | 29.7       | 49.8       | 148.2     |
|       | 国 | 100           | 13.3            | 63.9               | 22.7            | 20.9       | 35.6       | 56.5       | 170.5     |
| 平成22年 | 市 | 100           | 12.3            | 66.2               | 21.5            | 18.7       | 32.4       | 51.1       | 173.8     |
|       | 県 | 100           | 13.3            | 66.2               | 20.5            | 20.1       | 30.9       | 51.0       | 153.8     |
|       | 国 | 100           | 13.2            | 63.7               | 23.1            | 20.8       | 36.3       | 57.1       | 174.4     |

資料：市・県 印旛健康福祉センター事業年報

国 国民衛生の動向

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

## ２．人口動態

### 人口動態統計総覧

資料：印旛健康福祉センター事業年報

|   |       | 人 口<br><br>10月1日<br>現 在 | 出 生       |         |         |               |                     | 死 亡       |         |         |               | 乳児死亡  |               | 新生児死亡 |               | 死 産    |               |        |               | 周産期死亡 |               |                  |                 | 婚 姻     |               | 離 婚     |               |
|---|-------|-------------------------|-----------|---------|---------|---------------|---------------------|-----------|---------|---------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|-------|---------------|------------------|-----------------|---------|---------------|---------|---------------|
|   |       |                         | 総数        | 男       | 女       | 率<br>(人<br>対) | 2500g<br>未満<br>(再掲) | 総数        | 男       | 女       | 率<br>(人<br>対) | 実数    | 率<br>(性<br>対) | 実数    | 率<br>(性<br>対) | 自然死産   |               | 人工死産   |               | 総数    |               | 後<br>期<br>死<br>産 | 早期<br>新生児<br>死亡 | 件数      | 率<br>(人<br>対) | 件数      | 率<br>(人<br>対) |
|   |       |                         |           |         |         |               |                     |           |         |         |               |       |               |       |               | 実数     | 率<br>(性<br>対) | 実数     | 率<br>(性<br>対) | 実数    | 率<br>(性<br>対) |                  |                 |         |               |         |               |
| 市 | 平成17年 | 172,343                 | 1,169     | 590     | 579     | 6.8           | 101                 | 1,232     | 660     | 572     | 7.1           | 6     | 5.1           | 6     | 5.1           | 16     | 13.3          | 15     | 12.5          | 13    | 11.0          | 8                | 5               | 859     | 5.0           | 312     | 1.8           |
|   | 平成18年 | 171,381                 | 1,213     | 626     | 587     | 7.1           | 127                 | 1,204     | 674     | 530     | 7.0           | 4     | 3.3           | 1     | 0.8           | 16     | 12.1          | 15     | 12.1          | 6     | 4.9           | 5                | 1               | 791     | 4.6           | 305     | 1.8           |
|   | 平成19年 | 171,343                 | 1,302     | 691     | 611     | 7.6           | 129                 | 1,239     | 668     | 571     | 7.2           | 3     | 2.3           | 2     | 1.5           | 17     | 12.7          | 18     | 13.5          | 4     | 3.1           | 3                | 1               | 762     | 4.4           | 306     | 1.8           |
|   | 平成20年 | 171,747                 | 1,194     | 608     | 586     | 7.0           | 108                 | 1,311     | 733     | 578     | 7.6           | 7     | 5.9           | 4     | 3.4           | 23     | 18.7          | 13     | 10.6          | 8     | 6.7           | 5                | 3               | 785     | 4.6           | 274     | 1.6           |
|   | 平成21年 | 172,451                 | 1,213     | 599     | 614     | 7.0           | 100                 | 1,280     | 715     | 565     | 7.4           | -     | -             | -     | -             | 17     | 13.6          | 23     | 18.4          | 5     | 4.1           | 5                | -               | 828     | 4.8           | 314     | 1.82          |
| 県 | 平成17年 | 6,056,159               | 50,589    | 25,889  | 24,700  | 8.5           | 4,554               | 44,027    | 24,430  | 19,597  | 7.4           | 147   | 2.9           | 76    | 1.5           | 772    | 14.8          | 714    | 13.7          | 253   | 5.0           | 199              | 54              | 35,506  | 5.9           | 12,582  | 2.10          |
|   | 平成18年 | 6,077,929               | 51,760    | 26,580  | 25,180  | 8.6           | 4,745               | 44,779    | 24,629  | 20,150  | 7.5           | 136   | 2.6           | 72    | 1.4           | 706    | 13.3          | 631    | 11.9          | 241   | 4.6           | 192              | 49              | 36,389  | 6.1           | 12,440  | 2.07          |
|   | 平成19年 | 6,108,809               | 51,819    | 26,575  | 25,244  | 8.6           | 4,755               | 45,470    | 25,195  | 20,275  | 7.6           | 134   | 2.6           | 70    | 1.4           | 707    | 13.3          | 601    | 11.3          | 258   | 5.0           | 203              | 55              | 35,750  | 5.9           | 12,353  | 2.05          |
|   | 平成20年 | 6,147,347               | 52,306    | 26,877  | 25,429  | 8.7           | 4,716               | 47,147    | 25,811  | 21,336  | 7.8           | 133   | 2.5           | 59    | 1.1           | 669    | 12.5          | 643    | 12.0          | 210   | 4.0           | 171              | 39              | 36,158  | 6.0           | 12,187  | 2.02          |
|   | 平成21年 | 6,183,743               | 51,840    | 26,775  | 25,065  | 8.6           | 4,773               | 47,812    | 26,511  | 21,301  | 7.9           | 137   | 2.6           | 73    | 1.4           | 676    | 12.7          | 546    | 10.3          | 267   | 5.1           | 213              | 54              | 35,671  | 5.9           | 12,495  | 2.06          |
| 国 | 平成17年 | 127,756,815             | 1,062,604 | 545,064 | 517,540 | 8.4           | 101,286             | 1,084,012 | 585,118 | 498,894 | 8.6           | 2,960 | 2.8           | 1,509 | 1.4           | 13,496 | 12.3          | 18,334 | 16.8          | 5,147 | 4.8           | 4,057            | 1,090           | 714,261 | 5.7           | 261,929 | 2.08          |
|   | 平成18年 | 127,769,510             | 1,092,662 | 560,434 | 532,228 | 8.7           | 104,569             | 1,084,488 | 581,392 | 503,096 | 8.6           | 2,863 | 2.6           | 1,444 | 1.3           | 13,419 | 11.9          | 17,493 | 15.6          | 5,096 | 4.6           | 4,043            | 1,053           | 730,973 | 5.8           | 257,973 | 2.04          |
|   | 平成19年 | 126,085,000             | 1,089,745 | 559,806 | 529,939 | 8.6           | 105,156             | 1,108,280 | 592,759 | 515,521 | 8.8           | 2,828 | 2.6           | 1,433 | 1.3           | 13,117 | 11.7          | 16,206 | 14.5          | 4,903 | 4.5           | 3,852            | 1,051           | 719,801 | 5.7           | 254,822 | 2.02          |
|   | 平成20年 | 125,947,000             | 1,091,150 | 559,513 | 531,637 | 8.7           | 104,480             | 1,142,467 | 608,737 | 533,730 | 9.1           | 2,798 | 2.6           | 1,331 | 1.2           | 12,626 | 11.3          | 15,556 | 13.9          | 4,721 | 4.3           | 3,752            | 969             | 726,113 | 5.8           | 251,147 | 1.99          |
|   | 平成21年 | 127,509,567             | 1,070,025 | 548,989 | 521,036 | 8.5           | 102,672             | 1,141,920 | 609,079 | 532,841 | 9.1           | 2,556 | 2.4           | 1,254 | 1.2           | 12,218 | 11.1          | 14,803 | 13.5          | 4,517 | 4.2           | 3,643            | 874             | 707,824 | 5.6           | 253,408 | 2.01          |

# 主要死因別死亡状況（平成17年）

（率は、人口10万対）

| 順位 | 市          |     |     |     |       | 県     |        |       |       |       | 国        |         |         |         |       |
|----|------------|-----|-----|-----|-------|-------|--------|-------|-------|-------|----------|---------|---------|---------|-------|
|    | 死因         | 総数  | 男   | 女   | 率     | 死因    | 総数     | 男     | 女     | 率     | 死因       | 総数      | 男       | 女       | 率     |
| 1  | 悪性新生物      | 378 | 221 | 157 | 219.3 | 悪性新生物 | 13,516 | 8,333 | 5,183 | 226.1 | 悪性新生物    | 325,885 | 179,095 | 116,304 | 258.2 |
| 2  | 心疾患        | 216 | 107 | 109 | 125.3 | 心疾患   | 7,395  | 3,812 | 3,583 | 123.7 | 心疾患      | 173,026 | 72,101  | 74,532  | 137.1 |
| 3  | 脳血管疾患      | 156 | 80  | 76  | 90.5  | 脳血管疾患 | 5,370  | 2,677 | 2,693 | 89.8  | 脳血管疾患    | 132,799 | 63,107  | 69,382  | 105.2 |
| 4  | 肺炎         | 121 | 62  | 59  | 70.2  | 肺炎    | 4,268  | 2,278 | 1,990 | 71.4  | 肺炎       | 107,210 | 46,706  | 40,197  | 84.9  |
| 5  | 自殺         | 42  | 23  | 19  | 24.4  | 不慮の事故 | 1,547  | 988   | 559   | 25.9  | 不慮の事故    | 39,787  | 24,571  | 15,216  | 31.5  |
| 6  | その他呼吸器系の疾患 | 40  | 22  | 18  | 23.2  | 自殺    | 1,316  | 941   | 375   | 22.0  | 自殺       | 30,539  | 22,230  | 8,309   | 24.2  |
| 7  | 不慮の事故      | 38  | 23  | 15  | 22.0  | 老衰    | 1,133  | 297   | 836   | 18.9  | 老衰       | 26,336  | 6,676   | 19,660  | 20.9  |
| 8  | 腎不全        | 24  | 11  | 13  | 13.9  | 腎不全   | 734    | 356   | 378   | 12.3  | 腎不全      | 20,510  | 9,447   | 11,063  | 16.3  |
| 9  | 老衰         | 18  | 4   | 14  | 10.4  | 糖尿病   | 631    | 357   | 274   | 10.6  | 肝疾患      | 16,409  | 10,990  | 5,419   | 13.0  |
| 10 | 糖尿病        | 18  | 8   | 10  | 10.4  | 肝疾患   | 602    | 410   | 192   | 10.1  | 慢性閉塞性肺疾患 | 14,415  | 11,018  | 3,397   | 11.4  |

資料：印旛健康福祉センター事業年報

# 主要死因別死亡状況（平成18年）

（率は、人口10万対）

| 順位 | 市          |     |     |     |       | 県     |        |       |       |       | 国     |         |         |         |       |
|----|------------|-----|-----|-----|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|---------|-------|
|    | 死因         | 総数  | 男   | 女   | 率     | 死因    | 総数     | 男     | 女     | 率     | 死因    | 総数      | 男       | 女       | 率     |
| 1  | 悪性新生物      | 381 | 235 | 146 | 222.3 | 悪性新生物 | 13,750 | 8,428 | 5,322 | 229.2 | 悪性新生物 | 329,198 | 197,984 | 131,214 | 260.9 |
| 2  | 心疾患        | 221 | 103 | 118 | 129.0 | 心疾患   | 7,629  | 3,898 | 3,731 | 127.2 | 心疾患   | 172,875 | 82,715  | 90,160  | 137.0 |
| 3  | 脳血管疾患      | 141 | 78  | 63  | 82.3  | 脳血管疾患 | 5,248  | 2,595 | 2,653 | 87.5  | 脳血管疾患 | 128,203 | 61,314  | 66,889  | 101.6 |
| 4  | 肺炎         | 132 | 73  | 59  | 77.0  | 肺炎    | 4,243  | 2,218 | 2,025 | 70.7  | 肺炎    | 107,189 | 56,544  | 50,645  | 85.0  |
| 5  | その他呼吸器系の疾患 | 39  | 25  | 14  | 22.8  | 不慮の事故 | 1,511  | 937   | 574   | 25.2  | 不慮の事故 | 38,145  | 23,265  | 14,880  | 30.2  |
| 6  | 不慮の事故      | 33  | 19  | 14  | 19.3  | 自殺    | 1,291  | 906   | 385   | 21.5  | 自殺    | 29,887  | 21,401  | 8,486   | 23.7  |
| 7  | 自殺         | 30  | 20  | 10  | 17.5  | 老衰    | 1,230  | 320   | 910   | 20.5  | 老衰    | 27,745  | 6,867   | 20,878  | 22.0  |
| 8  | 老衰         | 19  | 3   | 16  | 11.1  | 腎不全   | 778    | 392   | 386   | 13.0  | 腎不全   | 21,182  | 9,739   | 11,443  | 16.8  |
| 9  | 糖尿病        | 18  | 10  | 8   | 10.5  | 肝疾患   | 655    | 437   | 218   | 10.9  | 肝疾患   | 16,248  | 10,897  | 5,351   | 12.9  |
| 10 | 大動脈瘤及び解離   | 18  | 10  | 8   | 10.5  | 糖尿病   | 638    | 369   | 269   | 10.6  | 糖尿病   | 14,341  | 10,891  | 3,450   | 11.4  |

資料：印旛健康福祉センター事業年報



# 主要死因別死亡状況（平成19年）

（率は、人口10万対）

| 順位 | 市          |     |     |     |       | 県     |        |       |       |       | 国        |         |         |         |       |
|----|------------|-----|-----|-----|-------|-------|--------|-------|-------|-------|----------|---------|---------|---------|-------|
|    | 死因         | 総数  | 男   | 女   | 率     | 死因    | 総数     | 男     | 女     | 率     | 死因       | 総数      | 男       | 女       | 率     |
| 1  | 悪性新生物      | 390 | 240 | 150 | 227.6 | 悪性新生物 | 13,974 | 8,707 | 5,267 | 232.2 | 悪性新生物    | 336,290 | 202,628 | 133,662 | 266.7 |
| 2  | 心疾患        | 234 | 124 | 110 | 136.6 | 心疾患   | 7,935  | 3,967 | 3,968 | 131.8 | 心疾患      | 175,396 | 83,009  | 92,387  | 139.1 |
| 3  | 肺炎         | 150 | 81  | 69  | 87.5  | 脳血管疾患 | 5,011  | 2,573 | 2,438 | 83.3  | 脳血管疾患    | 126,940 | 60,938  | 66,002  | 100.7 |
| 4  | 脳血管疾患      | 142 | 66  | 76  | 82.9  | 肺炎    | 4,371  | 2,389 | 1,982 | 72.6  | 肺炎       | 110,080 | 58,532  | 51,548  | 87.3  |
| 5  | 老衰         | 31  | 4   | 27  | 18.1  | 不慮の事故 | 1,457  | 893   | 564   | 24.2  | 不慮の事故    | 37,874  | 22,642  | 15,232  | 30.0  |
| 6  | 不慮の事故      | 30  | 16  | 14  | 17.5  | 老衰    | 1,406  | 351   | 1,055 | 23.4  | 自殺       | 30,777  | 21,977  | 8,800   | 24.4  |
| 7  | 自殺         | 29  | 21  | 8   | 16.9  | 自殺    | 1,294  | 929   | 365   | 21.5  | 老衰       | 30,712  | 7,486   | 23,226  | 24.4  |
| 8  | その他呼吸器系の疾患 | 27  | 17  | 10  | 15.8  | 腎不全   | 802    | 390   | 412   | 13.3  | 腎不全      | 21,606  | 9,919   | 11,687  | 17.1  |
| 9  | 腎不全        | 21  | 10  | 11  | 12.3  | 肝疾患   | 628    | 422   | 206   | 10.4  | 肝疾患      | 16,164  | 10,680  | 5,484   | 12.8  |
| 10 | 大動脈瘤及び解離   | 17  | 11  | 6   | 9.9   | 糖尿病   | 617    | 351   | 266   | 10.3  | 慢性閉塞性肺疾患 | 14,890  | 11,435  | 3,455   | 11.8  |

資料：印旛健康福祉センター事業年報

# 主要死因別死亡状況（平成20年）

（率は、人口10万対）

| 順位 | 市          |     |     |     |       | 県     |        |       |       |       | 国        |         |         |         |       |
|----|------------|-----|-----|-----|-------|-------|--------|-------|-------|-------|----------|---------|---------|---------|-------|
|    | 死因         | 総数  | 男   | 女   | 率     | 死因    | 総数     | 男     | 女     | 率     | 死因       | 総数      | 男       | 女       | 率     |
| 1  | 悪性新生物      | 408 | 263 | 145 | 237.6 | 悪性新生物 | 14,391 | 8,920 | 5,471 | 234.1 | 悪性新生物    | 342,849 | 206,287 | 136,562 | 272.7 |
| 2  | 心疾患        | 237 | 127 | 110 | 138.0 | 心疾患   | 8,411  | 4,302 | 4,109 | 136.8 | 心疾患      | 181,822 | 86,069  | 95,753  | 144.4 |
| 3  | 脳血管疾患      | 142 | 70  | 72  | 82.7  | 脳血管疾患 | 5,120  | 2,510 | 2,610 | 83.3  | 脳血管疾患    | 126,944 | 61,073  | 65,871  | 100.8 |
| 4  | 肺炎         | 140 | 82  | 58  | 81.5  | 肺炎    | 4,573  | 2,428 | 2,145 | 74.4  | 肺炎       | 115,240 | 61,297  | 53,943  | 91.5  |
| 5  | 老衰         | 41  | 8   | 33  | 23.9  | 老衰    | 1,593  | 382   | 1,211 | 25.9  | 不慮の事故    | 38,030  | 22,754  | 15,276  | 30.2  |
| 6  | 不慮の事故      | 37  | 18  | 19  | 21.5  | 不慮の事故 | 1,415  | 867   | 548   | 23.0  | 老衰       | 35,951  | 8,739   | 27,212  | 28.5  |
| 7  | 自殺         | 32  | 24  | 8   | 18.6  | 自殺    | 1,258  | 894   | 364   | 20.5  | 自殺       | 30,197  | 21,523  | 8,674   | 24.0  |
| 8  | その他呼吸器系の疾患 | 32  | 16  | 16  | 18.6  | 腎不全   | 799    | 396   | 403   | 13.0  | 腎不全      | 22,491  | 10,414  | 12,077  | 17.9  |
| 9  | 腎不全        | 19  | 14  | 5   | 11.0  | 肝疾患   | 617    | 381   | 236   | 10.0  | 肝疾患      | 16,229  | 10,586  | 5,643   | 12.9  |
| 10 | その他消化器系の疾患 | 18  | 8   | 10  | 10.5  | 糖尿病   | 598    | 319   | 279   | 9.7   | 慢性閉塞性肺疾患 | 15,505  | 11,931  | 3,574   | 12.3  |

資料：印旛健康福祉センター事業年報

# 主要死因別死亡状況（平成21年）

（率は、人口10万対）

| 順位 | 市          |     |     |     |       | 県     |        |       |       |       | 国        |         |         |         |       |
|----|------------|-----|-----|-----|-------|-------|--------|-------|-------|-------|----------|---------|---------|---------|-------|
|    | 死因         | 総数  | 男   | 女   | 率     | 死因    | 総数     | 男     | 女     | 率     | 死因       | 総数      | 男       | 女       | 率     |
| 1  | 悪性新生物      | 422 | 267 | 155 | 244.7 | 悪性新生物 | 14,691 | 9,051 | 5,640 | 242.4 | 悪性新生物    | 343,954 | 206,260 | 137,694 | 273.4 |
| 2  | 心疾患        | 232 | 135 | 97  | 134.5 | 心疾患   | 8,333  | 4,317 | 4,016 | 137.5 | 心疾患      | 180,602 | 85,443  | 95,159  | 143.5 |
| 3  | 脳血管疾患      | 135 | 57  | 78  | 78.3  | 脳血管疾患 | 5,032  | 2,518 | 2,514 | 83.0  | 脳血管疾患    | 122,274 | 59,243  | 63,031  | 97.2  |
| 4  | 肺炎         | 123 | 61  | 62  | 71.3  | 肺炎    | 4,594  | 2,476 | 2,118 | 75.8  | 肺炎       | 111,922 | 59,841  | 52,081  | 89.0  |
| 5  | 自殺         | 41  | 32  | 9   | 23.8  | 老衰    | 1,662  | 404   | 1,258 | 27.4  | 老衰       | 38,649  | 9,293   | 29,356  | 30.7  |
| 6  | 老衰         | 40  | 13  | 27  | 23.2  | 不慮の事故 | 1,447  | 919   | 528   | 23.9  | 不慮の事故    | 37,583  | 22,502  | 15,081  | 29.9  |
| 7  | その他呼吸器系の疾患 | 35  | 18  | 17  | 20.3  | 自殺    | 1,320  | 954   | 366   | 21.8  | 自殺       | 30,649  | 22,158  | 8,491   | 24.4  |
| 8  | 不慮の事故      | 30  | 16  | 14  | 17.4  | 腎不全   | 811    | 438   | 373   | 13.4  | 腎不全      | 22,724  | 10,706  | 12,018  | 18.1  |
| 9  | その他の症状     | 22  | 14  | 8   | 12.8  | 肝疾患   | 666    | 435   | 231   | 11.0  | 肝疾患      | 15,937  | 10,440  | 5,497   | 12.7  |
| 10 | 大動脈瘤及び解離   | 21  | 10  | 11  | 12.2  | 糖尿病   | 631    | 356   | 275   | 10.4  | 慢性閉塞性肺疾患 | 15,339  | 11,928  | 3,411   | 12.2  |

資料：印旛健康福祉センター事業年報

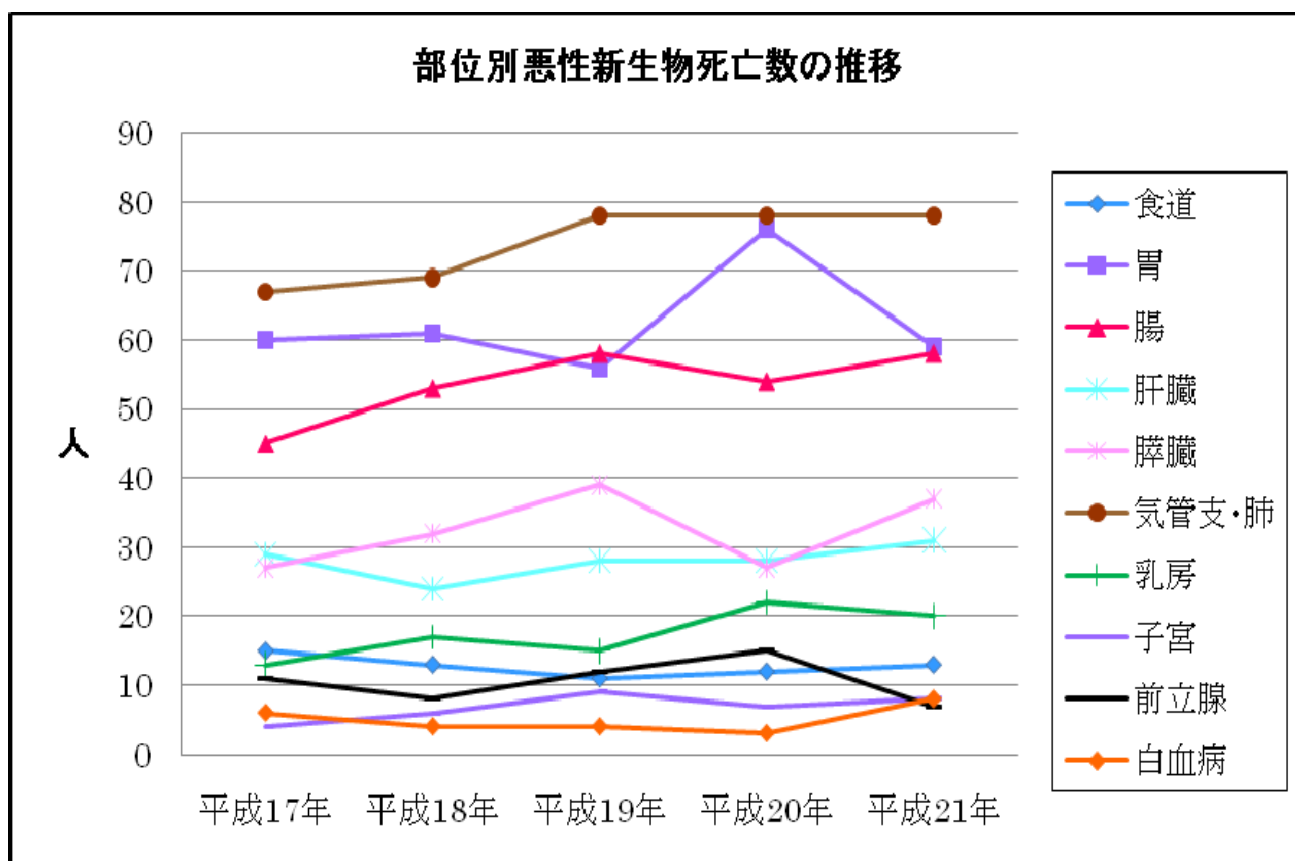
# 部位別悪性新生物死亡数

(死亡率は人口10万対)

| 年<br>部位     |   | 平成 17 年 |     |     | 平成 18 年 |     |     | 平成 19 年 |     |     | 平成 20 年 |     |     | 平成 21 年 |     |     |
|-------------|---|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|
|             |   | 男       | 女   | 計   | 男       | 女   | 計   | 男       | 女   | 計   | 男       | 女   | 計   | 男       | 女   | 計   |
| 食道          |   | 12      | 3   | 15  | 11      | 2   | 13  | 10      | 1   | 11  | 11      | 1   | 12  | 13      | —   | 13  |
| 胃           |   | 34      | 26  | 60  | 43      | 18  | 61  | 39      | 17  | 56  | 50      | 26  | 76  | 40      | 19  | 59  |
| 腸           |   | 26      | 19  | 45  | 31      | 22  | 53  | 37      | 21  | 58  | 35      | 19  | 54  | 35      | 23  | 58  |
| 肝臓          |   | 14      | 15  | 29  | 17      | 7   | 24  | 17      | 11  | 28  | 22      | 6   | 28  | 24      | 7   | 31  |
| 膵臓          |   | 20      | 7   | 27  | 16      | 16  | 32  | 20      | 19  | 39  | 17      | 10  | 27  | 19      | 18  | 37  |
| 気管支・肺       |   | 46      | 21  | 67  | 54      | 15  | 69  | 60      | 18  | 78  | 57      | 21  | 78  | 57      | 21  | 78  |
| 乳房          |   | 0       | 13  | 13  | 0       | 17  | 17  | 0       | 15  | 15  | 1       | 21  | 22  | —       | 20  | 20  |
| 子宮          |   | —       | 4   | 4   | —       | 6   | 6   | —       | 9   | 9   | —       | 7   | 7   | —       | 8   | 8   |
| 前立腺         |   | 11      | —   | 11  | 8       | —   | 8   | 12      | —   | 12  | 15      | —   | 15  | 7       | —   | 7   |
| 白血病         |   | 4       | 2   | 6   | 4       | 0   | 4   | 2       | 2   | 4   | 1       | 2   | 3   | 7       | 1   | 8   |
| その他         |   | 54      | 47  | 101 | 51      | 43  | 94  | 43      | 37  | 80  | 54      | 32  | 86  | 65      | 38  | 103 |
| 計           |   | 221     | 157 | 378 | 235     | 146 | 381 | 240     | 150 | 390 | 263     | 145 | 408 | 267     | 155 | 422 |
| 死<br>亡<br>率 | 市 | 219.3   |     |     | 222.3   |     |     | 227.6   |     |     | 237.6   |     |     | 244.7   |     |     |
|             | 県 | 226.1   |     |     | 229.2   |     |     | 232.2   |     |     | 234.1   |     |     | 242.4   |     |     |
|             | 国 | 258.2   |     |     | 260.9   |     |     | 266.7   |     |     | 272.7   |     |     | 273.4   |     |     |

資料：H21年印旛健康福祉センター事業年報

—：該当なし



### ３．母子保健

#### 低体重児届出状況

(単位：人)

| 体重<br>年度 | 総数  | 499 g 以下 | 500～<br>999 g | 1,000～<br>1,499 g | 1,500～<br>1,999 g | 2,000～<br>2,499 g |
|----------|-----|----------|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 平成 17 年度 | 9 3 | 1        | 4             | 4                 | 1 3               | 7 1               |
| 平成 18 年度 | 6 4 | 1        | 3             | 8                 | 1 0               | 4 2               |
| 平成 19 年度 | 5 0 | —        | —             | 4                 | 6                 | 4 0               |
| 平成 20 年度 | 2 4 | —        | 1             | 1                 | 2                 | 2 0               |
| 平成 21 年度 | 4 8 | —        | 2             | 3                 | 8                 | 3 5               |

—：該当なし

資料：印旛健康福祉センター事業年報

### ４．結核

#### 年度末現在登録者数（年齢階級別）

(単位：人)

| 区分<br>年度 | 総数  | 0～<br>4 歳 | 5～<br>9 歳 | 10～<br>14 歳 | 15～<br>19 歳 | 20～<br>29 歳 | 30～<br>39 歳 | 40～<br>49 歳 | 50～<br>59 歳 | 60～<br>69 歳 | 70 歳<br>以上 | 不詳 |
|----------|-----|-----------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|----|
| 平成 17 年度 | 97  | —         | —         | —           | 1           | 14          | 14          | 9           | 18          | 16          | 25         | —  |
| 平成 18 年度 | 109 | —         | —         | —           | 2           | 15          | 17          | 4           | 23          | 19          | 29         | —  |
| 平成 19 年度 | 80  | —         | —         | 1           | —           | 11          | 14          | 3           | 17          | 15          | 19         | —  |
| 平成 20 年度 | 25  | —         | —         | —           | —           | 2           | 3           | 2           | 4           | 3           | 11         | —  |
| 平成 21 年度 | 31  | —         | —         | —           | 1           | 3           | 3           | 1           | 1           | 4           | 18         | —  |

—：該当なし

資料：印旛健康福祉センター事業年報

## ５．精神保健

### 自立支援医療（精神通院）認定件数

（各年度末現在）

（単位：件）

|        | 公費負担患者数 |
|--------|---------|
| 平成１７年度 | 674     |
| 平成１８年度 | 1,268   |
| 平成１９年度 | 1,326   |
| 平成２０年度 | 1,464   |
| 平成２１年度 | 1,651   |

資料：印旛健康福祉センター事業年報

＊平成１７年度は精神保健福祉法による通院医療費公費負担患者数。

＊平成１７年度の単位数は「人」。

### 入院患者等の状況

（各年６月３０日現在）（単位：件）

|          | 人<br><br>口 | 県内病院<br>への入院患者数 | 人口万対入院患者数 | 管内患者入院先（再掲）  |      |      |     |                  |      |
|----------|------------|-----------------|-----------|--------------|------|------|-----|------------------|------|
|          |            |                 |           | 圏内の病院への入院患者数 |      |      |     | 圏外の病院への<br>入院患者数 |      |
|          |            |                 |           | 管内病院         |      | 管外病院 |     |                  |      |
|          |            |                 |           | 数            | %    | 数    | %   | 数                | %    |
| 平成 17 年度 | 172,343    | 242             | 14.0      | 113          | 46.7 | 3    | 1.2 | 126              | 52.1 |
| 平成 18 年度 | 171,480    | 258             | 15.0      | 116          | 45.0 | 5    | 1.9 | 137              | 53.1 |
| 平成 19 年度 | 171,298    | 262             | 21.6      | 119          | 45.4 | 5    | 1.9 | 138              | 52.7 |
| 平成 20 年度 | 171,519    | 244             | 14.2      | 111          | 45.5 | —    | —   | 133              | 54.5 |
| 平成 21 年度 | 172,237    | 252             | 14.6      | 117          | 46.4 | —    | —   | 135              | 53.6 |

—：該当なし

資料：印旛健康福祉センター事業年報

＊人口 ７月１日現在（千葉県毎月常住人口調査による）

**X 学会等発表原稿**

平成 22 年度 千葉県業務研究発表会（平成 23 年 2 月 28 日）

## コミュニティ・アセスメント（地区診断）の実践を通して 保健師が得られた成果

佐倉市 ○豊福 啓子 領家 玲子 島村 美恵子

### I 目的

保健師の専門性は、地域住民の生活の場に入った活動を通して、地域の健康課題を把握し、それを行政の幅広い施策や地区組織活動につなげることにある。しかし、介護保険法、児童虐待防止法の制定に伴い、当市では保健師が高齢者福祉課(地域包括センター)や介護保険課、児童青少年課等に分散配置され、健康増進課内でも業務分担がすすんでいることから、予防活動の対象である地域全体が捉えにくくなるとともに事務的な業務も多くなり、地域全体の健康課題を把握することが困難になっていた。また、近年、児童虐待事例が増加し、事例の困難性が高まっているのにも関わらず、健康増進課の保健師が相互に事例を共有・検討する機会がなく、事例検討による支援技術の向上や事例から地区特性を把握する仕組みがなかった。

このことから、保健師自身が専門性を見失いがちになり、やりがいを見出せない状況になりつつあったが、平成 20 年度に地区保健センターと健康増進課の組織が一元化されたことに伴い、「保健活動・地区活動のあり方を検討するプロジェクトチーム」が構成され検討を重ねた結果、「地区診断に基づく地区活動の展開」「事例検討」を通して保健師の専門性の向上、並びに効果的な予防活動の展開をめざしていくべきという結論に達した。そのためには、定期的に保健師が集まる場が必要であることから、保健師の相互理解を深め、保健師活動を活性化することにより市民の健康増進に資することを目的に「保健師活動検討会」を月 1 回開催することとなり、平成 21 年度には、1 年間かけて「地区診断（以下「コミュニティ・アセスメント」とする）」及び「事例検討」についての学習と実践を展開することができた。

今回、「コミュニティ・アセスメント」について、実践に取り組んだ保健師を対象に行ったアンケートを分析することにより、その成果を明らかにし、保健師が取り組むコミュニティ・アセスメントの意義について検討する。

### II 方法

#### 1. コミュニティ・アセスメント展開プログラムの実施

保健師 19 人（健康増進課 17 人、高齢者福祉課 1 人、健康保険課 1 人、経験年数以下表参照）を対象に全 8 回のプログラム（以下表参照）を実施した。平成 21 年度は総務課の「課題対応型研修」として実施したため、プログラムの作成時、及び開催ごとに講師（聖路加看護大学地域看護学准教授 大森純子氏）による助言を受けることができた。

| 実施月 | プログラム内容                                                                           | 保健師<br>経験年数 | 人数   |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|
| 4 月 | 講義「コミュニティ・アセスメント（地区診断）理論と枠組み」                                                     | 1 年未満       | 1 人  |
| 5 月 | 地域の情報収集～多様な情報源へのアクセス～（健康保険課から地区別の国保医療費や特定健診の結果、高齢者福祉課から介護予防事業の利用状況等地区別のデータが示された。） | 2～4 年       | 3 人  |
| 6 月 | 事業実績、既存資料、住民へのインタビューからの情報収集                                                       | 5～9 年       | 1 人  |
| 7 月 | 問題の明確化、課題抽出                                                                       | 10～14 年     | 9 人  |
| 8 月 | 優先課題の決定、地区活動計画の立案                                                                 | 15～19 年     | 3 人  |
| 1 月 | 地区活動の進捗状況                                                                         | 20～25 年     | 2 人  |
| 2 月 | 地区活動の取り組み結果                                                                       | 合計          | 19 人 |
| 3 月 | 地区活動の取り組み結果、及び評価—多角的視点からの評価と活動の発展へ—                                               |             |      |

## 2. 参加した保健師を対象にした評価アンケート（記述式）の調査内容

### 1) 『保健師教育の技術項目』<sup>1)</sup>の《中項目》について、取り組み前と比較した実践への意向

(1.そう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.思わない から択一)

### 2) 感想、意見（自由記述）

## III結果

### 1) 『保健師教育の技術項目』の《中項目》について、取り組み前と比較した実践への意向

以下の項目について研修前と比較して実践に生かしていけると思うか (n=19)

| 《大項目》                                       |                                                 | 《中項目》 |       |       | ■1.そう思う ■2.ややそう思う ■3.どちらともいえない |
|---------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------|-------|-------|--------------------------------|
| A.地域の健康課題を明らかにする                            | A-a. 地域の人々の生活と健康を多角的・継続的にアセスメントする(集団/地域)        |       | 52.6% | 42.1% | 5.3%                           |
|                                             | A-b. 地域の人々の顕在的・潜在的健康課題を特定する(集団/地域)              |       | 52.6% | 42.1% | 5.3%                           |
| B.地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める      | B-a. 特定の健康課題に対する支援を計画・立案する(集団/地域)               |       | 47.4% | 31.6% | 21.1%                          |
|                                             | B-b. 特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高めるための活動を展開する(集団/地域) |       | 21.1% | 63.2% | 15.8%                          |
|                                             | B-c. 特定の健康課題に対する活動を評価・フォローアップする(集団/地域)          |       | 31.6% | 47.4% | 21.1%                          |
|                                             | B-d. 特定の健康課題を解決・改善するために、地域の人々・関係職者と協働する(集団/地域)  |       | 36.8% | 42.1% | 21.1%                          |
| C.地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な分配を促進する | C-a. 地域の人々の健康にかかわる事業・制度などを立案し、管理する(施策化)         |       | 15.8% | 68.4% | 10.5%                          |
|                                             | C-b. 地域の人々の生活と健康に関する社会資源の開発・質を保障する              |       | 15.8% | 63.2% | 15.8%                          |

※(集団/地域)：集団(自治会の住民、要介護高齢者集団、管理職集団、小学校のクラスなど)や地域(自治体、企業、学校など)の人々が対象の場合

「地域の健康課題を明らかにする項目 (A-a、A-b)」については、「そう思う」「ややそう思う」と回答した者が9割を超えたが、「地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決、改善し、健康増進能力を高める項目(B-a、B-b、B-c、B-d)」については、「そう思う」「ややそう思う」が8割に留まっている。「地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な配分を促進する項目 (C-a、C-b)」については、「そう思う」は少なく「ややそう思う」が多かった。

### 2) 主な感想、意見

○地区活動計画を作成することは手間がかかるが、その過程で見えてくるものが保健師活動で大切にしなければならないものだと思う。

○現在の地区を受け持って1年目だが、「わが地区」という愛着を持つことができた。

○行政の保健師として「地域を看護する」という視点で何度も考える1年だった。

○皆で行ったことにより、意識の統一もでき「大変だけど必要である」と思えた。

○地域に出前講座に出向いた際は、なるべく参加者や主催者の声を聞くよう心がけた。

○コミュニティ・アセスメントに高齢者の問題も含めて取り入れてもらえたことが意義があることだった。

○進まなかった計画に対しては、その理由を考えたことで次年度につなげる計画の時期や内容が具体的に見えてきた。

○保健師としての活動に自信を持つことができ、活動の一つひとつに目的、目標を持つことができるようになったと感じる。

## IV考察



## 1. コミュニティ・アセスメント技術及び実践の質の向上

今回の評価アンケートは保健師個人の主観ではあるが、実践への意向が高く示されたことから、コミュニティ・アセスメント技術の向上が得られたと推測される。特に「地域の健康課題を明らかにする項目(A)」については、地区情報の収集から課題分析まで段階を踏みながら実践を伴った健康課題の抽出を実施したため、確実に技術の向上につながったといえる。

一方、「地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決、改善し、健康増進能力を高める項目(B)」について実践への意向がやや低下しているのは、計画を立案し、実際に取り組み、結果を評価することは1年間では技術的にも期間的にも困難が伴ったとためと思われる。同様に「地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な配分を促進する項目(C)」については、「そう思う」は少なく「ややそう思う」が多かったが、理論の学習と実践を積み重ねる中で、所属や経験年数に応じた施策化や社会資源の開発・質の保証に取り組むことが期待される。

## 2. 保健師が行うコミュニティ・アセスメントの意義の確認

保健師は「地域で看護する看護職」であるとともに「地域を看護する看護職」なので地区分担をしているのである。このことを、強く認識した1年間であった。

通常実施している保健事業や家庭訪問も単なるサービスの提供ではなく、コミュニティ・アセスメントを意識することにより、地域が抱える多くの課題に気づくことができた。またこの気づきを同じ地区を受け持つ保健師同士や保健師活動検討会の場で話すことにより、課題が深まり、支援方策にも生かすことができた。PDCAサイクルに基づく保健活動はチームで行うことにより質の高いサービスに結びつく。コミュニティ・アセスメントを保健師が一堂に会して実施することの意義がここにあると思われる。

健康保険課や高齢者福祉課の保健師と共同でコミュニティ・アセスメントに取り組むことで国保医療費や特定健診受診状況、介護予防活動という視点が生まれ、所属を超えた活動に結びついたことも大きな成果といえる。

評価については、アウトカムだけでなく目標や目的、支援の手法が適切だったかも含め、包括的に評価することができた。目標が達成できなかったときも理由を残すことにより、どうしたら達成に向けて取り組めるか考えることにつながり、前向きにとらえることができるようになった。

今回の支援計画により地区を担当する保健師は、地区内の保育園や地域包括支援センターに情報交換に出向いたり、健康増進課と高齢者福祉課の保健師と共同で担当地区住民の健康調査を実施する等今までにない新たな地区活動を展開することができた。

今後も実践として保健師活動を展開し、市民に還元できる成果を積み上げていきたい。

## 3. 保健師のチームワークとモチベーションの向上

保健活動はチームで実施しているが、今回、保健師が自身の考えを語り議論し共に活動することにより、保健師相互の理解を深め、関係性を強めることができた。また、新任期の保健師にとっては、先輩保健師の活動を学ぶ機会になったと思われる。

佐倉市でこのような素晴らしい機会が持てたこと、持てることを自分たちの宝にし、今後も保健師活動の研鑽の場として継続することにより、保健師活動へのモチベーションを失わないようにしていきたい。

## V文献

1) 平成19年度 厚生労働科学研究(特別研究事業)「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」報告書 主任研究者 麻原 きよみ

## 佐倉市保健事業のまとめ ー平成22年度ー

---

平成23年9月発行

|   |   |                                      |
|---|---|--------------------------------------|
| 発 | 行 | 佐倉市健康子ども部健康増進課                       |
| 住 | 所 | 〒285-0825<br>佐倉市江原台2-27（佐倉市健康管理センター） |
| 電 | 話 | 043(485)6711                         |

---